

19. 5. 2005

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 4 年    5 月 1 9 日  
Date of Application:

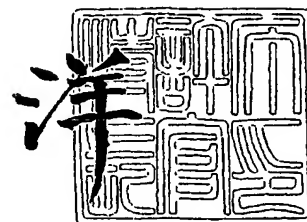
出 願 番 号            特 願 2 0 0 4 - 1 4 9 4 9 3  
Application Number:  
[ST. 10/C]:            [ J P 2 0 0 4 - 1 4 9 4 9 3 ]

出 願 人            ソニー株式会社  
Applicant(s):

2 0 0 5 年    2 月 2 5 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

小 川



出証番号    出証特 2 0 0 5 - 3 0 1 5 2 2 3

【書類名】 特許願  
【整理番号】 0490013303  
【提出日】 平成16年 5月19日  
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿  
【国際特許分類】 G11B 27/00  
【発明者】  
    【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー株式会社内  
    【氏名】 齋藤 奈津美  
【特許出願人】  
    【識別番号】 000002185  
    【氏名又は名称】 ソニー株式会社  
【代理人】  
    【識別番号】 100082740  
    【弁理士】  
    【氏名又は名称】 田辺 恵基  
【手数料の表示】  
    【予納台帳番号】 048253  
    【納付金額】 16,000円  
【提出物件の目録】  
    【物件名】 特許請求の範囲 1  
    【物件名】 明細書 1  
    【物件名】 図面 1  
    【物件名】 要約書 1  
    【包括委任状番号】 9709125

**【書類名】 特許請求の範囲****【請求項 1】**

キーワードを設定する設定手段と、  
放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信手段と、  
上記放送信号受信手段により受信された放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する記録手段と、

受信中の上記放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて上記外部装置から送信された放送情報を受信する通信手段と、

上記通信手段により受信された上記放送情報に上記キーワードが含まれているかどうかを検出する検出手段と、

上記検出手段により上記放送情報に上記キーワードが含まれていると検出されると、上記記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを上記記録媒体に本記録していくように上記記録手段を制御する制御手段と

を具えることを特徴とする記録装置。

**【請求項 2】**

上記制御手段は、

上記放送データの本記録中に、上記通信手段により受信された上記放送情報に上記キーワードが含まれていないことを上記検出手段が検出すると、上記放送データの本記録を停止する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

**【請求項 3】**

現在時刻を出力するタイマーと、

放送局名、番組名、番組開始時刻及び番組終了時刻を含む番組表データを外部装置から取得する取得手段とを具え、

上記設定手段は、

上記キーワードに加えて放送局名及び番組名を設定し、

上記放送信号受信手段は、

上記設定された放送局名及び番組名に基づき、上記番組表データから当該番組名の番組開始時刻及び番組終了時刻を検索し、上記タイマーの出力が当該番組開始時刻と一致すると、上記設定された放送局名の放送局を選局する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

**【請求項 4】**

上記記録手段は、

上記設定手段によりキーワードが設定されると、上記放送データの上記記録媒体への上記仮記録を開始する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

**【請求項 5】**

現在時刻を出力するタイマーを具え、

上記制御手段は、

上記検出手段により上記放送情報に上記キーワードが含まれていると検出されると、当該放送情報に含まれているコンテンツの放送開始時刻と上記タイマーから出力される現在時刻とに基づき、上記記録媒体に仮記録した放送データにおける上記先頭データの先頭位置を特定する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

**【請求項 6】**

上記制御手段は、

上記放送情報に含まれているコンテンツの放送終了時刻と上記タイマーから出力される現在時刻とが一致すると、上記記録手段による上記放送データの上記記録媒体への本記録を停止する

ことを特徴とする請求項 5 に記載の記録装置。

【請求項 7】

キーワードを設定する設定ステップと、

放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信ステップと、

上記放送信号受信ステップで受信した放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する仮記録ステップと、

受信中の上記放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて上記外部装置から送信された放送情報を受信する通信ステップと、

上記通信ステップで受信した上記放送情報に上記キーワードが含まれているかどうかを検出する検出ステップと、

上記検出ステップで上記放送情報に上記キーワードが含まれていると検出すると、上記記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを上記記録媒体に本記録していく本記録ステップと

を具えることを特徴とする記録方法。

【請求項 8】

上記本記録ステップでは、

上記放送データの本記録中に、上記通信ステップで受信した上記放送情報に上記キーワードが含まれていないことを上記検出ステップで検出すると、上記放送データの本記録を停止する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の記録方法。

【請求項 9】

現在時刻をタイマーから取得する時刻取得ステップと、

放送局名、番組名、番組開始時刻及び番組終了時刻を含む番組表データを外部装置から取得する取得ステップとを具え、

上記設定ステップでは、

上記キーワードに加えて放送局名及び番組名を設定し、

上記放送信号受信ステップでは、

上記設定された放送局名及び番組名に基づき、上記番組表データから当該番組名の番組開始時刻及び番組終了時刻を検索し、上記タイマーから取得した現在時刻が当該番組開始時刻と一致すると、上記設定された放送局名の放送局を選局する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の記録方法。

【請求項 10】

上記仮記録ステップでは、

上記設定ステップでキーワードが設定されると、上記放送データの上記記録媒体への上記仮記録を開始する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の記録方法。

【請求項 11】

現在時刻をタイマーから取得する時刻取得ステップを具え、

上記本記録ステップでは、

上記検出ステップで上記放送情報に上記キーワードが含まれていると検出すると、当該放送情報に含まれているコンテンツの放送開始時刻と上記タイマーから取得した現在時刻とに基づき、上記記録媒体に仮記録した放送データにおける上記先頭データの先頭位置を特定する

ことを特徴とする請求項 7 に記載の記録方法。

【請求項 12】

上記本記録ステップでは、

上記放送情報に含まれているコンテンツの放送終了時刻と上記タイマーから取得した現在時刻とが一致すると、上記放送データの上記記録媒体への本記録を停止する

ことを特徴とする請求項 11 に記載の記録方法。



**【請求項 13】**

情報処理装置に対して、  
キーワードを設定する設定ステップと、  
放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信ステップと、  
上記放送信号受信ステップで受信した放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する仮記録ステップと、  
受信中の上記放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて上記外部装置から送信された放送情報を受信する通信ステップと、  
上記通信ステップで受信した上記放送情報に上記キーワードが含まれているかどうかを検出する検出ステップと、  
上記検出ステップで上記放送情報に上記キーワードが含まれていると検出すると、上記記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを上記記録媒体に本記録していく本記録ステップと  
を実行させることを特徴とする記録プログラム。

## 【書類名】明細書

## 【発明の名称】記録装置

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は記録装置に関し、例えばラジオ番組の番組音声を録音する録音装置に適用して好適なものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

近年、記録装置としてラジオ番組の番組音声を録音する録音装置や、テレビジョン番組の番組映像を録画する録画装置が広く普及している。

## 【0003】

かかる録音装置としては、ユーザに放送局及び時刻を指定させ、その時刻に指定された放送局を選局して、当該放送局で放送されるラジオ番組の番組音声を録音するものがある。

## 【0004】

一方、かかる録画装置としては、ユーザにテレビジョン番組を特定するためのキーワードを入力させると共に、テレビジョン番組の番組タイトルや出演者名、チャンネル、放送時刻等を含む情報（以下、これをテレビジョン番組情報とも呼ぶ）を外部サーバから取得し、このキーワード及びテレビジョン番組情報をもとに、所望のテレビジョン番組のチャンネル及び放送時刻を認識してこの番組映像を録画するものがある（例えば特許文献1参照）。

【特許文献1】特開平3-35451号公報

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0005】

ところで、テレビジョン放送においては、録画装置がテレビジョン番組の番組映像を録画するための情報として、上述のようなテレビジョン番組情報が外部サーバから提供されているが、ラジオ放送においては、録音装置がラジオ番組の番組音声を録音するための情報が提供されていない。

## 【0006】

従ってユーザは、新聞や雑誌に掲載されたラジオ番組表等を参照することにより、所望のラジオ番組を放送する放送局及び放送時刻を確認し、これを録音装置に設定して所望のラジオ番組の番組音声を録音するしかなかった。

## 【0007】

さらにラジオ番組内で流される楽曲のみを録音しようとする場合には、そのラジオ番組を聞きながら、所望の楽曲が流れたタイミングで録音装置に対して録音操作を行う必要があった。

## 【0008】

同様に録画装置においても、テレビジョン番組単位でしか自動録画することができないため、当該テレビジョン番組内の所望部分のみを録画するためには、ユーザが手動で録画操作を行う必要があった。

## 【0009】

このように従来の記録装置においては、放送される番組映像や番組音声のうちユーザが所望する部分の番組映像や番組音声を容易に記録することができない問題があった。

## 【0010】

本発明は以上の点を考慮してなされたもので、放送される番組映像や番組音声のうちユーザが所望する部分の番組映像や番組音声を容易に記録し得る記録装置、記録方法及び記録プログラムを提案しようとするものである。

## 【課題を解決するための手段】

## 【0011】

かかる課題を解決するため本発明の記録装置においては、キーワードを設定する設定手段と、放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信手段と、放送信号受信手段により受信された放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する記録手段と、受信中の放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて外部装置から送信された放送情報を受信する通信手段と、通信手段により受信された放送情報にキーワードが含まれているかどうかを検出する検出手段と、検出手段により放送情報にキーワードが含まれていると検出されると、記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを記録媒体に本記録していくように記録手段を制御する制御手段とを設けるようにした。

#### 【0012】

また本発明の記録方法においては、キーワードを設定する設定ステップと、放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信ステップと、放送信号受信ステップで受信した放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する仮記録ステップと、受信中の放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて外部装置から送信された放送情報を受信する通信ステップと、通信ステップで受信した放送情報にキーワードが含まれているかどうかを検出する検出ステップと、検出ステップで放送情報にキーワードが含まれていると検出すると、記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを記録媒体に本記録していく本記録ステップとを設けるようにした。

#### 【0013】

さらに本発明の記録プログラムにおいては、情報処理装置に対して、キーワードを設定する設定ステップと、放送局から送信される放送信号を受信する放送信号受信ステップと、放送信号受信ステップで受信した放送信号を、放送データとして記録媒体に一時的に仮記録する仮記録ステップと、受信中の放送信号の内容を示す放送情報を要求するための要求情報を外部装置に定期的に送信し、当該要求情報に応じて外部装置から送信された放送情報を受信する通信ステップと、通信ステップで受信した放送情報にキーワードが含まれているかどうかを検出する検出ステップと、検出ステップで放送情報にキーワードが含まれていると検出すると、記録媒体に仮記録した放送データの一部を先頭データとして、当該放送データを記録媒体に本記録していく本記録ステップとを実行させるようにした。

#### 【0014】

このように、受信中の放送信号の内容を示す放送情報を定期的に取得し、この放送情報からキーワードが検出されると、当該放送信号を本記録していくようにしたことにより、放送信号として受信している番組の番組映像や番組音声、ユーザの所望する番組映像や番組音声である場合に、その番組映像や番組音声を記録することができる。

#### 【発明の効果】

#### 【0015】

本発明によれば、受信中の放送信号の内容を示す放送情報を定期的に取得し、この放送情報からキーワードが検出されると、当該放送信号を本記録していくようにしたことにより、放送信号として受信している番組の番組映像や番組音声、ユーザの所望する番組映像や番組音声である場合に、その番組映像や番組音声を記録することができ、かくして放送される番組映像や番組音声のうちユーザが所望する部分の番組映像や番組音声を容易に記録し得る記録装置、記録方法及び記録プログラムを実現できる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0016】

以下図面について、本発明の実施の形態を詳述する。

#### 【0017】

##### (1) 第1の実施の形態

##### (1-1) 音楽関連サービス提供システムの構成

図1において、1は全体として音楽関連サービス提供システムを示し、この音楽関連サービス提供システム1の運営者と契約しているユーザのクライアント端末2と、当該ク

クライアント端末2を管理するポータルサーバ3と、当該クライアント端末2に対して音楽に関する各種サービスを提供する複数のサーバSV1乃至SV5とを有している。

#### 【0018】

この実施の形態の場合、音楽データ配信サーバSV1は、ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding 3)、AAC (Advanced Audio Coding)、WMA (Windows (登録商標) Media Audio)、RealAUDIO G2 Music Codec、MP3 (MPEG Audio Layer-3) 形式等である音楽データをクライアント端末2に配信する音楽データ配信サービスを提供する。

#### 【0019】

また物販サーバSV2は、CD (Compact Disc) やDVD (Digital Versatile Disc) 等をクライアント端末2を介してユーザに販売する物販サービスを提供する。

#### 【0020】

さらにラジオ放送情報配信サーバSV3は、ラジオ局を介して放送されているラジオ放送のラジオ番組や音楽等についてのラジオ放送情報をクライアント端末2に配信するラジオ放送情報配信サービスを提供する。

#### 【0021】

さらにインターネットラジオサーバSV4は、インターネットに相当するネットワークNTを介してラジオ放送データをストリーミング配信の形態でクライアント端末2に向けて放送するインターネットラジオ放送サービスを提供する。

#### 【0022】

これに加えて課金サーバSV5は、ポータルサーバ3等からの要求に応じてユーザに対し様々な料金を課すための課金処理を実行するようになされている。

#### 【0023】

(1-2) クライアント端末2の構成

(1-2-1) クライアント端末2の機能回路ブロック構成

次にクライアント端末2の機能回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。図2に示すようにクライアント端末2は、その筐体表面やリモートコントローラ (図示せず) に設けられた各種操作ボタンでなる操作入力部20がユーザによって操作されると、当該操作入力部20でこれを認識し、当該操作に応じた操作入力信号を入力処理部21に送出する。

#### 【0024】

入力処理部21は、操作入力部20から与えられる操作入力信号を特定の操作コマンドに変換しバス22を介して制御部23に送出する。

#### 【0025】

制御部23は、バス22を介して接続された各回路から与えられる操作コマンドや制御信号に基づいてこれら各回路の動作を制御する。

#### 【0026】

表示制御部24は、バス22を介して供給される映像データに対してデジタルアナログ変換処理を施し、その結果得られるアナログ映像信号を表示部25に送出する。

#### 【0027】

表示部25は、例えば液晶ディスプレイ等の表示デバイスであって、筐体表面に直接取り付けられている場合や外付けされている場合がある。

#### 【0028】

そして表示部25は、制御部23による処理結果や各種映像データが表示制御部24を介してアナログ映像信号として供給されると、当該アナログ映像信号に基づく映像を表示する。

#### 【0029】

音声制御部26は、バス22を介して供給される音声データに対してデジタルアナログ変換処理を施し、その結果得られるアナログ音声信号をスピーカ27に送出する。スピーカ27は、音声制御部26から供給されるアナログ音声信号に基づく音声を出力する。

## 【0030】

外部記録媒体記録再生部 28 は、CD や、フラッシュメモリ が外装ケースに内包されたメモリスティック（登録商標）等の外部記録媒体に記録されているコンテンツデータを読み出して再生し、又は当該外部記録媒体に対し記録対象のコンテンツデータを記録する記録再生部である。

## 【0031】

外部記録媒体記録再生部 28 は、外部記録媒体からコンテンツデータとして映像データを読み出したとき、当該読み出した映像データをバス 22 を介して表示制御部 24 に供給する。

## 【0032】

これにより表示制御部 24 は、外部記録媒体記録再生部 28 により外部記録媒体からコンテンツデータとして読み出された映像データをアナログ映像信号に変換して表示部 25 に供給する。

## 【0033】

また外部記録媒体記録再生部 28 は、外部記録媒体からコンテンツデータとして音声データを読み出したとき、当該読み出した音声データをバス 22 を介して音声制御部 26 に供給する。

## 【0034】

これにより音声制御部 26 は、外部記録媒体記録再生部 28 により外部記録媒体からコンテンツデータとして読み出された音声データをアナログ音声信号に変換してスピーカ 27 に供給する。

## 【0035】

さらに制御部 23 は、外部記録媒体記録再生部 28 により外部記録媒体から読み出されたコンテンツデータをバス 22 を介してクライアント端末 2 内部の記憶媒体 29 に送出し、その記憶媒体 29 に対して当該コンテンツデータを記憶する（以下、このようにコンテンツデータを記憶媒体 29 に記憶することをリッピングと呼ぶ）ことができる。

## 【0036】

そして制御部 23 は、記憶媒体 29 からコンテンツデータとしてイメージデータ又はビデオデータ等の映像データを読み出したときには、当該読み出した映像データをバス 22 を介して表示制御部 24 に供給する。

## 【0037】

また制御部 23 は、記憶媒体 29 からコンテンツデータとしてオーディオデータ等の音声データを読み出したときには、当該読み出した音声データをバス 22 を介して音声制御部 26 に供給する。

## 【0038】

これに加えて制御部 23 は、記憶媒体 29 から音楽データを読み出して外部記録媒体記録再生部 28 に転送することにより当該外部記録媒体記録再生部 28 により外部記録媒体に対しその音楽データを記録させることもできる。

## 【0039】

放送信号受信部 30 は、各ラジオ局から送信されるラジオ放送波を受信し、チューナ部 31 に供給する。

## 【0040】

チューナ部 31 は、制御部 23 の制御のもと、放送信号受信部 30 を介して受信されたラジオ放送波の中から例えば操作入力部 20 を介して指定されたラジオ局に対応する放送周波数のラジオ放送信号を抽出して所定の受信処理を施し、この結果得られる音声データをバス 22 を介して音声制御部 26 に送出する。

## 【0041】

音声制御部 26 は、チューナ部 31 から与えられた音声データをアナログ音声信号に変換してスピーカ 27 に送出することにより、当該スピーカ 27 からラジオ局で放送されているラジオ番組の番組音声を出力させ、かくしてユーザに対しラジオ番組の番組音声を聴

取させることができる。

【0042】

また制御部23は、チューナ部31で得られた音声データを記憶媒体29に送出して記憶することにより、ラジオ番組の番組音声を録音することもできる。

【0043】

さらに制御部23は、通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してネットワークNTに接続し、当該ネットワークNT上のポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4にアクセスすることができ、これによりポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4との間で各種情報や各種データを送受信する。

【0044】

エンコーダ／デコーダ部34は、ネットワークNTからネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信された圧縮符号化されているコンテンツデータ、あるいは記憶媒体29や外部記録媒体から読み出された圧縮符号化されているコンテンツデータを復号し表示制御部24や音声制御部26に送出する。

【0045】

またエンコーダ／デコーダ部34は、外部記録媒体から読み出された圧縮符号化されてはいないコンテンツデータや、チューナ部31から与えられる音声データ等を圧縮符号化し、当該圧縮符号化したコンテンツデータを記憶媒体29に送出する。

【0046】

これによりエンコーダ／デコーダ部34で圧縮符号化されたコンテンツデータは、制御部23の制御のもと記憶媒体29に記憶される。

【0047】

著作権管理部35は、ネットワークNTからネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介してダウンロードされるコンテンツデータに対応する著作権管理情報や、外部記録媒体記録再生部28により外部記録媒体から読み出されたコンテンツデータに対応する著作権管理情報を生成する。

【0048】

著作権管理部35で生成された著作権管理情報は、制御部23の制御のもとにコンテンツデータと対応付けられて記憶媒体29に登録される。

【0049】

また著作権管理部35は、記憶媒体29と特定の外部記録媒体との間で著作権管理情報を対応付けたコンテンツデータをチェックアウトするときや、当該特定の外部記録媒体と記憶媒体29との間で当該著作権管理情報を対応付けたコンテンツデータをチェックインするときに、当該コンテンツデータに対応する著作権管理情報の内容を適切に更新することにより、そのコンテンツデータに対する著作権を保護する。

【0050】

ページ情報生成部36は、ネットワークNTからネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信されたXML (eXtensible Markup Language) ファイル、あるいはHTML (Hyper Text Markup language) ファイル等のページ情報を解釈して表示部25に表示するための映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部24に送出する。

【0051】

認証処理部37は、ネットワークインタフェース33を介して接続されるネットワークNT上のポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4に対し認証情報を通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して送信する等の認証処理を実行する。

【0052】

認証情報記憶部38は、認証処理部37がポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4に対しアクセスするときに必要となる認証情報を記憶する。

【0053】

ラジオ放送表示制御部 39 は、現在、ユーザによる聴取用に受信中のラジオ放送に関するラジオ放送情報を要求するための要求信号を通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介して、当該受信中のラジオ放送を放送しているラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバ SV3 に送信する。

#### 【0054】

その結果、ラジオ放送表示制御部 39 は、ネットワーク NT 上のラジオ放送情報配信サーバ SV3 から送信されたラジオ放送情報をネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信すると共に、当該受信したラジオ放送情報を表示制御部 24 に送出することにより表示部 25 に対し、現在受信中のラジオ番組の番組名や、当該受信中の楽曲のタイトル及びアーティスト名等からなるラジオ放送情報を表示させる。

#### 【0055】

##### (1-2-2) ディレクトリ管理

クライアント端末 2 の制御部 23 は、記憶媒体 29 に対して記憶するコンテンツデータを、図 3 に示すディレクトリ構成で管理する。まず「root」ディレクトリの下層に対しては、規定範囲内での任意の数の「folder」ディレクトリが作成される。この「folder」ディレクトリは、例えばコンテンツが属するジャンル、又は所有ユーザ等に対応して作成される。

#### 【0056】

この「folder」ディレクトリの下層には、規定範囲内での任意の数の「album」ディレクトリが作成され、当該「album」ディレクトリは例えば 1 つのアルバムタイトル毎に対応するようになされている。この「album」ディレクトリの下層においては、その「album」ディレクトリに属するとされる 1 以上の「track」ファイルが格納され、この「track」ファイルが 1 つの楽曲すなわちコンテンツとなるものである。

#### 【0057】

このようなコンテンツデータについてのディレクトリ管理は、記憶媒体 29 に記憶されているデータベースファイルによって行われる。

#### 【0058】

##### (1-3) ポータルサーバ 3 の機能回路ブロック構成

次に、図 4 を用いてポータルサーバ 3 の機能回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。ポータルサーバ 3 内の制御部 50 は、バス 51 を介して接続される各回路の動作を制御する。

#### 【0059】

通信制御部 52 は、制御部 50 の制御のもと、ネットワークインタフェース 53 を介してクライアント端末 2 やその他サーバ SV1 乃至 SV5 と各種情報を送受信する。

#### 【0060】

顧客データベース部 54 には、音楽関連サービス提供システム 1 の運営業者とすでに契約を完了しているユーザのユーザ ID (Identification) 情報とパスワード情報とが対応付けられて顧客情報として登録されている。

#### 【0061】

ページ情報記憶部 55 には、音楽関連サービス提供システム 1 の運営業者が管理するページ情報等が記憶されている。

#### 【0062】

なおページ情報は、XML 等の言語によって記述されており、音楽データ配信サーバ SV1、物販サーバ SV2、ラジオ放送情報配信サーバ SV3 及びインターネットラジオサーバ SV4 等にアクセスするための URL (Uniform Resource Locator) 情報を含んでいる。

#### 【0063】

認証処理部 56 は、クライアント端末 2 から送信されたユーザ ID 情報及びパスワード情報をネットワークインタフェース 53 及び通信制御部 52 を順次介して受信すると、ユ



ユーザ認証処理として、当該受信したユーザID情報及びパスワード情報が顧客データベース部54に顧客情報として登録されているか否かを確認する。

#### 【0064】

そして認証処理部56は、ユーザ認証処理を終了すると、当該ユーザ認証処理の結果を示したポータル認証結果情報（後述する認証セッションID情報）を発行し、当該発行したポータル認証結果情報を認証情報記憶部57に一時記憶する。

#### 【0065】

このとき制御部50は、認証処理部56によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されると、ページ情報記憶部55に記憶されている契約者用のページ情報をポータル認証結果情報と共に通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信する。

#### 【0066】

なお制御部50は、認証処理部56によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されなかったときには、認証エラー情報を、ページ情報記憶部55に記憶されている認証の失敗を示す認証失敗通知ページ情報と共に通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信するように構成しても良い。

#### 【0067】

また認証処理部56は、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3からユーザに対する認証処理が実行された結果、当該ユーザのクライアント端末2から取得して送信されるポータル認証結果情報（後述する認証チケット）をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信すると、当該受信したポータル認証結果情報と、認証情報記憶部57に一時記憶していた当該ユーザに対応するポータル認証結果情報とを比較する。

#### 【0068】

これにより認証処理部56は、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3から受信したポータル認証結果情報に対する認証処理として、正規のポータル認証結果情報であるか否かを確認する確認処理を実行し、その確認結果を示す確認結果情報を通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介して当該音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3に返信する。

#### 【0069】

周波数情報記憶部58には、地域を特定可能な郵便番号等の地域コードと、その地域コードの示す地域で受信可能なラジオ放送の放送周波数を示す周波数情報、当該ラジオ放送を放送するラジオ局の名称（以下、これをラジオ局名と呼ぶ）及び当該ラジオ局毎のユニークな識別情報であるコールサインとが対応付けられて記憶されている。

#### 【0070】

URL記憶部59には、ラジオ放送用のラジオ局毎のコールサインと、当該コールサインに対応するラジオ局で提供する現在放送中のラジオ番組に関し当該ラジオ番組の番組名やそのラジオ番組内で現時点に流されている楽曲のタイトル等からなるラジオ放送情報（以下、これを特にナウオンエア情報と呼ぶ）を取得可能なURL情報とが対応付けられて記憶されている。

#### 【0071】

(1-4) 音楽データ配信サーバSV1の機能回路ブロック構成

次に、図5を用いて音楽データ配信サーバSV1の機能回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。音楽データ配信サーバSV1内の制御部70は、バス71を介して接続される各回路の動作を制御する。

#### 【0072】

通信制御部72は、制御部70の制御のもと、ネットワークインタフェース73を介してクライアント端末2やポータルサーバ3等と各種情報や、コンテンツデータ等の各種データ



ータを送受信する。

【0073】

顧客データベース部74には、音楽データ配信サーバSV1の運営者とすでに契約を完了しているユーザのユーザID情報とパスワード情報とが対応付けられて顧客情報として登録されている。ただし認証処理部75が、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3によって発行されたポータル認証結果情報に基づいてユーザを認証処理する機能を有する場合には、顧客データベース部74を設けなくてもよい。

【0074】

ページ情報記憶部76には、音楽データ配信サーバSV1が管理する、ダウンロード可能な音楽データを紹介する音楽データ配信用のページ情報等が記憶されている。

【0075】

因みに音楽データ配信用のページ情報は、XML等の言語によって記述されており、クライアント端末2を利用するユーザに対してダウンロードを希望する音楽データを選択させることができる。

【0076】

そして制御部70は、クライアント端末2から送信される、音楽データ配信用のページ情報を要求するページ情報取得要求信号をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信すると、当該受信したページ情報取得要求信号に応じて、ページ情報記憶部76に記憶された音楽データ配信用のページ情報を通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0077】

認証処理部75は、クライアント端末2から送信される、当該クライアント端末2を利用するユーザのユーザID情報及びパスワード情報をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信すると、ユーザ認証処理として、当該受信したユーザID情報及びパスワード情報が顧客データベース部74に顧客情報として登録されているか否かを確認する。

【0078】

また認証処理部75は、ユーザID情報及びパスワード情報を用いるユーザ認証処理とは異なるユーザ認証手法として、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3で発行されたポータル認証結果情報（後述する認証チケット）をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信したポータル認証結果情報を通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してポータルサーバ3に送信する。

【0079】

そして認証処理部75は、ポータルサーバ3へのポータル認証結果情報の送信に応じて、当該ポータルサーバ3からそのポータル認証結果情報に対する認証処理（すなわち、上述の確認処理）が実行された結果返信される確認結果情報をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信した確認結果情報に基づいてユーザが音楽関連サービス提供システム1の運営者とすでに契約を完了している正規ユーザであるか否かを確認する。

【0080】

このようにして認証処理部75は、ユーザ認証処理が終了すると、そのユーザ認証処理の結果を示したサーバ認証結果情報（後述するサービスセッションID情報）を発行する。

【0081】

このとき制御部70は、認証処理部75によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されると、ページ情報記憶部76に契約者用として記憶されている音楽データ配信用のページ情報をサーバ認証結果情報と共に通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0082】

これに対して制御部70は、認証処理部75によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されなかったときには、認証エラー情報を、ページ情報記憶部76に記憶されている認証の失敗を示す認証失敗通知ページ情報と共に通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

#### 【0083】

ところで認証情報記憶部77には、認証処理部75により発行されたサーバ認証結果情報が一時記憶されると共に、当該認証処理部75により、クライアント端末2を利用するユーザをユーザ認証処理するときに必要とされる各種認証情報が記憶されている。

#### 【0084】

音楽データ記憶部78には、上述のATRAC3形式やMP3形式等で圧縮符号化された複数の音楽データが各々のコンテンツID情報等の検索キーと対応付けられて記憶されている。

#### 【0085】

検索部79は、クライアント端末2に対し音楽データ配信用のページ情報が送信された結果、当該クライアント端末2から送信される、ダウンロード希望の音楽データ検索用の検索キーが格納されそのダウンロード希望の音楽データをダウンロード要求するダウンロード要求信号がネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信されると、当該受信されたダウンロード要求信号からその検索キーを取り出す。

#### 【0086】

そして検索部79は、かかる検索キーに基づいて、音楽データ記憶部78内の複数の音楽データの中から当該検索キーの示す検索条件に該当するダウンロード希望の音楽データを検索する。

#### 【0087】

これにより制御部70は、その検索されたダウンロード希望の音楽データを通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

#### 【0088】

また制御部70は、このときクライアント端末2への音楽データのダウンロードに伴うユーザに対する課金処理用の課金情報を通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介して課金サーバSV5に送信することにより、課金サーバSV5に対し当該ユーザに対する音楽データのダウンロードに応じた課金処理を実行させる。

#### 【0089】

(1-5) 物販サーバSV2の機能回路ブロック構成

次に、図6を用いて物販サーバSV2の機能回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。物販サーバSV2内の制御部90は、バス91を介して接続される各回路の動作を制御する。

#### 【0090】

通信制御部92は、制御部90の制御のもと、ネットワークインタフェース93を介してクライアント端末2やポータルサーバ3等と各種情報を送受信する。

#### 【0091】

顧客データベース部94には、物販サーバSV2の運営者とすでに契約を完了しているユーザのユーザID情報とパスワード情報とが対応付けられて顧客情報として登録されている。ただし認証処理部95が、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3によって発行されたポータル認証結果情報に基づいてユーザを認証処理する機能を有する場合には、顧客データベース部94を設けなくてもよい。

#### 【0092】

ページ情報記憶部96には、物販サーバSV2が管理する、販売対象のCDやDVD等のパッケージメディアを紹介するパッケージメディア販売用のページ情報等が記憶されている。

#### 【0093】

因みにパッケージメディア販売用のページ情報は、XML等の言語によって記述されて

おり、クライアント端末2を利用するユーザに対して購入を希望するCDやDVD等のパッケージメディアを選択させることができる。

【0094】

そして制御部90は、クライアント端末2から送信される、パッケージメディア販売用のページ情報を要求するページ情報取得要求信号をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信すると、当該受信したページ情報取得要求信号に応じて、ページ情報記憶部96に記憶されたパッケージメディア販売用のページ情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0095】

認証処理部95は、クライアント端末2から送信される、当該クライアント端末2を利用するユーザのユーザID情報及びパスワード情報をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信すると、ユーザ認証処理として、当該受信したユーザID情報及びパスワード情報が顧客データベース部94に顧客情報として登録されているか否かを確認する。

【0096】

また認証処理部95は、ユーザID情報及びパスワード情報を用いるユーザ認証処理とは異なるユーザ認証手法として、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3で発行されたポータル認証結果情報（後述する認証チケット）をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信し、当該受信したポータル認証結果情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してポータルサーバ3に送信する。

【0097】

そして認証処理部95は、ポータルサーバ3へのポータル認証結果情報の送信に応じて、当該ポータルサーバ3からそのポータル認証結果情報に対する認証処理（すなわち、上述の確認処理）が実行された結果返信される確認結果情報をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信し、当該受信した確認結果情報に基づいてユーザが音楽関連サービス提供システム1の運営業者とすでに契約を完了している正規ユーザであるか否かを確認する。

【0098】

このようにして認証処理部95は、ユーザ認証処理が終了すると、そのユーザ認証処理の結果を示したサーバ認証結果情報（後述するサービスセッションID情報）を発行する。

【0099】

このとき制御部90は、認証処理部95によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されると、ページ情報記憶部96に契約者用として記憶されているパッケージメディア販売用のページ情報をサーバ認証結果情報と共に通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0100】

これに対して制御部90は、認証処理部95によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されなかったときには、認証エラー情報を、ページ情報記憶部96に記憶されている認証の失敗を示す認証失敗通知ページ情報と共に通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0101】

ところで認証情報記憶部97には、認証処理部95により発行されたサーバ認証結果情報が一時記憶されると共に、当該認証処理部95により、クライアント端末2を利用するユーザをユーザ認証処理するときに必要とされる各種認証情報が記憶されている。

【0102】

パッケージメディア情報記憶部98には、販売対象のCDやDVD等の複数のパッケージメディアに関する情報（以下、これをパッケージメディア情報と呼ぶ）が各々のパッ

ージメディアID情報等の検索キーと対応付けられて記憶されている。

#### 【0103】

検索部99は、クライアント端末2に対しパッケージメディア販売用のページ情報が送信された結果、当該クライアント端末2から送信される、特定のCDやDVD等のパッケージメディアに関するパッケージメディア情報を要求するメディア情報要求信号がネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信されると、当該受信されたメディア情報要求信号から当該特定のパッケージメディア検索用の検索キーを取り出す。

#### 【0104】

そして検索部99は、かかる検索キーに基づいて、パッケージメディア情報記憶部98内の複数のパッケージメディア情報の中から当該検索キーの示す検索条件に該当する特定のパッケージメディアのパッケージメディア情報を検索する。

#### 【0105】

これにより制御部90は、その検索されたパッケージメディア情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信し、かくしてユーザに対し特定のパッケージメディアに関するパッケージメディア情報を提示する。

#### 【0106】

その結果、制御部90は、クライアント端末2から送信される、上述の特定のパッケージメディアを購入要求する購入要求信号をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信すると、当該クライアント端末2を利用するユーザへの当該特定のパッケージメディアの引き渡し手続等の購入処理を実行する。

#### 【0107】

また制御部90は、特定のパッケージメディアの購入に伴うユーザに対する課金処理用の課金情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介して課金サーバSV5に送信することにより、課金サーバSV5に対し当該ユーザに対する特定のパッケージメディアの購入に応じた課金処理を実行させる。

#### 【0108】

さらに制御部90は、課金サーバSV5によるユーザに対する課金処理が完了すると、パッケージメディアの購入処理が完了したことを示す購入完了ページ情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信する。

#### 【0109】

(1-6) ラジオ放送情報配信サーバSV3の機能回路ブロック構成

次に、図7を用いてラジオ放送情報配信サーバSV3の機能回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。ラジオ放送情報配信サーバSV3内の制御部110は、バス111を介して接続される各回路の動作を制御する。

#### 【0110】

通信制御部112は、制御部110の制御のもと、ネットワークインタフェース113を介してクライアント端末2やポータルサーバ3等と各種情報を送受信する。

#### 【0111】

顧客データベース部114には、ラジオ放送情報配信サーバSV3の運営業者とすでに契約を完了しているユーザのユーザID情報とパスワード情報とが対応付けられて顧客情報として登録されている。ただし認証処理部115が、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3によって発行されたポータル認証結果情報に基づいてユーザを認証処理する機能を有する場合には、顧客データベース部114を設けなくてもよい。

#### 【0112】

ページ情報記憶部116には、ラジオ放送情報配信サーバSV3が管理し、当該ラジオ放送情報配信サーバSV3に対応するラジオ局によってすでに放送されたラジオ番組に関するラジオ放送情報（以下、これを特にオンエアリスト情報と呼ぶ）の取得に利用させるオンエアリスト情報配信用のページ情報等が記憶されている。

#### 【0113】

因みにオンエアリスト情報配信用のページ情報は、XML等の言語によって記述され、クライアント端末2を利用するユーザに対し、ラジオ番組の放送日時情報や番組名等を、取得希望のオンエアリスト情報に対する検索キーとして入力させるための入力ボックス等が設けられている。

**【0114】**

オンエアリスト情報記憶部117には、ラジオ放送情報配信サーバSV3に対応するラジオ局ですでに放送されたラジオ番組に対する番組名、番組放送開始時刻及び番組放送終了時刻等と、当該ラジオ番組内で流された楽曲に対するタイトル、アーティスト名、楽曲放送開始時刻等をリスト化して生成されたオンエアリスト情報が記憶されている。

**【0115】**

そして制御部110は、クライアント端末2から送信される、オンエアリスト情報配信用のページ情報を要求するページ情報取得要求信号をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信すると、当該受信したページ情報取得要求信号に応じて、ページ情報記憶部116に記憶されたオンエアリスト情報配信用のページ情報を通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

**【0116】**

その結果、検索部118は、クライアント端末2からオンエアリスト情報配信用のページ情報上で入力された取得希望のオンエアリスト情報検索用の検索キーが格納されオンエアリスト情報をダウンロード要求するオンエアリスト情報要求信号が送信されることにより、そのオンエアリスト情報要求信号をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信すると、当該受信したオンエアリスト情報要求信号から検索キーを取り出す。

**【0117】**

そして検索部118は、かかる検索キーに基づいて、オンエアリスト情報記憶部117内のオンエアリスト情報全体に対し当該検索キーの示す検索条件に該当する所定範囲部分を取得希望のオンエアリスト情報として検索する。

**【0118】**

これにより制御部110は、その検索された取得希望のオンエアリスト情報を通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

**【0119】**

またナウオンエア情報記憶部119には、ラジオ放送情報配信サーバSV3に対応するラジオ局で現在放送中のラジオ番組に対する番組名、番組放送開始時刻、番組放送終了時刻、当該ラジオ番組内で現時点に流されている楽曲に対するタイトル、アーティスト名、楽曲放送開始時刻等からなるナウオンエア情報が記憶されている。

**【0120】**

そして認証処理部115は、クライアント端末2からナウオンエア情報を取得要求するナウオンエア情報要求信号と共に送信される、当該クライアント端末2を利用するユーザのユーザID情報及びパスワード情報をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信すると、ユーザ認証処理として、当該受信したユーザID情報及びパスワード情報が顧客データベース部114に顧客情報として登録されているか否かを確認する。

**【0121】**

また認証処理部115は、ユーザID情報及びパスワード情報を用いるユーザ認証処理とは異なるユーザ認証手法として、クライアント端末2から送信される、ポータルサーバ3で発行されたポータル認証結果情報（後述する認証チケット）をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信し、当該受信したポータル認証結果情報を通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してポータルサーバ3に送信する。

## 【0122】

そして認証処理部115は、ポータルサーバ3へのポータル認証結果情報の送信に応じ、当該ポータルサーバ3からそのポータル認証結果情報に対する認証処理（すなわち、上述の確認処理）が実行された結果返信される確認結果情報をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信し、当該受信した確認結果情報に基づいてユーザが音楽関連サービス提供システム1の運営業者とすでに契約を完了している正規ユーザであるか否かを確認する。

## 【0123】

このようにして認証処理部115は、ユーザ認証処理が終了すると、そのユーザ認証処理の結果を示したサーバ認証結果情報（後述するサービスセッションID情報）を発行する。

## 【0124】

このとき制御部110は、認証処理部115によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されると、ナウオンエア情報記憶部119に記憶されているナウオンエア情報をサーバ認証結果情報と共に通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

## 【0125】

これに対して制御部110は、認証処理部115によるユーザ認証処理の結果、ユーザが正規ユーザであると認証されなかったときには、認証エラー情報を、ページ情報記憶部116に記憶されている認証の失敗を示す認証失敗通知ページ情報と共に通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

## 【0126】

このようにして制御部110は、ユーザからナウオンエア情報の取得が要求されたとき、当該ユーザを正規ユーザであると認証したときには、ナウオンエア情報を配信するものの、ユーザを正規ユーザであると認証することができなかったときには、そのユーザに対してナウオンエア情報の配信サービスのようなラジオ放送情報配信サーバSV3が提供するラジオ放送情報配信サービスを受けさせないようにしている。

## 【0127】

ところで認証情報記憶部120には、認証処理部115により発行されたサーバ認証結果情報が一時記憶されると共に、当該認証処理部115により、クライアント端末2を利用するユーザをユーザ認証処理するときに必要なとされる各種認証情報が記憶されている。

## 【0128】

## (1-7) 各サーバの処理概要

次に図8乃至図13に示すシーケンスチャートを用いて、クライアント端末2とポータルサーバ3との間で実行される処理や、クライアント端末2とその他の音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3との間で実行される処理の概要を説明する。

## 【0129】

## (1-7-1) クライアント端末2及びポータルサーバ3間のユーザ認証処理手順

まず図8を用いて、クライアント端末2とポータルサーバ3との間で実行されるユーザ認証処理手順について説明する。

## 【0130】

音楽関連サービス提供システム1の運営業者と契約しているユーザのクライアント端末2において制御部23は、例えばクライアント端末2に対して電源を投入する操作が行われ、又はユーザにより操作入力部20の特定の操作ボタンが押下されたことに応じてその操作入力部20で認識された操作入力信号が入力処理部21で操作コマンドに変換されて与えられると、認証要求処理を開始する。

## 【0131】

クライアント端末2で認証要求処理を開始すると、ステップSP1において、制御部23は、認証情報記憶部38に対し予め一時記憶している認証セッションID情報等を格納



した接続要求信号を生成し、当該生成した接続要求信号を通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介してポータルサーバ 3 に送信する。

**【0132】**

因みに認証セッション ID 情報は、クライアント端末 2 とポータルサーバ 3 とがユーザ認証処理等の各種処理の実行用に通信接続する毎に、個々の通信接続状態（すなわち、セッション）の識別用としてポータルサーバ 3 によって発行される識別情報である。

**【0133】**

なおかかる認証セッション ID 情報については、ユーザ認証処理等に利用するうえで、ポータルサーバ 3 による発行時点を基準とした所定の有効期限（例えば 1 分程度）が設定されている。

**【0134】**

従ってポータルサーバ 3 から認証セッション ID 情報を取得したクライアント端末 2 は、その認証セッション ID 情報を有効期限以内にポータルサーバ 3 に対して提示することができない場合、ポータルサーバ 3 により、当該認証セッション ID 情報で特定される通信接続状態が切断されたと判断される。

**【0135】**

これによりポータルサーバ 3 は、過去に発行した認証セッション ID 情報が、音楽関連サービス提供システム 1 の運営業者と契約してはいないユーザによりユーザ認証処理等に対し不当に利用されることを防止している。

**【0136】**

また認証情報記憶部 38 に一時記憶されている認証セッション ID 情報は、クライアント端末 2 とポータルサーバ 3 とが以前にユーザ認証処理等の実行用に通信接続したとき、そのポータルサーバ 3 によって発行されたものである。

**【0137】**

クライアント端末 2 から接続要求信号が送信されると、これに応じてステップ SP2 においてポータルサーバ 3 の制御部 50 は、ネットワークインタフェース 53 及び通信制御部 52 を順次介してその接続要求信号を受信し、当該受信した接続要求信号に格納されている認証セッション ID 情報等を認証処理部 56 に送出する。

**【0138】**

そして認証処理部 56 は、制御部 50 の制御のもと、クライアント端末 2 から接続要求信号として受信された認証セッション ID 情報等に基づいてユーザ認証処理を実行する。

**【0139】**

その結果、制御部 50 は、認証処理部 56 により、クライアント端末 2 から受信した認証セッション ID 情報等の有効期限が切れる等して、当該クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであると認証することができなかつたときには、認証エラーを示す認証エラー情報を通信制御部 52 及びネットワークインタフェース 53 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

**【0140】**

ステップ SP3 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、ポータルサーバ 3 から送信された認証エラー情報をネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信すると、これに応じて認証情報記憶部 38 に記憶しているユーザ ID 情報及びパスワード情報等を読み出し、当該読み出したユーザ ID 情報及びパスワード情報等を通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介してポータルサーバ 3 に送信する。

**【0141】**

ステップ SP4 において、ポータルサーバ 3 の制御部 50 は、クライアント端末 2 から送信されたユーザ ID 情報及びパスワード情報等をネットワークインタフェース 53 及び通信制御部 52 を順次介して受信し、当該受信したユーザ ID 情報及びパスワード情報等を認証処理部 56 に送出する。

**【0142】**

これにより認証処理部 56 は、制御部 50 の制御のもとにユーザ認証処理として、そのクライアント端末 2 から受信されたユーザ ID 情報及びパスワード情報等が、顧客データベース部 54 に登録されている顧客情報に含まれているか否かを検出する。

【0143】

その結果、認証処理部 56 は、クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、制御部 50 の制御のもとにポータル認証結果情報として、現時点のクライアント端末 2 とポータルサーバ 3 との通信接続状態に対する認証セッション ID 情報等を発行すると共に、当該クライアント端末 2 に対して発行した認証セッション ID 情報等を認証情報記憶部 57 に一時記憶する。

【0144】

そして制御部 50 は、認証処理部 56 によりそのクライアント端末 2 に対して発行された認証セッション ID 情報等を通信制御部 52 及びネットワークインタフェース 53 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

【0145】

ステップ SP5 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、ポータルサーバ 3 から送信された認証セッション ID 情報等をネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信し、当該受信した認証セッション ID 情報等を認証処理部 37 に送出する。

【0146】

そして認証処理部 37 は、制御部 23 の制御のもとに、ポータルサーバ 3 から受信されたその認証セッション ID 情報等を認証情報記憶部 38 に一時記憶する。

【0147】

これにより制御部 23 は、ポータルサーバ 3 に対しページ情報を要求するためのページ情報取得要求信号を、ポータルサーバ 3 から受信して認証情報記憶部 38 に一時記憶されたその認証セッション ID 情報等と共に通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介してポータルサーバ 3 に送信する。

【0148】

ステップ SP6 において、ポータルサーバ 3 の制御部 50 は、クライアント端末 2 から送信されたページ情報取得要求信号及び認証セッション ID 情報等をネットワークインタフェース 53 及び通信制御部 52 を順次介して受信し、当該受信した認証セッション ID 情報等を認証処理部 56 に送出する。

【0149】

これにより認証処理部 56 は、制御部 50 の制御のもと、クライアント端末 2 から受信された認証セッション ID 情報等と、上述のステップ SP4 においてクライアント端末 2 に対して発行し認証情報記憶部 57 に一時記憶していた認証セッション ID 情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0150】

その結果ステップ SP7 において、認証処理部 56 は、クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、当該クライアント端末 2 からのページ情報の取得要求が正当な要求であると判断し、クライアント端末 2 に対して発行していた認証セッション ID 情報等の有効期限を延長する。

【0151】

これにより制御部 50 は、ページ情報記憶部 55 から、ユーザによって取得要求されたページ情報を読み出すと共に、当該読み出したページ情報を、認証処理部 56 により有効期限の延長された認証セッション ID 情報等と共に通信制御部 52 及びネットワークインタフェース 53 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

【0152】

ステップ SP8 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、ポータルサーバ 3 から送信されたページ情報と、有効期限の延長された認証セッション ID 情報等とをネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信し、当該受信したページ情



報をページ情報生成部36に送出すると共に、その有効期限の延長された認証セッションID情報等を認証処理部37に送出する。

**【0153】**

ページ情報生成部36は、制御部23から与えられたページ情報に基づいて、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3へのリンクが埋め込まれたページの映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部24に送出する。

**【0154】**

これにより表示制御部24は、ページ情報生成部36から与えられた映像データに対してデジタルアナログ変換処理を施し、得られたアナログ映像信号を表示部25に送出することにより当該表示部25にそのアナログ映像信号に基づく映像としてポータルサーバ3のページを表示させる。

**【0155】**

また認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、ポータルサーバ3から受信された、有効期限の延長された認証セッションID情報等をその有効期限が延長される前の認証セッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、上述のステップSP5において一時記憶していた認証セッションID情報等を有効期限の延長された認証セッションID情報等に更新する。

**【0156】**

(1-7-2) クライアント端末2及び各サーバSV1乃至SV3間のユーザ認証処理手順

次に、図9において、クライアント端末2と、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3との間で実行するユーザ認証処理について以下に説明する。

**【0157】**

この場合、かかるユーザ認証処理としては、クライアント端末2が図8について上述したようにポータルサーバ3からページ情報を一旦取得し、引き続きそのページ情報に埋め込まれたリンクにより音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3にアクセスして実行されるユーザ認証処理（以下、これを間接アクセス認証処理と呼ぶ）がある。

**【0158】**

またかかるユーザ認証処理としては、クライアント端末2がポータルサーバ3のページ情報を取得せずに、予めブックマークとして登録しているURL情報等により音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3に直接アクセスして実行されるユーザ認証処理（以下、これを直接アクセス認証処理と呼ぶ）もある。

**【0159】**

ただし間接アクセス認証処理については、クライアント端末2と、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3とが何れの組合せであっても同様の手順で実行することができる。

**【0160】**

また直接アクセス認証処理についても、クライアント端末2と、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3とが何れの組合せであっても同様の手順で実行することができる。

**【0161】**

そして間接アクセス認証処理及び直接アクセス認証処理では、クライアント端末2において音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3へのアクセスに使用するURL情報の取得の仕方のみが異なるだけで、当該URL情報の取得以降には、間接アクセス認証処理及び直接アクセス認証処理の両方ともに同様の手順で実行することができる。

**【0162】**

従って以下には、クライアント端末2のアクセス先として、説明を簡略化するうえで音楽データ配信サーバSV1を代表として用い、さらに間接アクセス認証処理及び直接アクセス認証処理をまとめて1つのユーザ認証処理として説明する。

#### 【0163】

まず、ステップSP10において、クライアント端末2の制御部23は、ページ情報にリンクとして埋め込まれたURL情報、又はすでにブックマークとして登録しているURL情報等に従って、音楽データ配信用のページ情報（他の物販サーバSV2やラジオ放送情報配信サーバSV3では、パッケージメディア販売用のページ情報やオンエアリスト情報配信用のページ情報等となる）を取得要求するページ情報取得要求信号と共に、認証情報記憶部38から読み出したサービスセッションID情報等を通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して音楽データ配信サーバSV1に送信する。

#### 【0164】

因みにサービスセッションID情報は、クライアント端末2と音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3とがユーザ認証処理等の各種処理の実行用に通信接続する毎に、個々の通信接続状態（すなわち、セッション）の識別用として、クライアント端末2がアクセスした音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3によって発行される識別情報である。

#### 【0165】

なおかかるサービスセッションID情報については、上述した認証セッションID情報と同様に、ユーザ認証処理等に利用するうえで音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3による発行時点を基準とした所定の有効期限（例えば1分程度）が設定されている。

#### 【0166】

従って各サーバSV1乃至SV3からサービスセッションID情報を取得したクライアント端末2は、そのサービスセッションID情報を有効期限以内に発行元の音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3に対して提示することができない場合、これら発行元の音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3により、当該サービスセッションID情報で特定される通信接続状態が切断されたと判断される。

#### 【0167】

これにより音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3は、過去に発行したサービスセッションID情報が、音楽関連サービス提供システム1の運営業者と契約してはいないユーザによりユーザ認証処理等に対し不当に利用されることを防止している。

#### 【0168】

また認証情報記憶部38に一時記憶されているサービスセッションID情報は、クライアント端末2と音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3とが以前にユーザ認証処理等の実行用に通信接続したとき、そのアクセス先の音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3によって発行されたものである。

#### 【0169】

ステップSP11において、音楽データ配信サーバSV1の制御部70は、クライアント端末2から送信されたページ情報取得要求信号及びサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部75に送出する。

#### 【0170】

認証処理部75は、制御部70の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、認証情報記憶部77にすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

#### 【0171】

その結果、認証処理部 75 は、例えばクライアント端末 2 から受信したサービスセッション ID 情報の有効期限がすでに切れていることにより、当該クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであるとは認証することができないと、クライアント端末 2 からの音楽データ配信用のページ情報の取得要求が正当な要求ではないと判断する。

【0172】

そして制御部 70 は、認証処理部 75 によりクライアント端末 2 を利用するユーザが正規ユーザであると認証されないと、認証エラーを示す認証エラー情報と、音楽データ配信サーバ SV1 を識別するショップコードとを通信制御部 72 及びネットワークインタフェース 73 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

【0173】

ステップ SP12 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、音楽データ配信サーバ SV1 から送信された認証エラー情報及びショップコードをネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信し、当該受信した認証エラー情報により、音楽データ配信サーバ SV1 においてユーザが正規ユーザとして認証されなかったことを認識すると共に、その音楽データ配信サーバ SV1 から受信したショップコードを認証情報記憶部 38 に一時記憶する。

【0174】

そして制御部 23 は、ポータルサーバ 3 に対して、音楽データ配信サーバ SV1 にアクセスするための認証チケットを発行要求する認証チケット発行要求信号を生成し、当該生成した認証チケット発行要求信号を音楽データ配信サーバ SV1 のショップコード、及びすでにポータルサーバ 3 から受信して認証情報記憶部 38 に対し一時記憶している認証セッション ID 情報等と共に通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介してポータルサーバ 3 に送信する。

【0175】

ステップ SP13 において、ポータルサーバ 3 の制御部 50 は、クライアント端末 2 から送信された認証チケット発行要求信号、ショップコード及び認証セッション ID 情報等をネットワークインタフェース 53 及び通信制御部 52 を順次介して受信し、これらを認証処理部 56 に送出する。

【0176】

これにより認証処理部 56 は、制御部 50 の制御のもと、そのクライアント端末 2 から受信された認証セッション ID 情報等と、認証情報記憶部 57 に対しすでに一時記憶している認証セッション ID 情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0177】

その結果、認証処理部 56 は、例えばクライアント端末 2 から受信された認証セッション ID 情報の有効期限がすでに切れており、当該クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであるとは認証することができないと、クライアント端末 2 からの認証チケットの発行要求が正当な要求ではないと判断する。

【0178】

そして制御部 50 は、認証処理部 56 によりクライアント端末 2 を利用するユーザが正規ユーザであると認証されないと、認証エラーを示す認証エラー情報を通信制御部 52 及びネットワークインタフェース 53 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

【0179】

これに対して認証処理部 56 は、例えばクライアント端末 2 から受信した認証セッション ID 情報の有効期限が未だ切れてはいないことで、クライアント端末 2 を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、当該クライアント端末 2 からの認証チケットの発行要求が正当な要求であると判断する。

【0180】

そして制御部 50 は、認証処理部 56 により、クライアント端末 2 を利用するユーザが正規ユーザであると認証されると、後述するステップ SP18 に移る。

【0181】

ステップSP14において、クライアント端末2の制御部23は、ポータルサーバ3から送信された認証エラー情報をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信すると、認証情報記憶部38に記憶されているユーザID情報及びパスワード情報等を読み出すと共に、当該読み出したユーザID情報及びパスワード情報等を通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してポータルサーバ3に送信する。

【0182】

ステップSP15において、ポータルサーバ3の制御部50は、クライアント端末2から送信されたユーザID情報及びパスワード情報等をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信し、当該受信したユーザID情報及びパスワード情報等を認証処理部56に送出する。

【0183】

これにより認証処理部56は、制御部50の制御のもと、クライアント端末2から受信されたユーザID情報及びパスワード情報等が、顧客データベース部54に登録されている顧客情報に含まれているか否かを検出するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0184】

その結果、認証処理部56は、クライアント端末2を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、制御部50の制御のもとポータル認証結果情報として、現時点のクライアント端末2とポータルサーバ3との通信接続状態に対する認証セッションID情報等を発行すると共に、当該クライアント端末2に対して発行した認証セッションID情報等を認証情報記憶部57に一時記憶する。

【0185】

そして制御部50は、認証処理部56によりそのクライアント端末2に対して発行された認証セッションID情報等を通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0186】

ステップSP16において、クライアント端末2の制御部23は、ポータルサーバ3から送信された認証セッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信した認証セッションID情報等を認証処理部37により認証情報記憶部38に一時記憶する。

【0187】

そして制御部23は、再びポータルサーバ3に対して、認証チケットを発行要求する認証チケット発行要求信号を生成すると共に、当該生成した認証チケット発行要求信号を、認証情報記憶部38にすでに一時記憶しているショップコード、及びこのとき一時記憶した認証セッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してポータルサーバ3に送信する。

【0188】

ここで本実施の形態では、クライアント端末2において認証情報記憶部38に対しショップコードを一時記憶しておいたが、これに限らず、当該クライアント端末2とポータルサーバ3との間でステップSP12乃至ステップSP16の処理を実行する際にショップコードを順次送受信することにより、クライアント端末2において認証情報記憶部38に対しショップコードを一時記憶しなくてもステップSP16においてポータルサーバ3に対しショップコードを送信することが可能である。

【0189】

ステップSP17において、ポータルサーバ3の制御部50は、クライアント端末2から送信された認証チケット発行要求信号、ショップコード及び認証セッションID情報等をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信し、これらを認証処理部56に送出する。

【0190】

これにより認証処理部56は、制御部50の制御のもと、そのクライアント端末2から

受信された認証セッションID情報等と、認証情報記憶部57にすでに一時記憶している認証セッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0191】

その結果、認証処理部56は、例えばクライアント端末2から受信した認証セッションID情報等の有効期限が未だ切れてはいないために、クライアント端末2を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、当該クライアント端末2からの認証チケットの発行要求が正当な要求であると判断する。

【0192】

そして制御部50は、認証処理部56により、クライアント端末2を利用するユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP18に移る。

【0193】

ステップSP18において、認証処理部56は、制御部50の制御のもと、上述のステップSP17においてクライアント端末2から受信したショップコード及び認証チケット発行要求信号に基づいて、ポータル認証結果情報として、当該ショップコードの示す音楽データ配信サーバSV1へのアクセスを可能にする認証チケット等を発行する。

【0194】

そして認証処理部56は、制御部50の制御のもと、その発行した認証チケット等を認証情報記憶部57に一時記憶すると共に、クライアント端末2に対して発行していた認証セッションID情報等の有効期限を延長する。

【0195】

これにより制御部50は、認証チケット等を、認証処理部56により有効期限の延長された認証セッションID情報等と共に通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0196】

ステップSP19において、クライアント端末2の制御部23は、ポータルサーバ3から送信された認証チケット等と、有効期限の延長された認証セッションID情報等とをネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信した認証セッションID情報を認証処理部37に送出する。

【0197】

そして制御部23は、そのポータルサーバ3から受信した認証チケット等を認証要求信号と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して音楽データ配信サーバSV1に送信する。

【0198】

また認証処理部37は、このとき制御部23の制御のもとに認証情報記憶部38において、ポータルサーバ3から受信された有効期限の延長されている認証セッションID情報等をその有効期限が延長される前の認証セッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、上述のステップSP16において一時記憶していた認証セッションID情報等を有効期限の延長された認証セッションID情報等に更新する。

【0199】

ステップSP20において、音楽データ配信サーバSV1の制御部70は、クライアント端末2から送信された認証要求信号及び認証チケット等をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信する。

【0200】

そして制御部70は、そのクライアント端末2から受信した認証チケット等を当該認証チケット等の確認を要求する認証チケット確認要求信号と共に通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してポータルサーバ3に送信する。

【0201】

ステップSP21において、ポータルサーバ3の制御部50は、音楽データ配信サーバSV1から送信された認証チケット確認要求信号及び認証チケット等をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信し、当該受信した認証チケット確認

要求信号及び認証チケット等を認証処理部56に送出する。

【0202】

そして認証処理部56は、制御部50の制御のもと認証チケット確認要求信号に応じて、その音楽データ配信サーバSV1から受信された認証チケット等と、認証情報記憶部57にすでに一時記憶している認証チケット等とを比較するようにして、当該音楽データ配信サーバSV1から受信した認証チケットに対する確認処理を実行する。

【0203】

その結果、制御部50は、認証処理部56により、音楽データ配信サーバSV1から受信した認証チケット等が正規の認証チケット等であると確認されると、当該認証チケット等を正規の認証チケット等であると確認したことを示す確認結果情報を通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介して音楽データ配信サーバSV1に送信する。

【0204】

ステップSP22において、音楽データ配信サーバSV1の制御部70は、ポータルサーバ3から送信された確認結果情報をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信した確認結果情報を認証処理部75に送出する。

【0205】

これにより認証処理部75は、制御部70の制御のもとにその確認結果情報に応じ、サーバ認証結果情報として、現時点のクライアント端末2と音楽データ配信サーバSV1との通信接続状態に対するサービスセッションID情報等を発行すると共に、当該発行したサービスセッションID情報等を認証情報記憶部77に一時記憶する。

【0206】

また制御部70は、認証処理部75によりそのクライアント端末2に対して発行されたサービスセッションID情報等を通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0207】

ステップSP23において、クライアント端末2の制御部23は、音楽データ配信サーバSV1から送信されたサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37により認証情報記憶部38に一時記憶させる。

【0208】

これにより制御部23は、音楽データ配信用のページ情報を要求するページ情報取得要求信号を、音楽データ配信サーバSV1から受信して認証情報記憶部38に一時記憶させたサービスセッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して音楽データ配信サーバSV1に送信する。

【0209】

ステップSP24において、音楽データ配信サーバSV1の制御部70は、クライアント端末2から送信されたページ情報取得要求信号及びサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部75に送出する。

【0210】

これにより認証処理部75は、制御部70の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、上述のステップSP22においてすでにクライアント端末2に対し発行して認証情報記憶部77に一時記憶していたサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0211】

その結果、認証処理部75は、例えばクライアント端末2から受信したサービスセッションID情報等の有効期限が未だ切れてはいないために、そのクライアント端末2を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、当該クライアント端末2からの音楽データ配信用のページ情報の取得要求が正当な要求であると判断する。



## 【0212】

そして制御部70は、認証処理部75により、クライアント端末2を利用するユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP25に移る。

## 【0213】

ステップSP25において、制御部70は、ページ情報記憶部76から、ユーザにより取得要求された音楽データ配信用のページ情報を読み出すと共に、認証処理部75により、クライアント端末2に対して発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させる。

## 【0214】

そして制御部70は、そのページ情報記憶部76から読み出した音楽データ配信用のページ情報を、認証処理部75により有効期限を延長させたサービスセッションID情報等と共に通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

## 【0215】

ステップSP26において、クライアント端末2の制御部23は、音楽データ配信サーバSV1から送信された音楽データ配信用のページ情報と、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信した音楽データ配信用のページ情報をページ情報生成部36に送出すると共に、その音楽データ配信サーバSV1から受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37に送出する。

## 【0216】

これにより認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、音楽データ配信サーバSV1から受信された有効期限の延長されているサービスセッションID情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、上述のステップSP23において一時記憶していたサービスセッションID情報等を有効期限の延長されたサービスセッションID情報等に更新する。

## 【0217】

またページ情報生成部36は、音楽データ配信用のページ情報に基づく映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部24に送出する。

## 【0218】

これにより表示制御部24は、ページ情報生成部36から与えられた映像データに対しデジタルアナログ変換処理を施し、得られたアナログ映像信号を表示部25に送出することにより当該表示部25にそのアナログ映像信号に基づく映像として音楽データ配信用のページを表示する。

## 【0219】

## (1-7-3) 音楽関連サービス提供処理

続いて図10乃至図13において、図9について上述したクライアント端末2と、音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3との間で実行されたユーザ認証処理手順の終了後に、当該ユーザ認証処理手順においてクライアント端末2が音楽データ配信サーバSV1、物販サーバSV2及びラジオ放送情報配信サーバSV3から取得した音楽データ配信用のページ情報、パッケージメディア販売用のページ情報及びオンエアリスト情報配信用のページ情報等を利用して音楽データ配信サービス、物販サービス及びラジオ放送情報配信サービスの提供を受ける際の音楽関連サービス提供処理について説明する。

## 【0220】

## (1-7-3-1) 音楽データ配信サービス提供処理手順

まず図10を用いてクライアント端末2が、音楽データ配信サーバSV1から音楽データ配信サービスの提供を受ける際の音楽データ配信サービス提供処理手順について説明する。

## 【0221】

ステップSP30において、クライアント端末2の制御部23は、表示部25に映像として表示された音楽データ配信用のページの一部を選択する制御コマンドが入力処理部21から入力されると、当該入力された制御コマンドに応じて、ダウンロード希望の音楽データをダウンロード要求するダウンロード要求信号を生成する。

## 【0222】

そして制御部23は、そのダウンロード要求信号を、すでに音楽データ配信サーバSV1で発行され認証情報記憶部38に対し一時記憶されているサービスセッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して音楽データ配信サーバSV1に送信する。

## 【0223】

ステップSP31において、音楽データ配信サーバSV1の制御部70は、クライアント端末2から送信されたダウンロード要求信号と、サービスセッションID情報等とをネットワークインタフェース73及び通信制御部72を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部75に送出する。

## 【0224】

これにより認証処理部75は、制御部70の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、認証情報記憶部77に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

## 【0225】

その結果、制御部70は、認証処理部75により、クライアント端末2を利用して音楽データのダウンロードを要求したユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP32に移る。

## 【0226】

ステップSP32において、検索部79は、ダウンロード要求信号に格納されている検索キーに基づいて、音楽データ記憶部78内の複数の音楽データの中から当該検索キーの示す検索条件に該当するダウンロード希望の音楽データを検索する。

## 【0227】

そして制御部70は、検索部79により音楽データが検索されると、認証処理部75により、クライアント端末2に対し発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させて、次のステップSP33に移る。

## 【0228】

ステップSP33において制御部70は、音楽データ記憶部78から、検索部79によって検索されたダウンロード希望の音楽データを読み出すと共に、当該読み出したダウンロード希望の音楽データを、認証処理部75により有効期限の延長されたサービスセッションID情報等と共に通信制御部72及びネットワークインタフェース73を順次介してクライアント端末2に送信する。

## 【0229】

ステップSP34において、クライアント端末2の制御部23は、音楽データ配信サーバSV1から送信されたダウンロード希望の音楽データと、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等とをネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信した音楽データを記憶媒体29に記憶すると共に、その音楽データ配信サーバSV1から受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37に送出する。

## 【0230】

認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、音楽データ配信サーバSV1から受信された有効期限の延長されているサービスセッションID情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等の内容を更新する。



**【0231】**

このようにしてクライアント端末2は、音楽データ配信サーバSV1の提供している音楽データ配信サービスを利用して、ユーザにより取得の希望された音楽データをダウンロードすることができる。

**【0232】**

(1-7-3-2) 物販サービス提供処理手順

次に図11を用いてクライアント端末2が、物販サーバSV2から物販サービスの提供を受ける際の物販サービス提供処理手順について説明する。

**【0233】**

ステップSP40において、クライアント端末2の制御部23は、表示部25に映像として表示されたパッケージメディア販売用のページの一部を選択する制御コマンドが入力処理部21から入力されると、当該入力された制御コマンドに応じた特定のパッケージメディアに関するパッケージメディア情報を要求するメディア情報要求信号を生成する。

**【0234】**

そして制御部23は、そのメディア情報要求信号を、すでに物販サーバSV2で発行され認証情報記憶部38に対し一時記憶されているサービスセッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して物販サーバSV2に送信する。

**【0235】**

ステップSP41において、物販サーバSV2の制御部90は、クライアント端末2から送信されたメディア情報要求信号と、サービスセッションID情報等をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部95に送出する。

**【0236】**

認証処理部95は、制御部90の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、認証情報記憶部97に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

**【0237】**

その結果、制御部90は、認証処理部95により、クライアント端末2を利用してパッケージメディアに関するパッケージメディア情報を要求したユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP42に移る。

**【0238】**

ステップSP42において、検索部99は、メディア情報要求信号に格納されている検索キーに基づいて、パッケージメディア情報記憶部98内の複数のパッケージメディア情報の中から当該検索キーの示す検索条件に該当する特定のパッケージメディアのパッケージメディア情報を検索する。

**【0239】**

そして制御部90は、検索部99によりパッケージメディア情報が検索されると、認証処理部95により、クライアント端末2に対し発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させて、次のステップSP43に移る。

**【0240】**

そしてステップSP43において制御部90は、パッケージメディア情報記憶部98から、検索部99によって検索されたパッケージメディア情報を読み出すと共に、当該読み出したパッケージメディア情報を、認証処理部95により有効期限の延長されたサービスセッションID情報等と共に通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介してクライアント端末2に送信する。

**【0241】**

ステップSP44において、クライアント端末2の制御部23は、物販サーバSV2から送信されたパッケージメディア情報と、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当

該受信したパッケージメディア情報をページ情報生成部36に送出すると共に、その物販サーバSV2から受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37に送出する。

【0242】

認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、物販サーバSV2から受信された有効期限の延長されているサービスセッションID情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッションID情報等の上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等の内容を更新する。

【0243】

またページ情報生成部36は、制御部23から与えられたパッケージメディア情報に基づいて映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部24によりアナログ映像信号に変換して表示部25に送出する。

【0244】

このようにして制御部23は、表示部25に対しそのアナログ映像信号に基づく映像としてパッケージメディア情報を表示させると、次のステップSP45に移る。

【0245】

ステップSP45において、制御部23は、表示部25に映像として表示させたパッケージメディア情報に対応するパッケージメディアを購入要求する制御コマンドが入力処理部21から入力されると、当該入力された制御コマンドに応じてそのパッケージメディアを購入要求する購入要求信号を生成する。

【0246】

そして制御部23は、その購入要求信号を、すでに物販サーバSV2から受信して認証情報記憶部38に対し一時記憶されているサービスセッションID情報等（すなわち、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等）と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介して物販サーバSV2に送信する。

【0247】

ステップSP46において、物販サーバSV2の制御部90は、クライアント端末2から送信された購入要求信号と、サービスセッションID情報等をネットワークインタフェース93及び通信制御部92を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部95に送出する。

【0248】

認証処理部95は、制御部90の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、認証情報記憶部97に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0249】

その結果、制御部90は、認証処理部95により、クライアント端末2を利用してパッケージメディアの購入を要求したユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP47に移る。

【0250】

ステップSP47において、制御部90は、クライアント端末2を利用するユーザに対し、購入要求されたパッケージメディアを引き渡すための手続等の購入処理を実行すると共に、当該パッケージメディアの購入に伴うユーザに対する課金処理用の課金情報を通信制御部92及びネットワークインタフェース93を順次介して課金サーバSV5に送信することにより、その課金サーバSV5に対し当該ユーザに対するパッケージメディアの購入に応じた課金処理を実行させる。

【0251】

また制御部90は、認証処理部95により、クライアント端末2に対し発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させる。

【0252】

ステップSP48において、制御部90は、課金処理終了後、パッケージメディアの購

入処理が完了したことを示す購入完了ページ情報を、認証処理部 95 により有効期限の延長されたサービスセッション ID 情報等と共に通信制御部 92 及びネットワークインタフェース 93 を順次介してクライアント端末 2 に送信する。

**【0253】**

ステップ SP49 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、物販サーバ SV2 から送信された購入完了ページ情報と、有効期限の延長されたサービスセッション ID 情報等をネットワークインタフェース 33 及び通信制御部 32 を順次介して受信し、当該受信した購入完了ページ情報をページ情報生成部 36 に送出すると共に、その物販サーバ SV2 から受信したサービスセッション ID 情報等を認証処理部 37 に送出する。

**【0254】**

認証処理部 37 は、制御部 23 の制御のもと認証情報記憶部 38 において、物販サーバ SV2 から受信された有効期限の延長されているサービスセッション ID 情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッション ID 情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部 38 に対しすでに一時記憶しているサービスセッション ID 情報等の内容を更新する。

**【0255】**

またページ情報生成部 36 は、制御部 23 から与えられた購入完了ページ情報に基づく映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部 24 によりアナログ映像信号に変換して表示部 25 に送出する。

**【0256】**

これにより制御部 23 は、表示部 25 に対しそのアナログ映像信号に基づく映像として購入完了ページを表示させる。

**【0257】**

このようにしてクライアント端末 2 は、物販サーバ SV2 の提供している物販サービスを利用して、ユーザに対して所望のパッケージメディアを購入させることができる。

**【0258】**

(1-7-3-3) オンエアリスト情報配信サービス提供処理手順

次に図 12 を用いてクライアント端末 2 が、ラジオ放送情報配信サーバ SV3 からラジオ放送情報配信サービスとして特にオンエアリスト情報配信サービスの提供を受ける際のラジオ放送情報配信サービス提供処理手順について説明する。

**【0259】**

ステップ SP60 において、クライアント端末 2 の制御部 23 は、表示部 25 に映像として表示させたオンエアリスト情報配信のページ上で入力ボックスに対し取得希望のオンエアリスト情報検索用の検索キーが入力され、当該入力された検索キーを示す文字列に対応する制御コマンドが入力処理部 21 から入力されると、当該入力された制御コマンドに応じて、取得希望のオンエアリスト情報をダウンロード要求するオンエアリスト情報要求信号を生成する。

**【0260】**

そして制御部 23 は、そのオンエアリスト情報要求信号を、すでにラジオ放送情報配信サーバ SV3 で発行され認証情報記憶部 38 に対し一時記憶されているサービスセッション ID 情報等と共に通信制御部 32 及びネットワークインタフェース 33 を順次介してラジオ放送情報配信サーバ SV3 に送信する。

**【0261】**

ステップ SP61 において、ラジオ放送情報配信サーバ SV3 の制御部 110 は、クライアント端末 2 から送信されたオンエアリスト情報要求信号と、サービスセッション ID 情報等をネットワークインタフェース 113 及び通信制御部 112 を順次介して受信し、当該受信したサービスセッション ID 情報等を認証処理部 115 に送出する。

**【0262】**

認証処理部 115 は、制御部 110 の制御のもと、クライアント端末 2 から受信されたサービスセッション ID 情報等と、認証情報記憶部 120 に対しすでに一時記憶している

サービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

【0263】

その結果、制御部110は、認証処理部115により、クライアント端末2を利用してオンエアリスト情報を要求したユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP62に移る。

【0264】

ステップSP62において、検索部118は、オンエアリスト情報要求信号に格納されている検索キーに基づいて、オンエアリスト情報記憶部117内のオンエアリスト情報全体に対し、当該検索キーの示す検索条件に該当する所定範囲部分を取得希望のオンエアリスト情報として検索する。

【0265】

そして制御部110は、検索部118によりオンエアリスト情報が検索されると、認証処理部115により、クライアント端末2に対し発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させて、次のステップSP63に移る。

【0266】

そしてステップSP63において制御部110は、オンエアリスト情報記憶部117から、検索部118によって検索されたオンエアリスト情報を読み出すと共に、当該読み出したオンエアリスト情報を、認証処理部115により有効期限の延長されたサービスセッションID情報等と共に通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0267】

ステップSP64において、クライアント端末2の制御部23は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたオンエアリスト情報と、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等とをネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信したオンエアリスト情報をページ情報生成部36に送出すると共に、そのラジオ放送情報配信サーバSV3から受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37に送出する。

【0268】

認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、ラジオ放送情報配信サーバSV3から受信された有効期限の延長されているサービスセッションID情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等の内容を更新する。

【0269】

またページ情報生成部36は、制御部23から与えられたオンエアリスト情報に基づいて映像データを生成し、当該生成した映像データを表示制御部24によりアナログ映像信号に変換して表示部25に送出することにより当該表示部25に対しそのアナログ映像信号に基づく映像としてオンエアリスト情報を表示させる。

【0270】

このようにしてクライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3の提供しているラジオ放送情報配信サービスを利用して、ユーザに対して所望のオンエアリスト情報を取得させることができる。

【0271】

(1-7-3-4) ナウオンエア情報配信サービス提供処理手順

次に図13を用いてクライアント端末2が、ラジオ放送情報配信サーバSV3からラジオ放送情報配信サービスとして特にナウオンエア情報配信サービスの提供を受ける際のラジオ放送情報配信サービス提供処理手順について説明する。

【0272】

ただしナウオンエア情報を提供するラジオ放送情報配信サーバSV3は、ラジオ局（コールサイン）毎に設けられている。

**【0273】**

そしてクライアント端末2には、初期状態において、各ラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3のURL情報が記憶されていない場合がある。

**【0274】**

そのため以下のラジオ放送情報配信サービス提供処理手順については、各ラジオ放送情報配信サーバSV3のURL情報をラジオ局のコールサイン毎にポータルサーバ3が管理している場合を例に挙げて説明する。

**【0275】**

またかかるラジオ放送情報配信サービス提供処理手順では、クライアント端末2が、ラジオ局毎の放送周波数を自動プリセットするためにポータルサーバ3に対して当該放送周波数を示す周波数情報を要求するときに、認証情報記憶部38に対し認証セッションID情報等を一時記憶してはいない場合を想定している。このため、まずクライアント端末2は、ポータルサーバ3に対しユーザID情報及びパスワード情報等を送信することになる。

**【0276】**

ステップSP70において、クライアント端末2の制御部23は、入力処理部21から各ラジオ局の放送周波数を自動プリセットするように要求する操作コマンドが入力されると、これに応じて各ラジオ局の受信可能な放送周波数の周波数情報を取得要求する周波数情報要求信号を、ユーザにより入力された地域コードと、認証情報記憶部38に記憶されているユーザID情報及びパスワード情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してポータルサーバ3に送信する。

**【0277】**

ステップSP71において、ポータルサーバ3の制御部50は、クライアント端末2から送信された周波数情報要求信号、地域コード、ユーザID情報及びパスワード情報等をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信し、そのクライアント端末2から受信したユーザID情報及びパスワード情報等を認証処理部56に送出する。

**【0278】**

認証処理部56は、制御部50の制御のもと、クライアント端末2から受信されたユーザID情報及びパスワード情報等と、顧客データベース部54に登録している顧客情報とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

**【0279】**

その結果、認証処理部56は、クライアント端末2を利用するユーザを正規ユーザであると認証し、当該クライアント端末2からの周波数情報の取得要求が正当な要求であると判断すると、制御部50の制御のもと、現時点のクライアント端末2とポータルサーバ3との通信接続状態に対する認証セッションID情報等を発行し、当該発行した認証セッションID情報等を認証情報記憶部57に一時記憶する。

**【0280】**

そして制御部50は、このように認証処理部56によりユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP72に移る。

**【0281】**

ステップSP72において、制御部50は、クライアント端末2から受信した地域コードに基づいて、周波数情報記憶部58内の複数の周波数情報、ラジオ局名及びコールサインのリストの中から当該地域コードに対応する周波数情報、ラジオ局名及びコールサインを検索してリスト化し読み出す。

**【0282】**

これにより制御部50は、周波数情報記憶部58からリスト化して読み出した周波数情報、ラジオ局名及びコールサインを、上述のステップSP71において認証処理部56によりクライアント端末2に対して発行された認証セッションID情報等と共に通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信する。

## 【0283】

ステップSP73において、クライアント端末2の制御部23は、ポータルサーバ3から送信された周波数情報、ラジオ局名及びコールサインのリストと、認証セッションID情報等とをネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該ポータルサーバ3から受信した認証セッションID情報等を認証処理部37に送出すると共に、周波数情報、ラジオ局名及びコールサインのリストを表示制御部24に送出する。

## 【0284】

これにより認証処理部37は、制御部23の制御のもと、ポータルサーバ3から受信された認証セッションID情報等を認証情報記憶部38に一時記憶する。

## 【0285】

また表示制御部24は、制御部23から与えられた周波数情報、ラジオ局名及びコールサインのリストを表示部25に送出することにより当該表示部25に対しそのリストを表示させる。

## 【0286】

さらに制御部23は、このとき入力処理部21から入力される選択コマンドに基づき、選択された周波数情報、ラジオ局名及びコールサインを記憶媒体29にプリセットとして記憶して、次のステップSP74に移る。

## 【0287】

ステップSP74において、制御部23は、入力処理部21から入力されるチューニング制御コマンドに応じて、チューナ部31を、ラジオ放送波の中からチューニング制御コマンドに対応する放送周波数で放送されているラジオ放送のラジオ放送信号を抽出するように制御する。

## 【0288】

これによりチューナ部31は、放送信号受信部30により受信されたラジオ放送波の中から、その放送周波数で放送されているラジオ放送信号を抽出して復号等の所定の受信処理を施し、この結果得られた音声データを音声制御部26に送出する。

## 【0289】

従って音声制御部26は、チューナ部31から与えられる音声データをアナログ音声信号に変換してスピーカ27に送出することにより当該スピーカ27から、選択されたラジオ番組の音声を出力させることができる。

## 【0290】

ステップSP75において、ラジオ放送表示制御部39は、制御部23の制御のもと、記憶媒体29から、上述のチューニング制御コマンドに対応する放送周波数を示す周波数情報に対応して記憶されているコールサインを読み出すと共に、当該読み出したコールサインを、認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶されている認証セッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してポータルサーバ3に送信する。

## 【0291】

ステップSP76において、ポータルサーバ3の制御部50は、クライアント端末2から送信されたコールサイン及び認証セッションID情報等をネットワークインタフェース53及び通信制御部52を順次介して受信し、当該受信した認証セッションID情報等を認証処理部56に送出する。

## 【0292】

認証処理部56は、制御部50の制御のもと、クライアント端末2から受信された認証セッションID情報等と、認証情報記憶部57に対しすでに一時記憶している認証セッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

## 【0293】

その結果、制御部50は、認証処理部56により、クライアント端末2から受信した認証セッションID情報等が有効期限内のものであり、当該クライアント端末2を利用して

コールサインを送信したユーザが正規ユーザであると認証されると、次のステップSP 77に移る。

【0294】

ステップSP 77において、制御部50は、クライアント端末2から受信したコールサインに基づいて、URL記憶部59内の複数のURL情報の中から当該コールサインに対応付けられたURL情報を検索する。

【0295】

また制御部50は、認証処理部56により、クライアント端末2に対し発行していた認証セッションID情報等の有効期限を延長させる。

【0296】

そして制御部50は、URL記憶部59から、その検索したURL情報を読み出すと共に、当該読み出したURL情報を、認証処理部56により有効期限の延長された認証セッションID情報等と共に通信制御部52及びネットワークインタフェース53を順次介してクライアント端末2に送信する。

【0297】

ステップSP 78において、クライアント端末2の制御部23は、ポータルサーバ3から送信されたURL情報と、有効期限の延長された認証セッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信した認証セッションID情報等を認証処理部37に送出すると共に、URL情報をラジオ放送表示制御部39に送出する。

【0298】

認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、ポータルサーバ3から受信された有効期限の延長されている認証セッションID情報等をその有効期限が延長される前の認証セッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶している認証セッションID情報等の内容を更新する。

【0299】

またラジオ放送表示制御部39は、制御部23の制御のもとに、当該制御部23から与えられたURL情報を、記憶媒体29に記憶しているコールサインに対応付けて記憶媒体29等に一時記憶する。

【0300】

そしてラジオ放送表示制御部39は、制御部23の制御のもとに、記憶媒体29等に一時記憶したURL情報に従って、ナウオンエア情報を取得要求するナウオンエア情報要求信号を、すでにラジオ放送情報配信サーバSV3から受信され認証情報記憶部38に対し一時記憶されているサービスセッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してラジオ放送情報配信サーバSV3に送信する。

【0301】

ここにかかるラジオ放送情報配信サービス提供処理手順では、ステップSP 78においてクライアント端末2からナウオンエア情報要求信号及びサービスセッションID情報等をラジオ放送情報配信サーバSV3に送信する処理が、図9について上述したステップSP 10の処理に対応している。

【0302】

従ってこのラジオ放送情報配信サービス提供処理手順では、ステップSP 78の処理に引き続き、クライアント端末2及びラジオ放送情報配信サーバSV3並びにポータルサーバ3において、図9について上述したステップSP 11乃至ステップSP 13及びステップSP 18乃至ステップSP 22と同様のユーザ認証処理を順次実行した後、続くステップSP 79に移る。

【0303】

ステップSP 79において、クライアント端末2のラジオ放送表示制御部39は、制御部23の制御のもとに再び、記憶媒体29等に一時記憶していたURL情報に従ってナウ



オンエア情報要求信号を、すでにラジオ放送情報配信サーバSV3から受信して認証情報記憶部38に対し一時記憶されているサービスセッションID情報等と共に通信制御部32及びネットワークインタフェース33を順次介してラジオ放送情報配信サーバSV3に送信する。

**【0304】**

ステップSP80において、ラジオ放送情報配信サーバSV3の制御部110は、クライアント端末2から送信されたナウオンエア情報要求信号と、サービスセッションID情報等をネットワークインタフェース113及び通信制御部112を順次介して受信し、当該受信した認証セッションID情報等を認証処理部115に送出する。

**【0305】**

これにより認証処理部115は、制御部110の制御のもと、クライアント端末2から受信されたサービスセッションID情報等と、認証情報記憶部120に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等とを比較するようにしてユーザ認証処理を実行する。

**【0306】**

その結果、認証処理部115は、クライアント端末2を利用するユーザを正規ユーザであると認証すると、当該クライアント端末2からのナウオンエア情報の取得要求が正当な要求であると判断する。

**【0307】**

そして制御部110は、認証処理部115により、クライアント端末2を利用するユーザが正規ユーザであると認証されると、当該認証処理部115により、そのクライアント端末2に対し発行していたサービスセッションID情報等の有効期限を延長させて、次のステップSP81に移る。

**【0308】**

ステップSP81において、制御部110は、ナウオンエア情報記憶部119からナウオンエア情報を読み出し、当該読み出したナウオンエア情報を、認証処理部115により有効期限の延長されたサービスセッションID情報等と共に通信制御部112及びネットワークインタフェース113を順次介してクライアント端末2に送信する。

**【0309】**

ステップSP82において、クライアント端末2の制御部23は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報と、有効期限の延長されたサービスセッションID情報等をネットワークインタフェース33及び通信制御部32を順次介して受信し、当該受信したサービスセッションID情報等を認証処理部37に送出すると共に、ナウオンエア情報をラジオ放送表示制御部39に送出する。

**【0310】**

これにより認証処理部37は、制御部23の制御のもと認証情報記憶部38において、ラジオ放送情報配信サーバSV3から受信された有効期限の延長されているサービスセッションID情報等をその有効期限が延長される前のサービスセッションID情報等に上書きするようにして一時記憶することにより、当該認証情報記憶部38に対しすでに一時記憶しているサービスセッションID情報等の内容を更新する。

**【0311】**

またラジオ放送表示制御部39は、制御部23から与えられたナウオンエア情報を表示制御部24を介して表示部25に送出することにより、当該表示部25に対し、現在受信中のラジオ放送のラジオ番組に関するナウオンエア情報を表示させる。

**【0312】**

そしてかかるラジオ放送情報配信サービス提供処理手順では、この後、クライアント端末2がステップSP79におけるナウオンエア情報の取得要求を定期的に繰り返し実行すると共に、ラジオ放送情報配信サーバSV3がクライアント端末2からその取得要求を受けてステップSP80及びステップSP81の処理を順次実行する。

**【0313】**



これによりクライアント端末2では、現在受信中のラジオ番組の番組名、番組放送開始時刻、番組放送終了時刻、そのラジオ番組内で現在流れている楽曲のタイトル、アーティスト名、楽曲放送開始時刻等をナウオンエア情報として時々刻々と更新しながらクライアント端末2の表示部25に表示することができる。

#### 【0314】

(1-8) クライアント端末2のハードウェア回路ブロック構成

(1-8-1) 回路構成

次にクライアント端末2のハードウェア回路ブロックによるハードウェア構成を説明する。かかるクライアント端末2のハードウェア回路ブロックによるハードウェア構成では、一部の機能を後述するソフトウェアモジュールに従って実現している。

#### 【0315】

図14に示すようにクライアント端末2は、その筐体表面やリモートコントローラ（図示せず）に設けられた各種操作ボタンでなる操作入力部200がユーザによって操作されると、当該操作入力部200でこれを認識し、当該操作に応じた操作入力信号を入力処理部201へ送出する。

#### 【0316】

入力処理部201は、供給される操作入力信号に対して所定の処理を施すことにより、当該操作入力信号を操作コマンドに変換し、これをバス202を介してCPU（Central Processing Unit）203に供給する。

#### 【0317】

CPU203は、ROM（Read Only Memory）204に予め格納されている基本プログラムやアプリケーションプログラム等の各種プログラムをバス202を介してRAM（Random Access Memory）205に読み出し、これら各種プログラムに従って全体を制御すると共に、所定の演算処理や、入力処理部201から供給される操作コマンドに応じた各種処理を実行する。

#### 【0318】

ディスプレイ206は、例えば液晶ディスプレイ等の表示デバイスであって、筐体表面に直接取り付けられている場合や外付けされている場合がある。

#### 【0319】

そしてディスプレイ206は、CPU203による処理結果や各種映像データが表示処理部207を介してアナログ映像信号として供給されると、当該アナログ映像信号に基づく映像を表示する。

#### 【0320】

メディアドライブ208は、例えばCDや、フラッシュメモリが外装ケースに内包されるメモリスティック（登録商標）に記録されたコンテンツデータを読み出して再生し、又は当該CDやメモリスティックに対し記録対象のコンテンツデータを記録する。

#### 【0321】

そしてメディアドライブ208は、CDやメモリスティックからコンテンツデータとして映像データを読み出したときには、当該再生した映像データをバス202を介して表示処理部207に供給する。

#### 【0322】

またメディアドライブ208は、CDやメモリスティックからコンテンツデータとして音声データを読み出したときには、当該再生した音声データを音声処理部209に供給する。

#### 【0323】

表示処理部207は、バス202を介して供給される映像データに対してデジタルアナログ変換処理を施し、その結果得られるアナログ映像信号をディスプレイ206に供給することにより、当該ディスプレイ206にそのアナログ映像信号に基づく映像を表示させる。

#### 【0324】

また音声処理部209は、バス202を介して供給される音声データに対してデジタルアナログ変換処理を施し、その結果得られるアナログ音声信号を2チャンネルのスピーカ210に送出することにより、当該スピーカ210からそのアナログ音声信号に基づくステレオ音声を出力させる。

#### 【0325】

さらにCPU203は、メディアドライブ208で読み出したコンテンツデータをバス202を介してハードディスクドライブ211に送出することにより、当該ハードディスクドライブ211にそのコンテンツデータをコンテンツファイルとして記憶し得るようになされている。

#### 【0326】

因みにCPU203は、ハードディスクドライブ211に対して記憶したコンテンツデータを、図3について上述したディレクトリ構成で管理している。

#### 【0327】

そしてCPU203は、ハードディスクドライブ211に記憶したコンテンツファイルを当該ハードディスクドライブ211からコンテンツデータとして読み出すこともできる。

#### 【0328】

なおCPU203は、ハードディスクドライブ211からコンテンツデータとして映像データを読み出したときには、当該読み出した映像データをバス202を介して表示処理部207に供給する。

#### 【0329】

またCPU203は、ハードディスクドライブ211からコンテンツデータとして音声データを読み出したときには、当該読み出した音声データを音声処理部209に供給する。

#### 【0330】

アンテナ212は、各ラジオ局から送信されてくるラジオ放送波を受信し、これをAM/FMチューナでなるチューナ213に送出する。

#### 【0331】

チューナ213は、CPU203の制御のもと、アンテナ212を介して受信されたラジオ放送波の中から例えば操作入力部200を介して指定されたラジオ局に対応する放送周波数のラジオ放送信号を抽出して所定の受信処理を施し、この結果得られる音声データをバス202を介して音声処理部209に供給する。

#### 【0332】

音声処理部209は、チューナ213から与えられた音声データをアナログ音声信号に変換してスピーカ210に送出することにより、当該スピーカ210からラジオ局で放送されているラジオ番組の番組音声出力させ、かくしてユーザに対しラジオ番組の番組音声を聴取させることができる。

#### 【0333】

またCPU203は、チューナ213で得られた音声データをハードディスクドライブ211に送出して記録することにより、ラジオ番組の番組音声を録音することもできる。

#### 【0334】

さらにCPU203は、通信処理部214、ネットワークインタフェース215を順次介してネットワークNTに接続し、当該ネットワークNT上のポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4にアクセスすることができ、これによりポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4との間で各種データを送受信することができる。

#### 【0335】

(1-8-2) プログラムモジュール構成

図15に示すように、上述の図14に示したハードウェア回路ブロックによるハードウェア構成のクライアント端末2に実装されるプログラムモジュールとしては、OS上で動作するようになされており、ポータルサーバ3やその他サーバSV1乃至SV4との間で

やりとりを行う。

【0336】

HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) メッセージプログラム 240 は、ポータルサーバ 3 やその他サーバ S V 1 乃至 S V 4 との間のやりとりを HTTP 通信で行うものであり、コミュニケータプログラム 241 は、HTTP メッセージプログラム 240 とデータのやりとりを行うプログラムモジュールである。

【0337】

コミュニケータプログラム 241 の上位には、コンテンツのコーデックを解釈して再生するコンテンツ再生モジュール 242、著作権保護に関する情報を取り扱う著作権保護管理モジュール 243 が位置し、そのコンテンツ再生モジュール 242、著作権保護管理モジュール 243 の上位に対して、インターネットラジオの選局及び再生を行うインターネットラジオ選局再生モジュール 244、楽曲購入及び試聴曲の再生を司る楽曲購入再生モジュール 245 がそれぞれ位置している。

【0338】

インターネットラジオ選局再生モジュール 244 と、楽曲購入再生モジュール 245 とにより再生された音声データは、音声処理部 209 に転送されることにより、最終的にスピーカ 210 から音声として出力される。

【0339】

インターネットラジオ選局再生モジュール 244、楽曲購入再生モジュール 245 の上位には XML ブラウザ 246 が位置し、各種サーバからの XML ファイルを解釈し、ディスプレイ 206 に対して映像表示を行う。

【0340】

例えば、XML ブラウザ 246 を介してユーザに選択された楽曲は楽曲購入再生モジュール 245 で購入処理され、ハードディスクコンテンツコントローラ 247 を介してハードディスクドライブ 211 に書き込まれる。

【0341】

なおコミュニケータプログラム 241 には、ライブラリ 248 の認証ライブラリ 248 A が接続されており、当該認証ライブラリ 248 A はポータルサーバ 3 等と連携して各種認証処理を行うようになされている。

【0342】

さらにコミュニケータプログラム 241 の上位には、データベースアクセスモジュール 249、コンテンツデータアクセスモジュール 250 及びハードディスクコンテンツコントローラ 247 が位置する。

【0343】

このデータベースアクセスモジュール 249 は、ハードディスクドライブ 211 に構築された各種データベースにアクセスし、コンテンツデータアクセスモジュール 250 はハードディスクドライブ 211 に格納されたコンテンツデータにアクセスし、ハードディスクコンテンツコントローラ 247 はハードディスクドライブ 211 に格納されたコンテンツデータを管理するようになされている。

【0344】

ハードディスクコンテンツコントローラ 247 の上位には、ラジオ局が放送した楽曲のタイトルやアーティスト名等を表示するためのラジオ放送情報表示モジュール 251、及びラジオ局を選局したり、当該ラジオ局から受信した楽曲としてのコンテンツデータをハードディスクドライブ 211 に記憶（録音）するチューナ選局再生／録音モジュール 252 が位置している。

【0345】

例えば、オーディオユーザインタフェース 253 を介して選局されたラジオ局から受信した楽曲は、コンテンツデータアクセスモジュール 250 を介してハードディスクドライブ 211 へ書き込まれるようになされている。

【0346】

またチューナ選局再生／録音モジュール252により再生されたコンテンツデータとしての音声データは、音声処理部209に転送されることにより、最終的にスピーカ210から音声として出力される。

【0347】

ラジオ放送情報表示モジュール251は、チューナ選局再生／録音モジュール252によって現在ラジオ局が放送している楽曲のタイトルやアーティスト名等のナウオンエア情報のようなラジオ放送情報をラジオ放送情報配信サーバSV3からHTTPメッセージプログラム240経由で受信し、これをオーディオユーザインタフェース(UI)253を介してディスプレイ206に表示する。

【0348】

なおオーディオユーザインタフェース253を介してディスプレイ206に表示したラジオ放送情報は、ライブラリ248のクリップライブラリ248Bに一時的に記憶することもでき、ユーザからの指示に従って最終的にはデータベースアクセスモジュール249を介してハードディスクドライブ211へ記憶される。

【0349】

CD再生モジュール254は、メディアドライブ208に対してCDを再生するように制御する。

【0350】

そしてCD再生モジュール254によりCDから再生された音声データは、音声処理部209に転送されることにより、最終的にスピーカ210から音声として出力される。

【0351】

HDD再生モジュール255は、図示はしていないが、ハードディスクコンテンツコントローラ247及び著作権保護管理モジュール243と接続されている。

【0352】

これによりHDD再生モジュール255は、ハードディスクコンテンツコントローラ247の制御のもとにハードディスクドライブ211から読み出されたコンテンツデータとしての音声データを、著作権保護管理モジュール243から供給される著作権管理情報に従って再生する。

【0353】

そしてHDD再生モジュール255により著作権管理情報に従って再生された音声データは、音声処理部209に転送されることにより、最終的にスピーカ210から音声として出力される。

【0354】

リッピングモジュール256は、図示はしていないが、ハードディスクコンテンツコントローラ247及び著作権保護管理モジュール243と接続されている。

【0355】

これによりリッピングモジュール256は、CD再生モジュール254によりCDから再生された音声データを、著作権保護管理モジュール243から供給される、その音声データを管理するための著作権管理情報と共に、ハードディスクコンテンツコントローラ247の制御のもとハードディスクドライブ211のハードディスクに記憶される（すなわち、リッピングされる）ように、CD再生モジュール254、著作権保護管理モジュール243及びハードディスクコンテンツコントローラ247を制御する。

【0356】

ところで以上説明したプログラムモジュールにおいてHTTPメッセージプログラム240及びコミュニケーションプログラム241は、図2について上述したクライアント端末2の通信制御部32と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0357】

またコンテンツ再生モジュール242は、図2について上述したクライアント端末2のエンコーダ／デコーダ部34と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0358】

さらに著作権保護管理モジュール243は、図2について上述したクライアント端末2の著作権管理部35と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0359】

さらにインターネットラジオ選局再生モジュール244は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23及び音声制御部26と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0360】

さらに楽曲購入再生モジュール245は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23及び音声制御部26と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0361】

さらにXMLブラウザ246は、図2について上述したクライアント端末2の入力処理部21及びページ情報生成部36と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0362】

さらにハードディスクコンテンツコントローラ247及びデータベースアクセスモジュール249並びにコンテンツデータアクセスモジュール250は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0363】

さらにライブラリ248の認証ライブラリ248Aは、図2について上述したクライアント端末2の認証処理部37及び認証情報記憶部38と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0364】

さらにライブラリ248のクリップライブラリ248Bは、図2について上述したクライアント端末2の制御部23と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0365】

さらにラジオ放送情報表示モジュール251は、図2について上述したクライアント端末2のラジオ放送表示制御部39と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0366】

さらにチューナ選局再生／録音モジュール252は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23及び音声制御部26並びにチューナ部31と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0367】

さらにオーディオユーザインタフェース253は、図2について上述したクライアント端末2の入力処理部21及び制御部23並びに表示制御部24と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0368】

さらにCD再生モジュール254は、図2について上述したクライアント端末2の音声制御部26及び外部記録媒体記録再生部28と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0369】

さらにHDD再生モジュール255は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23及び音声制御部26と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0370】

さらにリッピングモジュール256は、図2について上述したクライアント端末2の制御部23及び外部記録媒体記録再生部28並びにエンコーダ／デコーダ部34と同様の機能を実現可能なプログラムモジュールである。

【0371】

従って図14について上述したハードウェア回路ブロックによるハードウェア構成のク

クライアント端末2では、CPU203が上述の各種プログラムモジュールに従って、図2について上述した機能回路ブロックによるハードウェア構成のクライアント端末2と同様の処理を実行することができる。

#### 【0372】

##### (1-9) ポータルサーバの構成

図16に示すポータルサーバ3は、全体を統括的に制御するCPU260が、ROM261又はハードディスクドライブ262に記憶されている基本プログラムや各種プログラムを、バス263を介してRAM264に適宜展開しこれを実行することにより、ユーザ認証処理等の各種処理を行う。

#### 【0373】

例えばポータルサーバ3のCPU260は、クライアント端末2からネットワークNT及びネットワークインタフェース265を順次介してユーザID情報及びパスワード等を受信すると、ユーザ認証処理を開始するようになされている。

#### 【0374】

すなわちかかるハードウェア回路ブロック構成のポータルサーバ3でも、図4について上述した機能回路ブロック構成のポータルサーバ3の機能に応じて、ROM261又はハードディスクドライブ262に記憶させる各種プログラムを適宜選定することにより、CPU260を当該ポータルサーバ3の制御部50、通信制御部52及び認証処理部56と同様に機能させることができると共に、ハードディスクドライブ262をそのポータルサーバ3の顧客データベース部54、ページ情報記憶部55、認証情報記憶部57、周波数情報記憶部58及びURL記憶部59と同様に用いることができる。

#### 【0375】

##### (1-10) 音楽データ配信サーバの構成

図17に示す音楽データ配信サーバSV1は、全体を統括的に制御するCPU270が、ROM271又はハードディスクドライブ272に記憶されている基本プログラムや各種プログラムを、バス273を介してRAM274に適宜展開しこれを実行することにより、クライアント端末2に対して音楽データを配信するための処理を行う。

#### 【0376】

例えば音楽データ配信サーバSV1のCPU270は、クライアント端末2からネットワークNT及びネットワークインタフェース275を順次介して音楽データが要求されると、ハードディスクドライブ272に記憶されている当該音楽データを読み出して、これをクライアント端末2に対して送信するようになされている。

#### 【0377】

すなわちかかるハードウェア回路ブロック構成の音楽データ配信サーバSV1でも、図5について上述した機能回路ブロック構成の音楽データ配信サーバSV1の機能に応じて、ROM271又はハードディスクドライブ272に記憶させる各種プログラムを適宜選定することにより、CPU270を当該音楽データ配信サーバSV1の制御部70、通信制御部72、認証処理部75及び検索部79と同様に機能させることができると共に、ハードディスクドライブ272をその音楽データ配信サーバSV1の顧客データベース部74、ページ情報記憶部76、認証情報記憶部77及び音楽データ記憶部78と同様に用いることができる。

#### 【0378】

##### (1-11) 物販サーバの構成

図18に示す物販サーバSV2は、全体を統括的に制御するCPU280が、ROM281又はハードディスクドライブ282に記憶されている基本プログラムや各種プログラムを、バス283を介してRAM284に適宜展開しこれを実行することにより、物販サービスを提供するための処理を行う。

#### 【0379】

例えば物販サーバSV2のCPU280は、クライアント端末2からネットワークNT及びネットワークインタフェース285を順次介して例えば音楽CDを販売するように要

求されると、クライアント端末2のユーザに対して当該音楽CDを販売するための処理を実行するようになされている。

#### 【0380】

すなわちかかるハードウェア回路ブロック構成の物販サーバSV2でも、図6について上述した機能回路ブロック構成の物販サーバSV2の機能に応じて、ROM281又はハードディスクドライブ282に記憶させる各種プログラムを適宜選定することにより、CPU280を当該物販サーバSV2の制御部90、通信制御部92、認証処理部95及び検索部99と同様に機能させることができると共に、ハードディスクドライブ282をその物販サーバSV2の顧客データベース部94、ページ情報記憶部96、認証情報記憶部97及びパッケージメディア情報記憶部98と同様に用いることができる。

#### 【0381】

##### (1-12) ラジオ放送情報配信サーバの構成

図19に示すラジオ放送情報配信サーバSV3は、全体を統括的に制御するCPU290が、ROM291又はハードディスクドライブ292に記憶されている基本プログラムや各種プログラムを、バス293を介してRAM294に適宜展開しこれを実行することにより、ラジオ放送情報としてのナウオンエア情報やオンエアリスト情報を配信する処理を行う。

#### 【0382】

このラジオ放送情報配信サーバSV3は、それぞれ対応するラジオ局で管理され、そのラジオ局で放送されるラジオ番組についてのナウオンエア情報及びオンエアリスト情報を、ハードディスクドライブ292に構築してあるラジオ放送情報データベースで管理するようになされている。

#### 【0383】

ここでこのラジオ放送情報データベースの構成を図20に示す。このラジオ放送情報データベースは、ナウオンエア情報を管理するための放送中番組テーブルTB1、オンエアリスト情報を管理するための放送済楽曲テーブルTB2及び放送済番組テーブルTB3で構成されている。

#### 【0384】

放送中番組テーブルTB1には、ラジオ放送情報配信サーバSV3に対応するラジオ局の局名、当該ラジオ局で今現在放送中のラジオ番組の番組タイトル、出演者(DJ(Disk Jockey))名、当該ラジオ番組内で今現在放送中の楽曲の放送開始時刻(日付を含む)、楽曲タイトル、この楽曲のアーティスト名及びジャンルからなるナウオンエア情報が格納されている。

#### 【0385】

すなわち放送中番組テーブルTB1には、今現在放送中のラジオ番組及び楽曲に関するナウオンエア情報が格納されるようになされている。

#### 【0386】

また放送済楽曲テーブルTB2には、対応するラジオ局の局名、当該ラジオ局のラジオ番組内で楽曲が放送された時刻(日付及び開始時刻)、楽曲タイトル、この楽曲のアーティスト名及びジャンルからなるオンエアリスト情報が蓄積されている。

#### 【0387】

すなわち放送済楽曲テーブルTB2には、ラジオ番組内で放送された楽曲に関するオンエアリスト情報が蓄積されるようになされている。

#### 【0388】

また放送済番組テーブルTB3には、対応するラジオ局の局名、当該ラジオ局で放送されたラジオ番組の放送時間(日付、開始時刻及び終了時刻)、番組タイトル、出演者(DJ)名からなるオンエアリスト情報が蓄積されている。

#### 【0389】

すなわち放送済番組テーブルTB3には、放送されたラジオ番組に関するオンエアリスト情報が蓄積されるようになされている。



## 【0390】

實際上、ラジオ放送情報配信サーバSV3のCPU290(図19)は、対応するラジオ局から現在の放送状況(ラジオ番組の開始や終了、ラジオ番組内で流される楽曲の開始や終了等)が通知されると、図21に示すように、その放送状況をもとに放送中番組テーブルTB1の内容を更新する。

## 【0391】

すなわち、ラジオ番組が終了して次のラジオ番組に切り替わったときや、ラジオ番組内で放送されている楽曲が次の楽曲に切り替わったとき等のタイミングで、放送中番組テーブルTB1に格納されているナウオンエア情報を更新する。

## 【0392】

従って放送中番組テーブルTB1には、今現在の放送状況に合わせたほぼリアルタイムなナウオンエア情報が格納される。なお、ラジオ番組内で楽曲が流れていないとき等には、この放送中番組テーブルTB1に、例えば現在楽曲が放送されていないことを示すヌルデータを格納しておくようにしてもよいし、直前に放送されていた楽曲のナウオンエア情報を次に楽曲が放送されるまでそのまま格納しておくようにしてもよい。

## 【0393】

そしてCPU290は、クライアント端末2からナウオンエア情報の取得要求を受け付けると、この放送中番組テーブルTB1に格納されているナウオンエア情報をネットワークインタフェース295を介してクライアント端末2に送信するようになされている。

## 【0394】

またCPU290は、ラジオ番組内で流される楽曲の放送終了後、所定時間(例えば数分)経過後、図22に示すように放送済楽曲テーブルTB2に当該楽曲に関するオンエアリスト情報を追加する。

## 【0395】

さらにCPU290は、ラジオ番組の放送終了後、所定時間(例えば数分)経過後、図23に示すように放送済番組テーブルTB3に当該ラジオ番組に関するオンエアリスト情報を追加する。

## 【0396】

そしてCPU290は、クライアント端末2から所定期間分(例えば過去1週間分)のオンエアリスト情報の取得要求を受け付けると、図24に示すように、放送済楽曲テーブルTB2における放送時刻と、放送済番組テーブルTB3の放送時間とを関連付けることにより、これら2つのテーブルに格納されたオンエアリスト情報を関連付けし、この中から過去1週間分のオンエアリスト情報を抽出してこれをネットワークインタフェース295を介してクライアント端末2に送信する。

## 【0397】

従ってこの場合、クライアント端末2に送信されるオンエアリスト情報は、過去1週間に各ラジオ番組及び各ラジオ番組内で放送された各楽曲に関するリストとなり、クライアント端末2がこのオンエアリスト情報をディスプレイ26に表示することにより、過去1週間に放送されたラジオ番組でどの楽曲が流されたのかをユーザに呈示することもできる。

## 【0398】

このようにラジオ放送情報配信サーバSV3は、対応するラジオ局で放送されるラジオ番組についてのナウオンエア情報及びオンエアリスト情報を記憶管理しており、クライアント端末2からの要求に応じてこれらを配信するようになされている。

## 【0399】

このように、かかるハードウェア回路ブロック構成のラジオ放送情報配信サーバSV3でも、図7について上述した機能回路ブロック構成のラジオ放送情報配信サーバSV3の機能に応じて、ROM291又はハードディスクドライブ292に記憶させる各種プログラムを適宜選定することにより、CPU290を当該ラジオ放送情報配信サーバSV3の制御部110、通信制御部112、認証処理部115及び検索部118と同様に機能させ

ることができると共に、ハードディスクドライブ292をそのラジオ放送情報配信サーバSV3の顧客データベース部114、ページ情報記憶部116、オンエアリスト情報記憶部117、ナウオンエア情報記憶部119及び認証情報記憶部120と同様に用いることができる。

#### 【0400】

##### (1-13) キーワード録音機能

本実施の形態におけるクライアント端末2においては、ラジオ番組内で流される楽曲を、ユーザが入力したキーワードに基づいて録音するキーワード録音機能を有しており、以下、このキーワード録音機能におけるキーワード録音処理について説明する。

#### 【0401】

図25に示すように、このキーワード録音処理は、クライアント端末2とラジオ放送情報配信サーバSV3との処理シーケンスであり、クライアント端末2のCPU203及びラジオ放送情報配信サーバSV3のCPU290によって実行されるものである。

#### 【0402】

なお、このキーワード録音処理においては、クライアント端末2がラジオ放送情報配信サーバSV3からナウオンエア情報を取得するようになされているが、この場合の取得方法及び認証方法の詳細については上述したので、その説明を省略する。

#### 【0403】

クライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の開始命令がなされたことを認識すると、ステップSP100において、ユーザに対して所望の楽曲を示すキーワードを入力するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示し、これに応じてキーワード（例えば楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）が入力されたことを認識すると、このキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）をハードディスクドライブ211に記録すると共に、当該キーワードに対応するフォルダ「世界中にたくさんある花」をハードディスクドライブ211上に生成して、次のステップSP101に移る。

#### 【0404】

ステップSP101においてクライアント端末2は、ユーザに対して所望のラジオ局を指定するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示して、ラジオ局を指定させ、この指定されたラジオ局の周波数にチューナ213を合わせて当該ラジオ局で放送中の番組音声の仮録音を開始する。

#### 【0405】

因みに、この場合の仮録音とは、番組音声を一時的にハードディスクドライブ211に記録することを意味し、この仮録音に対して後述する本録音が番組音声をハードディスクドライブ211に記録保持することを意味する。

#### 【0406】

實際上この仮録音では、チューナ213で受信処理した音声データ（以下、これを番組音声データとも呼ぶ）を所定時間（例えば3分）記録し得る容量のバッファをハードディスクドライブ211上に確保し、現在から例えば3分前までの番組音声データが常にこのバッファに保持されるように、当該バッファに対して番組音声データの書込及び消去を繰り返すようになされている。

#### 【0407】

このようにして仮録音を開始した後、クライアント端末2は、次のステップSP102に移り、このステップSP102において、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3に対してナウオンエア情報を要求するための要求情報を送信する。

#### 【0408】

クライアント端末2から要求情報を受信したラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP103において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

#### 【0409】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP104において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0410】

ここで否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流されていないことを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP102に戻り、ポーリング間隔（例えば30秒）経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0411】

これに対してこのステップSP104で肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され始めたことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP105に移る。

【0412】

ステップSP105においてクライアント端末2は、番組音声の本録音を開始する。

【0413】

ところで、クライアント端末2においては、ポーリング間隔である30秒毎にナウオンエア情報を受信するようになされているため、実際にラジオ番組内で所望の楽曲が流され始めた時刻に対して、この楽曲が流され始めたことを示すナウオンエア情報を受信するタイミングが最大30秒遅れることになる。

【0414】

そこでクライアント端末2は、キーワードを含むナウオンエア情報を受信したタイミング（すなわち現在時刻）から30秒前までの番組音声データをバッファから取り出してこの番組音声データを先頭データとし、当該先頭データに続けてこのナウオンエア情報を受信したタイミング以降の番組音声データをハードディスクドライブ211に記録していくようになされている。

【0415】

このようにバッファに保持されている番組音声データを利用して、ナウオンエア情報を受信したタイミングよりも30秒前の時点からの番組音声を本録音することを、ここではタイムマシン録音と呼び、これにより楽曲が流され始めた時点からの番組音声を録音することができ、録音時における楽曲の頭切れを防止することができる。

【0416】

このようにしてタイムマシン録音を開始した後、クライアント端末2は、次のステップSP106に移り、ポーリング間隔経過後、再びナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0417】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP107において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を抽出し、これをクライアント端末2に送信する。

【0418】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP108において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0419】

ここで肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流され続けていることを表しており、このときクライ

ント端末2は、ステップSP106に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0420】

これに対してこのステップSP108で否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことによりラジオ番組で流されていた所望の楽曲が終了したことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP109に移る。

【0421】

ステップSP109においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を停止し、タイムマシン録音した番組音声の番組音声データをユーザが所望する楽曲のコンテンツデータとして、フォルダ「世界中にたくさんある花」に登録し、次のステップSP110に移る。

【0422】

このようにナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれなくなったときに、タイムマシン録音を停止するようにしたことにより、楽曲の終了時点までの番組音声を録音することができ、録音時における楽曲の尻切れを防止することができる。

【0423】

ステップSP110においてクライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の停止命令がなされたか否かを判断する。ここで否定結果を得ると、クライアント端末2は、再びステップSP102に戻ってキーワード録音処理を継続し、肯定結果を得ると、ステップSP111に移って仮録音を停止してキーワード録音処理を終了する。

【0424】

(1-14) 第1の実施の形態における動作及び効果

以上の構成においてクライアント端末2は、所望の楽曲を示すキーワード及びラジオ局をユーザに指定させ、この指定されたラジオ局で放送中の番組音声を仮録音する。

【0425】

さらにクライアント端末2は、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3からナウオンエア情報を受信し、このナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0426】

ここでこのナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれている場合、クライアント端末2は、受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流され始めたことと認識し、仮録音した番組音声を利用して当該ナウオンエア情報を受信したタイミング（現在時刻）よりも30秒前の時点からの番組音声をタイムマシン録音する。

【0427】

さらにクライアント端末2は、ポーリング間隔毎にナウオンエア情報を受信し続け、当該ナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれなくなったとき（すなわち所望の楽曲が終了したとき）にタイムマシン録音を停止する。

【0428】

これによりクライアント端末2は、放送される番組音声のうちユーザが所望するキーワードに該当する楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができる。

【0429】

以上の構成によれば、ナウオンエア情報を定期的を取得し、このナウオンエア情報からキーワードが検出されているときに、受信している放送信号を記録するようにしたことにより、ユーザの所望する楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができ、かくしてラジオ番組単位で録音するばかりでなく、ラジオ番組の番組音声のうちユーザが所望する部分の番組音声を容易に録音することができる。

【0430】

(2) 第2の実施の形態

第2の実施の形態においては、第1の実施の形態と、システム、クライアント端末及び各種サーバの構成が同じであるため、これらについては説明を省略する。

#### 【0431】

ただし、この第2の実施の形態においては、対応するラジオ局における現在から数週間先までのラジオ番組表となる番組表データをラジオ放送情報配信サーバSV3がハードディスクドライブ292に保持しており、これをクライアント端末2からの要求に応じて配信し得るようになされている。

#### 【0432】

そしてクライアント端末2は、この番組表データを、受信可能なラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3から定期的に受信してハードディスクドライブ211に記録し得るようになされており、この番組表データを利用したキーワード録音機能を有している。以下、このキーワード録音機能におけるキーワード録音処理について説明する。

#### 【0433】

図26に示すように、このキーワード録音処理は、クライアント端末2とラジオ放送情報配信サーバSV3との処理シーケンスであり、クライアント端末2のCPU203及びラジオ放送情報配信サーバSV3のCPU290によって実行されるものである。

#### 【0434】

クライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の開始命令がなされたことを認識すると、ステップSP120において、ユーザに対して所望の楽曲を示すキーワードを入力するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示し、これに応じてキーワード（例えば楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）が入力されたことを認識すると、このキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）をハードディスクドライブ211に記録すると共に、当該キーワードに対応するフォルダ「世界中にたくさんある花」をハードディスクドライブ211上に生成して、次のステップSP121に移る。

#### 【0435】

ステップSP121においてクライアント端末2は、ハードディスクドライブ211に記録してある番組表データをもとに受信可能なラジオ局（例えばプリセットされたラジオ局）のラジオ番組表を生成し、これを図27に示すように番組表画面300としてディスプレイ206に表示する。

#### 【0436】

この番組表画面300は、キーワード録音の対象となるラジオ番組を指定するためのものであり、受信可能なラジオ局において現在から数週間先までに放送予定のラジオ番組の番組タイトルが、その放送日、放送開始時刻及び終了時刻と対応付けて表示されるようになされている。

#### 【0437】

さらにこの番組表画面300上における各番組タイトルの表示位置の横には、それぞれそのラジオ番組を指定するためのチェックボックスCBが設けられている。

#### 【0438】

これによりユーザは、操作入力部200で操作可能な図示しないカーソルで所望の番組タイトルのチェックボックスCBを選択して、キーワード録音の対象となるラジオ番組を指定することができる。

#### 【0439】

このようにクライアント端末2においては、この番組表画面300上でキーワード録音を行うラジオ番組を指定し得、これにより例えばユーザの好みに全く合わないようなラジオ番組についてはキーワード録音処理の対象から外すことができるようになされている。

#### 【0440】

そしてクライアント端末2は、所望のラジオ番組が指定された状態で、番組表画面300上の設定ボタンPBが押下されたことを認識すると、指定されたラジオ番組の番組タイトル、ラジオ局名、放送開始時刻及び終了時刻を対応付けた情報（以下、これを録音条件

情報と呼ぶ)をハードディスクドライブ211に記録し、次のステップSP122に移る。

【0441】

ステップSP122においてクライアント端末2は、自身に内蔵されたタイマー回路(図示せず)で得られる現在時刻をもとに、録音条件情報として指定されたラジオ番組の放送開始時刻になるまで待ち受け、そのラジオ番組の放送開始時刻になったことを認識すると、次のステップSP123に移る。

【0442】

ステップSP123においてクライアント端末2は、録音条件情報として指定されたラジオ番組を放送するラジオ局の周波数にチューナ213を合わせて当該ラジオ局で放送中の番組音声の仮録音を開始し、次のステップSP124に移る。因みに、この仮録音は、上述の第1の実施の形態と同様の方法で行う。

【0443】

ステップSP124においてクライアント端末2は、選局しているラジオ局に対応したラジオ放送情報配信サーバSV3に対してナウオンエア情報を要求する。

【0444】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP125において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

【0445】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP126において、この受信したナウオンエア情報にキーワード(楽曲タイトル:「世界中にたくさんある花」)に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0446】

ここで否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード(楽曲タイトル:「世界中にたくさんある花」)に一致する情報が含まれていないことにより現在受信中のラジオ番組でユーザの所望する楽曲が流されていないことを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP124に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0447】

これに対してこのステップSP126で肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード(楽曲タイトル:「世界中にたくさんある花」)に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され始めたことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP127に移る。

【0448】

ステップSP127においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を開始し、次のステップSP128に移る。因みに、このタイムマシン録音は、上述の第1の実施の形態と同様の方法で行う。

【0449】

ステップSP128においてクライアント端末2は、ポーリング間隔経過後、再びナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0450】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP129において、放送内容情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

【0451】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP130において、この受信したナウオンエア情報にキーワード(楽曲タイトル:「世界中にたくさんある花」)に一致する情報が含まれているか

否かを判断する。

【0452】

ここで肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流され続けていることを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP128に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0453】

これに対してこのステップSP130で否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことによりラジオ番組で流されていた所望の楽曲が終了したことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP131に移る。

【0454】

ステップSP131においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を停止し、タイムマシン録音した番組音声の番組音声データをユーザが所望する楽曲のコンテンツデータとして、フォルダ「世界中にたくさんある花」に登録し、次のステップSP132に移る。

【0455】

ステップSP132においてクライアント端末2は、仮録音しているラジオ番組の放送終了時刻になったか否かを判断する。ここで否定結果を得ると、クライアント端末2は、再びステップSP124に戻って、このラジオ番組の放送終了時刻になるまでステップSP124～ステップSP132までの処理を繰り返し、肯定結果を得ると、ステップSP133に移って仮録音を停止し、次のステップSP134に移る。

【0456】

ステップSP134においてクライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の停止命令がなされたか否かを判断する。ここで否定結果を得ると、クライアント端末2は、再びステップSP122に戻ってキーワード録音処理を継続し、肯定結果を得るとキーワード録音処理を終了する。

【0457】

以上の構成において、この第2の実施の形態におけるクライアント端末2は、所望の楽曲を示すキーワード及び所望のラジオ番組をユーザに指定させ、この指定されたラジオ番組の番組音声を仮録音する。

【0458】

さらにクライアント端末2は、指定されたラジオ番組を放送するラジオ局に対応したラジオ放送情報配信サーバSV3からナウオンエア情報を受信し、このナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0459】

ここでこのナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれている場合、クライアント端末2は、受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流され始めたと認識し、仮録音した番組音声を利用して当該ナウオンエア情報を受信したタイミング（現在時刻）よりも30秒前の時点からの番組音声をタイムマシン録音する。

【0460】

さらにクライアント端末2は、ポーリング間隔毎にナウオンエア情報を受信し続け、当該ナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれなくなったとき（すなわち所望の楽曲が終了したとき）にタイムマシン録音を停止する。

【0461】

これによりクライアント端末2は、指定されたラジオ番組の番組音声のうち、ユーザが所望するキーワードに該当する楽曲が放送されているときのみの番組音声を録音することができる。

【0462】



以上の構成によれば、ナウオンエア情報を定期的に取り得し、このナウオンエア情報からキーワードが検出されているときに、受信している放送信号を記録するようにしたことにより、ユーザの所望する楽曲が放送されているときのみの番組音声を録音することができ、かくしてラジオ番組単位で録音するばかりでなく、ラジオ番組の番組音声のうちユーザが所望する部分の番組音声を容易に録音することができる。

#### 【0463】

またこの第2の実施の形態におけるクライアント端末2によれば、所望のラジオ番組を予め指定させるようにしたことにより、例えばユーザの好みに全く合わないようなラジオ番組については、そのキーワード録音処理を省略して処理負荷を軽減することもできる。

#### 【0464】

### (3) 第3の実施の形態

第3の実施の形態においては、第1及び第2の実施の形態と、システム、クライアント端末及び各種サーバの構成が同じであるため、これらについては説明を省略する。

#### 【0465】

この第3の実施の形態によるクライアント端末2においては、ナウオンエア情報に含まれる楽曲の開始時刻に基づいて、タイムマシン録音の開始時刻を設定するキーワード録音機能を有しており、以下、このキーワード録音機能におけるキーワード録音処理について説明する。

#### 【0466】

図28に示すように、このキーワード録音処理は、クライアント端末2とラジオ放送情報配信サーバSV3との処理シーケンスでなり、クライアント端末2のCPU203及びラジオ放送情報配信サーバSV3のCPU290によって実行されるものである。

#### 【0467】

クライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の開始命令がなされたことを認識すると、ステップSP140において、ユーザに対して所望の楽曲を示すキーワードを入力するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示し、これに応じてキーワード（例えば楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）が入力されたことを認識すると、このキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）をハードディスクドライブ211に記録すると共に、当該キーワードに対応するフォルダ「世界中にたくさんある花」をハードディスクドライブ211上に生成して、次のステップSP141に移る。

#### 【0468】

ステップSP141においてクライアント端末2は、ユーザに対して所望のラジオ局を指定するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示して、ラジオ局を指定させ、この指定されたラジオ局の周波数にチューナ213を合わせて当該ラジオ局で放送中の番組音声の仮録音を開始し、次のステップSP142に移る。因みに、この仮録音は、上述の第1及び第2の実施の形態と同様の方法で行う。

#### 【0469】

ステップSP142においてクライアント端末2は、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3に対してナウオンエア情報を要求する。

#### 【0470】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP143において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

#### 【0471】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP144において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

#### 【0472】

ここで否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流されていないことを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP142に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

**【0473】**

これに対してこのステップSP144で肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され始めたことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP145に移る。

**【0474】**

ステップSP145においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を開始する。

**【0475】**

實際上、このタイムマシン録音の開始時においてクライアント端末2は、キーワードを含むナウオンエア情報の楽曲開始時刻とこのナウオンエア情報を受信したタイミング（すなわち現在時刻）との時間差を算出する。このとき例えば時間差が5秒であるとすれば、現在時刻の5秒前の時点からラジオ番組で楽曲が流され始めたことになる。

**【0476】**

そしてクライアント端末2は、現在時刻から30秒前までの番組音声データをバッファから取り出し、算出した時間差に基づいてこの番組音声データの所定位置を楽曲の開始位置としてマークし、この番組音声データを先頭データとして、当該先頭データに続けて現在時刻以降の番組音声データをハードディスクドライブ211に記録していくようになされている。

**【0477】**

すなわちクライアント端末2は、ナウオンエア情報の楽曲開始時刻と現在時刻との時間差を算出し、現在時刻よりも当該時間差の分だけ前の時点を番組音声データにおける楽曲の開始位置としてマークして、番組音声をタイムマシン録音するようになされており、これにより楽曲が流され始めた時点を正確に認識して番組音声を録音することができる。

**【0478】**

このようにしてタイムマシン録音を開始した後、クライアント端末2は、次のステップSP146に移り、ポーリング間隔経過後、再びナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

**【0479】**

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP147において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

**【0480】**

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP148において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

**【0481】**

ここで肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され続けていることを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP146に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

**【0482】**

これに対してこのステップSP148で否定結果を得ると、このことは受信したナウオ

ンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことによりラジオ番組で流されていた所望の楽曲が終了したことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP149に移る。

【0483】

ステップSP149においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を停止し、タイムマシン録音した番組音声の番組音声データをユーザが所望する楽曲のコンテンツデータとして、フォルダ「世界中にたくさんある花」に登録し、次のステップSP150に移る。

【0484】

ステップSP150においてクライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の停止命令がなされたか否かを判断する。ここで否定結果を得ると、クライアント端末2は、再びステップSP142に戻ってキーワード録音処理を継続し、肯定結果を得ると、ステップSP151に移って仮録音を停止してキーワード録音処理を終了する。

【0485】

以上の構成において、この第3の実施の形態におけるクライアント端末2は、所望の楽曲を示すキーワード及びラジオ局をユーザに指定させ、この指定されたラジオ局で放送中の番組音声を仮録音する。

【0486】

さらにクライアント端末2は、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3からナウオンエア情報を受信し、このナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0487】

ここでこのナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれている場合、クライアント端末2は、受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流れ始めたと認識し、このナウオンエア情報の楽曲開始時刻に基づいて、仮録音した番組音声の番組音声データにおける楽曲の開始位置を特定してタイムマシン録音を開始する。

【0488】

さらにクライアント端末2は、ポーリング間隔毎にナウオンエア情報を受信し続け、当該ナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれなくなったとき（すなわち所望の楽曲が終了したとき）にタイムマシン録音を停止する。

【0489】

これによりクライアント端末2は、放送される番組音声のうちユーザが所望するキーワードに該当する楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができる。

【0490】

以上の構成によれば、ナウオンエア情報を定期的に取得し、このナウオンエア情報からキーワードが検出されているときに、受信している放送信号を記録するようにしたことにより、ユーザの所望する楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができ、かくしてラジオ番組単位で録音するばかりでなく、ラジオ番組の番組音声のうちユーザが所望する部分の番組音声を容易に録音することができる。

【0491】

またこの第3の実施の形態におけるクライアント端末2によれば、ナウオンエア情報の楽曲開始時刻に基づいて、番組音声データにおける楽曲の開始位置を特定してマークすることにより、楽曲が流れ始めた時点を正確に認識して、当該楽曲が流されているときの番組音声を録音することができる。さらにこの場合、開始位置をマークしただけなので、その位置を後で調整することもできる。

【0492】

(4) 第4の実施の形態

第4の実施の形態においては、第1、第2及び第3の実施の形態と、システム、クライアント端末及び各種サーバの構成が同じであるため、これらについては説明を省略する。

【0493】

ただし、この第4の実施の形態においては、図29に示すように、ラジオ放送情報サーバSV3の放送中番組テーブルTB1に、楽曲の終了時刻が追加されており、この楽曲終了時刻を含んだナウオンエア情報がクライアント端末2に対して配信されるようになされている。

#### 【0494】

そしてクライアント端末2が、ナウオンエア情報に含まれる楽曲の開始時刻及び終了時刻に基づいて、タイムマシン録音の開始時刻及び終了時刻を設定するキーワード録音機能を有しており、以下、このキーワード録音機能におけるキーワード録音処理について説明する。

#### 【0495】

図30に示すように、このキーワード録音処理は、クライアント端末2とラジオ放送情報配信サーバSV3との処理シーケンスであり、クライアント端末2のCPU203及びラジオ放送情報配信サーバSV3のCPU290によって実行されるものである。

#### 【0496】

クライアント端末2は、操作入力部200を介してキーワード録音の開始命令がなされたことを認識すると、ステップSP160において、ユーザに対して所望の楽曲を示すキーワードを入力するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示し、これに応じてキーワード（例えば楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）が入力されたことを認識すると、このキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）をハードディスクドライブ211に記録すると共に、当該キーワードに対応するフォルダ「世界中にたくさんある花」をハードディスクドライブ211上に生成して、次のステップSP161に移る。

#### 【0497】

ステップSP161においてクライアント端末2は、ユーザに対して所望のラジオ局を指定するよう指示するメッセージをディスプレイ206に表示して、ラジオ局を指定させ、この指定されたラジオ局の周波数にチューナ213を合わせて当該ラジオ局で放送中の番組音声の仮録音を開始し、次のステップSP162に移る。因みに、この仮録音は、上述の第1、第2及び第3の実施の形態と同様の方法で行う。

#### 【0498】

ステップSP162においてクライアント端末2は、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3に対してナウオンエア情報を要求する。

#### 【0499】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP163において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

#### 【0500】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP164において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているかを判断する。

#### 【0501】

ここで否定結果を得ると、このことはこのナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流されていないことを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP162に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

#### 【0502】

これに対してこのステップSP164で肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され始め

たことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP165に移る。

【0503】

ステップSP165においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を開始して次のステップSP166に移る。因みに、ここでのタイムマシン録音の開始は、上述の第3の実施の形態と同様の方法で行う。

【0504】

ステップSP166においてクライアント端末2は、ポーリング間隔経過後、再びナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0505】

クライアント端末2からナウオンエア情報を要求されたラジオ放送情報配信サーバSV3は、ステップSP167において、ラジオ放送情報データベースの放送中番組テーブルTB1からナウオンエア情報を取得し、これをクライアント端末2に送信する。

【0506】

クライアント端末2は、ラジオ放送情報配信サーバSV3から送信されたナウオンエア情報を受信すると、ステップSP168において、この受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれているか否かを判断する。

【0507】

ここで肯定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていることにより現在受信中のラジオ番組でユーザが所望する楽曲が流され続けていることを表しており、このときクライアント端末2は、ステップSP166に戻り、ポーリング間隔経過後、再度ナウオンエア情報をラジオ放送情報配信サーバSV3に要求する。

【0508】

これに対してこのステップSP168で否定結果を得ると、このことは受信したナウオンエア情報にキーワード（楽曲タイトル：「世界中にたくさんある花」）に一致する情報が含まれていないことによりラジオ番組で流されていた所望の楽曲が終了したことを表しており、このときクライアント端末2は、次のステップSP169に移る。

【0509】

ステップSP169においてクライアント端末2は、番組音声のタイムマシン録音を停止する。

【0510】

實際上、このタイムマシン録音の停止時においてクライアント端末2は、キーワードを含むナウオンエア情報の楽曲終了時刻とキーワードを含まないナウオンエア情報を受信したタイミング（すなわち現在時刻）との時間差を算出する。このとき例えば時間差が5秒であるとすれば、現在時刻の5秒前にラジオ番組で流されていた楽曲が終了したことになる。

【0511】

そしてクライアント端末2は、この時間差に基づいて、タイムマシン録音した番組音声データの所定位置を楽曲の終了位置としてマークし、タイムマシン録音を停止する。

【0512】

すなわちクライアント端末2は、ナウオンエア情報の楽曲終了時刻と現在時刻との時間差を算出し、現在時刻よりも当該時間差の分だけ前の時点を番組音声データにおける楽曲の終了位置としてマークした後、タイムマシン録音を停止するようになされており、これにより楽曲が終了した時点を正確に認識して、当該楽曲が流されていたときの番組音声を録音することができる。

【0513】

このようにしてタイムマシン録音を停止した後、クライアント端末2は、タイムマシン録音した番組音声データをユーザが所望する楽曲のコンテンツデータとしてフォルダ「世界中にたくさんある花」に登録し、次のステップSP170に移る。

## 【0514】

ステップSP170においてクライアント端末2は、操作入力部20を介してキーワード録音の停止命令がなされたか否かを判断する。ここで否定結果を得ると、クライアント端末2は、再びステップSP162に戻ってキーワード録音処理を継続し、肯定結果を得ると、ステップSP171に移って仮録音を停止してキーワード録音処理を終了する。

## 【0515】

以上の構成において、この第4の実施の形態におけるクライアント端末2は、所望の楽曲を示すキーワード及びラジオ局をユーザに指定させ、この指定されたラジオ局で放送中の番組音声を仮録音する。

## 【0516】

さらにクライアント端末2は、指定されたラジオ局に対応するラジオ放送情報配信サーバSV3からナウオンエア情報を受信し、このナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれているか否かを判断する。

## 【0517】

ここでこのナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれている場合、クライアント端末2は、受信中のラジオ番組で所望の楽曲が流され始めたと認識し、このナウオンエア情報の楽曲開始時刻に基づき、仮録音した番組音声の番組音声データにおける楽曲の開始位置を特定してタイムマシン録音を開始する。

## 【0518】

さらにクライアント端末2は、ポーリング間隔毎にナウオンエア情報を受信し続け、当該ナウオンエア情報にキーワードに一致する情報が含まれなくなったとき（すなわち所望の楽曲が終了したとき）、キーワードを含んだナウオンエア情報の楽曲終了時刻に基づいて、タイムマシン録音した番組音声の番組音声データにおける楽曲の終了位置を特定してタイムマシン録音を停止する。

## 【0519】

これによりクライアント端末2は、ユーザが所望する楽曲の放送開始時刻と放送終了時刻とを正確に認識して、当該楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができる。

## 【0520】

以上の構成によれば、ナウオンエア情報を定期的に取得し、このナウオンエア情報からキーワードが検出されているときに、受信している放送信号を記録するようにしたことにより、ユーザの所望する楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができ、かくしてラジオ番組単位で録音するばかりでなく、ラジオ番組の番組音声のうちユーザが所望する部分の番組音声を容易に録音することができる。

## 【0521】

また、この第4の実施の形態におけるクライアント端末2によれば、ナウオンエア情報の楽曲開始時刻及び終了時刻に基づいて、番組音声データにおける楽曲の開始位置及び終了位置を特定してマークすることにより、楽曲が流され始めた時点及び終了した時点とを正確に認識して、当該楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができる。さらにこの場合、開始位置及び終了位置をマークしただけなので、その位置を後で調整することもできる。

## 【0522】

## (5) 他の実施の形態

なお上述の第1乃至第4の実施の形態においては、キーワードとして楽曲タイトルを指定させるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ナウオンエア情報に含まれる番組タイトル、出演者(DJ)、アーティスト、ジャンル等を指定させるようにしてもよく、例えばアーティストをキーワードとして指定させれば、そのアーティストの楽曲が放送されているときの番組音声を録音することができる。これによりユーザの種々の要求に応じたキーワード録音処理を実行することができる。

## 【0523】



また上述の第1乃至第4の実施の形態においては、外部装置としてのラジオ放送情報配信サーバSV3から配信される放送情報としてのナウオンエア情報をもとにキーワード録音処理を実行する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ラジオ局で放送されるラジオ番組の内容を示す放送情報であれば、この他種々の放送情報をもとにキーワード録音処理を実行するようにしてもよい。

#### 【0524】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、ラジオ番組の番組音声をキーワード録音するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えばテレビジョン番組の内容を示す放送情報を配信するサーバから、この放送情報を受信し、当該放送情報とキーワードとをもとにテレビジョン番組の番組映像を録画するようにしてもよい。この場合でも、記録する対象が音声から映像に変わっただけであるので、上述のキーワード録音とはほぼ同様の手順で録画できる。これにより番組単位で録画するばかりでなく、テレビジョン番組の番組映像のうちユーザが所望する部分の番組映像を容易に録画することができる。

#### 【0525】

さらに上述の第3乃至第4の実施の形態においては、ナウオンエア情報に含まれるコンテンツの放送開始時刻及び放送終了時刻としての楽曲開始時刻及び楽曲終了時刻をもとに、番組音声データにおける楽曲の開始位置や終了位置をマークするようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ナウオンエア情報に含まれる楽曲開始時刻や楽曲終了時刻をもとに、番組音声データにおける楽曲の開始位置や終了位置を特定し、その開始位置や終了位置で番組音声データを抽出するようにしてもよい。この場合、抽出された番組音声データ（すなわち楽曲のコンテンツデータ）は、必要最低限の容量ですむ。

#### 【0526】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、ラジオ番組で放送されるコンテンツとしての楽曲の放送終了時刻を、ナウオンエア情報を受信した時刻や、ナウオンエア情報に含まれる楽曲終了時刻をもとに特定するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、楽曲の放送終了時刻を特定し得る情報であれば、この他種々の情報を利用するようにしてもよい。

#### 【0527】

この場合、例えばCDアルバムに収録された各楽曲に関する情報（楽曲タイトル、アーティスト、演奏時間等を含む情報であり、以下、これをCD情報と呼ぶ）を配信する所定のサーバから、このCD情報を受信し、当該CD情報の演奏時間をもとに、ラジオ番組で放送される楽曲の放送終了時刻を特定するようにしてもよいし、クライアント端末2のハードディスクドライブ211に予めCD情報を記録しておき、このCD情報から特定するようにしてもよい。

#### 【0528】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、クライアント端末2が、ポータルサーバ3にコールサインを送信して、当該ポータルサーバ3から、そのコールサインに対応するラジオ局で放送されるラジオ番組についてのナウオンエア情報及びオンエアリスト情報を配信するラジオ放送情報サーバSV3のアドレスを取得するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば、ナウオンエア情報及びオンエアリスト情報を配信するラジオ放送情報サーバSV3のアドレスを配信するサーバを別途設け、当該サーバからコールサインに基づくアドレスを取得するようにしてもよい。

#### 【0529】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、放送データとしての番組音声データを仮録音するためのバッファをハードディスクドライブ211上に確保した場合について述べたが、本発明はこれに限らず、このバッファをRAM205上に確保するようにしてもよい。この場合、一般的にRAM205の方が、ハードディスクドライブ211よりもアクセス速度が速いので、番組音声データの書込や消去を頻繁に行う仮録音に適していると言える。



## 【0530】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、ラジオ番組の番組音声ハードディスクドライブ211に録音可能なクライアント端末2にキーワード録音機能を設けた場合について述べたが、本発明はこれに限らず、ラジオ番組を内蔵メモリに録音可能な携帯端末等、この他種々の機器に当該キーワード録音機能を設けるようにしてもよい。

## 【0531】

さらに上述の実施の形態においては、クライアント端末2が受信可能な放送としてラジオ局から放送されるラジオ放送を適用したが、これに限らず、クライアント端末2がインターネットラジオ放送や衛星ラジオ放送を受信して、その関連情報（ラジオ放送情報）を取得するようにしたり、あるいはテレビジョン放送局から放送されるテレビジョン放送を受信し、そのテレビジョン放送のテレビジョン番組に関する各種放送情報等をネットワークNT上のサーバから取得するようにしてもよい。

## 【0532】

さらに上述の実施の形態においては、ハードウェア回路ブロック、機能回路ブロック及びプログラムモジュールをクライアント端末2に実装した場合について述べたが、本発明はこれに限らず、これらを携帯電話機やパーソナルコンピュータ等、クライアント端末2以外の種々の端末に実装するようにしてもよく、これらハードウェア回路ブロック、機能回路ブロック及びプログラムモジュールを実装した端末であれば、上述したクライアント端末2と同様の処理を実現することができる。

## 【0533】

さらに上述の第1乃至第4の実施の形態においては、放送信号受信手段としてのアンテナ212及びチューナ213や、設定手段としての操作入力部200及び入力処理部201や、記録媒体としてのハードディスクドライブ211に対して放送データとしての番組音声データを仮記録（仮録音）又は本記録（本録音）する記録手段、検出手段及び制御手段としてのCPU203や、通信手段及び取得手段としての通信処理部214及びネットワークインタフェース215によって記録装置及び情報処理装置としてのクライアント端末2を構成するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、この他種々の構成でこのクライアント端末2を構成するようにしてもよい。

## 【産業上の利用可能性】

## 【0534】

本発明は、放送番組を記録する記録装置において広く利用できる。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0535】

【図1】音楽関連サービス提供システムの全体構成を示す略線図である。

【図2】クライアント端末の機能回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図3】ディレクトリ構成を示す略線図である。

【図4】ポータルサーバの機能回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図5】音楽データ配信サーバの機能回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図6】物販サーバの機能回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図7】ラジオ放送情報配信サーバの機能回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図8】クライアント端末及びポータルサーバ間のユーザ認証処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図9】クライアント端末及び音楽データ配信サーバ間のユーザ認証処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図10】音楽データ配信サービス提供処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図11】物販サービス提供処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図12】ラジオ放送情報（オンエアリスト情報）サービス提供処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図13】ラジオ放送情報（ナウオンエア情報）サービス提供処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図14】クライアント端末のハードウェア回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図15】クライアント端末のプログラムモジュールを示す略線図である。

【図16】ポータルサーバのハードウェア回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図17】音楽データ配信サーバのハードウェア回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図18】物販サーバのハードウェア回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図19】ラジオ放送情報配信サーバのハードウェア回路ブロックによる構成を示すブロック図である。

【図20】ラジオ放送情報データベースの構成を示す略線図である。

【図21】放送中番組テーブルにおけるナウオンエア情報の更新を示す略線図である。

【図22】放送済楽曲テーブルにおけるオンエアリスト情報の更新を示す略線図である。

【図23】放送済番組テーブルにおけるオンエアリスト情報の更新を示す略線図である。

【図24】放送済楽曲テーブルと放送済番組テーブルとの関連付けを示す略線図である。

【図25】第1の実施の形態におけるキーワード録音処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図26】第2の実施の形態におけるキーワード録音処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図27】番組表画面の構成を示す略線図である。

【図28】第3の実施の形態におけるキーワード録音処理手順を示すシーケンスチャートである。

【図29】第4の実施の形態における放送中番組テーブルを示す略線図である。

【図30】第4の実施の形態におけるキーワード録音処理手順を示すシーケンスチャートである。

#### 【符号の説明】

##### 【0536】

1……音楽関連サービス提供システム、2……クライアント端末、3……ポータルサーバ、200……操作入力部、201……入力処理部、203……CPU、204……ROM、205……RAM、211……ハードディスクドライブ、212……アンテナ、213……チューナ、214……通信処理部、215……ネットワークインタフェース、NT……ネットワーク、SV3……ラジオ情報配信サーバ。

【書類名】 図面  
【図 1】

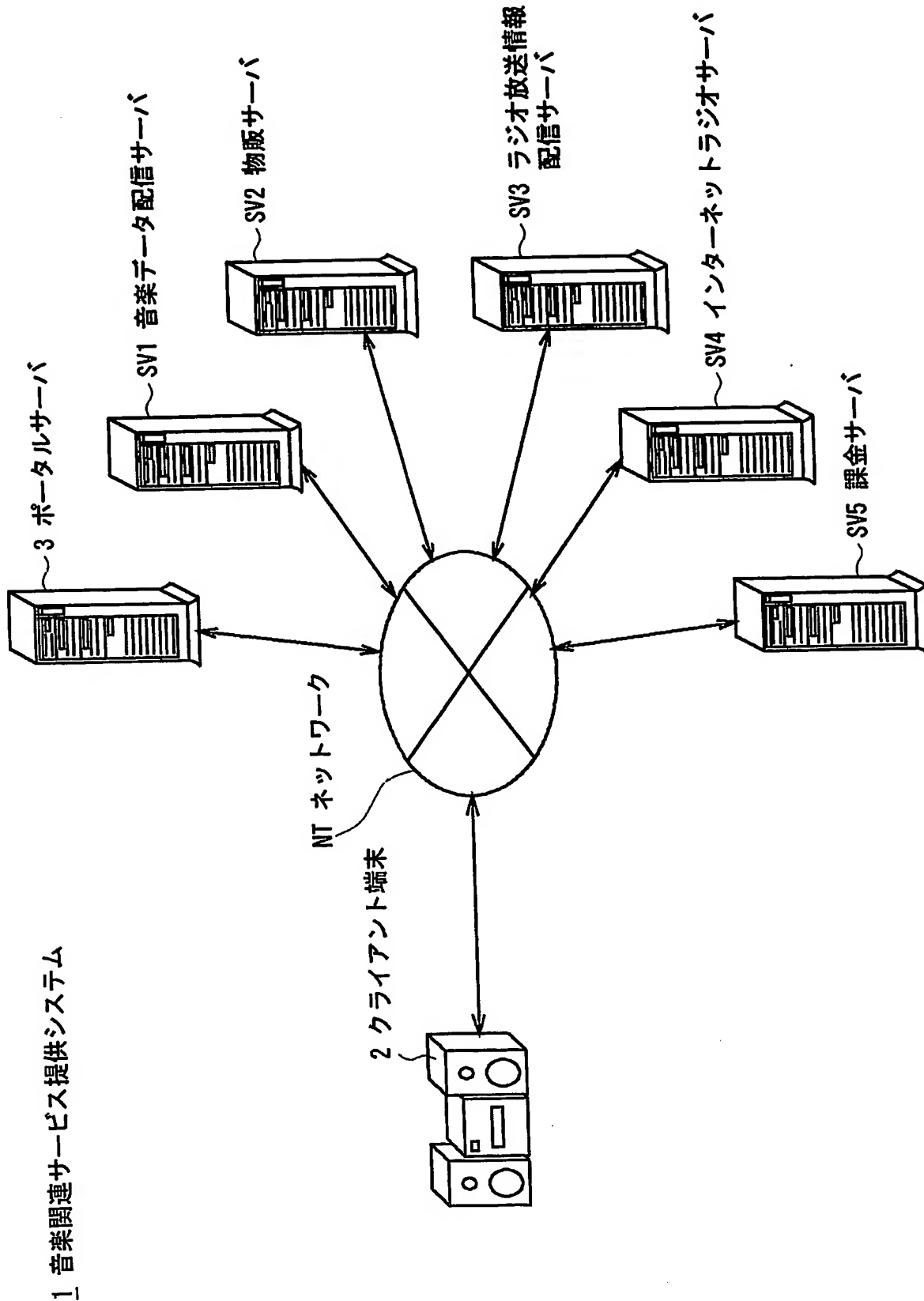


図 1 音楽関連サービス提供システムの全体構成

1 音楽関連サービス提供システム

【図 2】

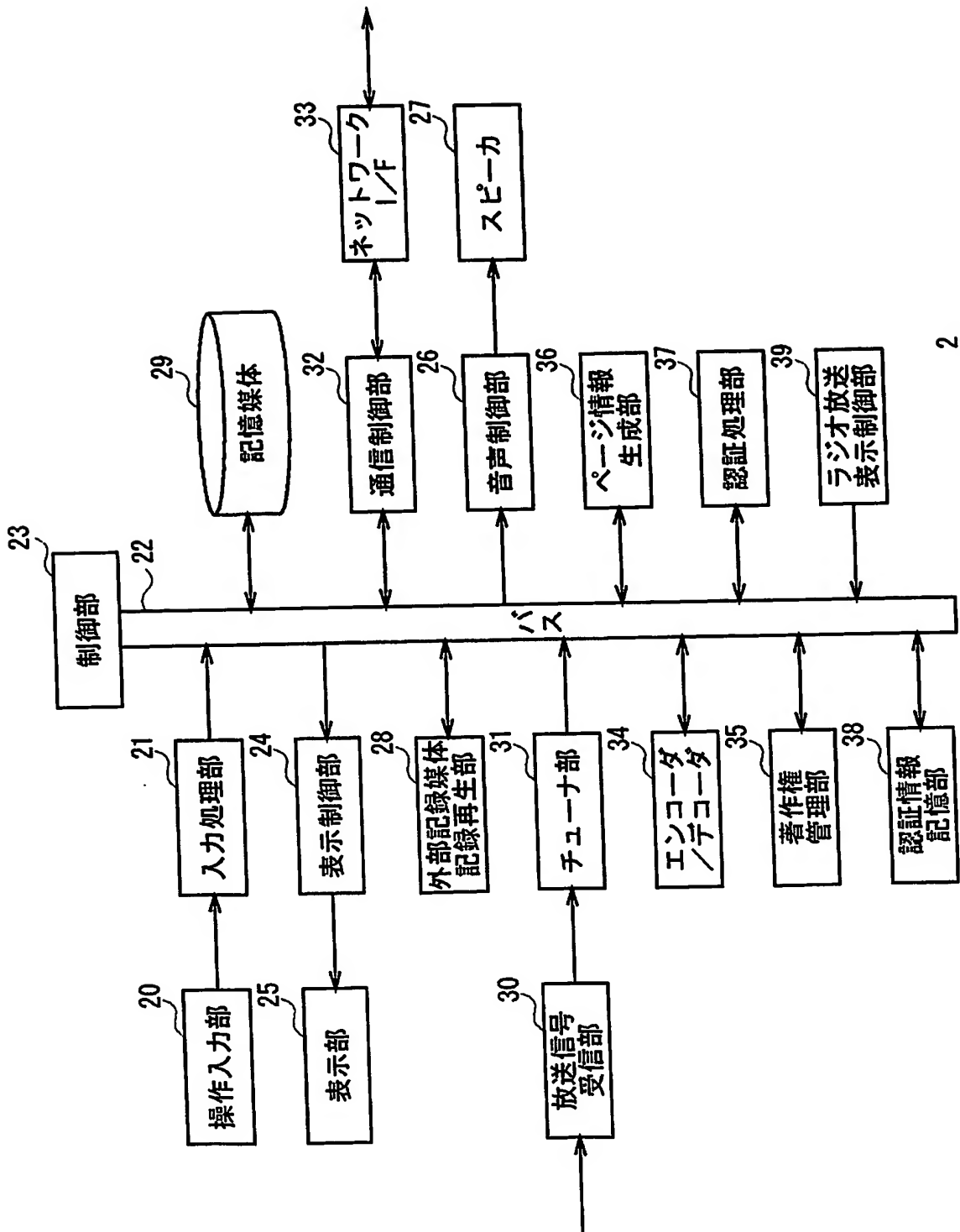


図 2 クライアント端末の機能回路ブロックによる構成

【図 3】

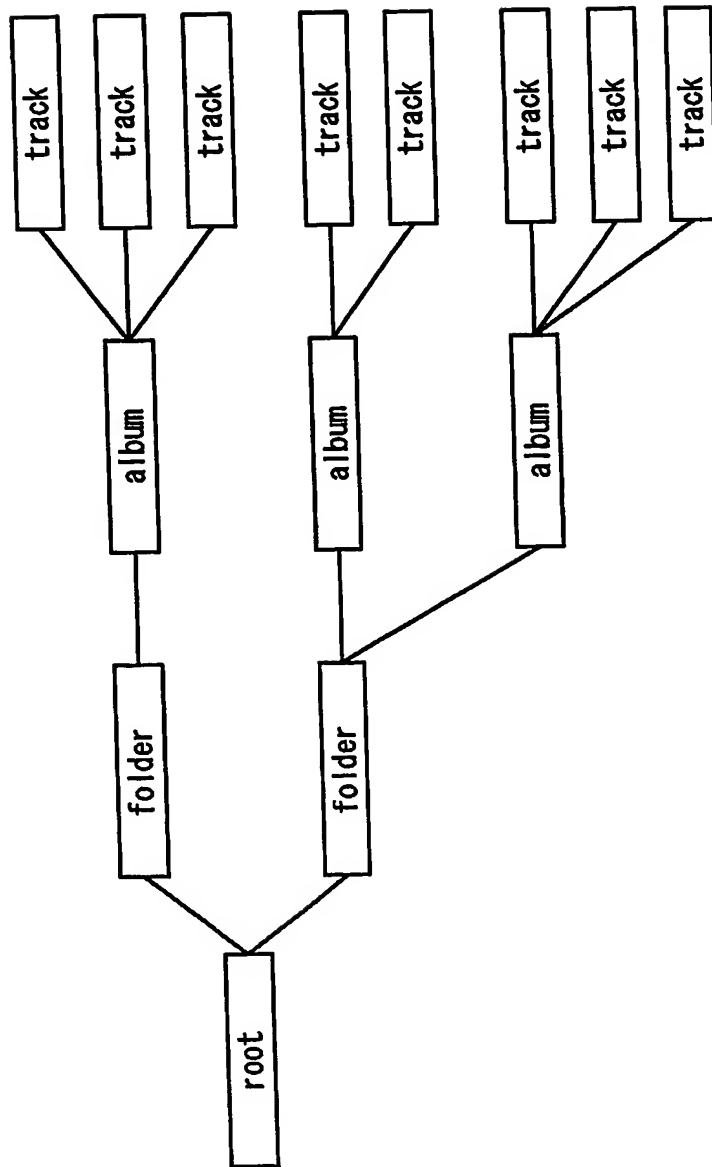


図 3 ディレクトリ構成

【図 4】

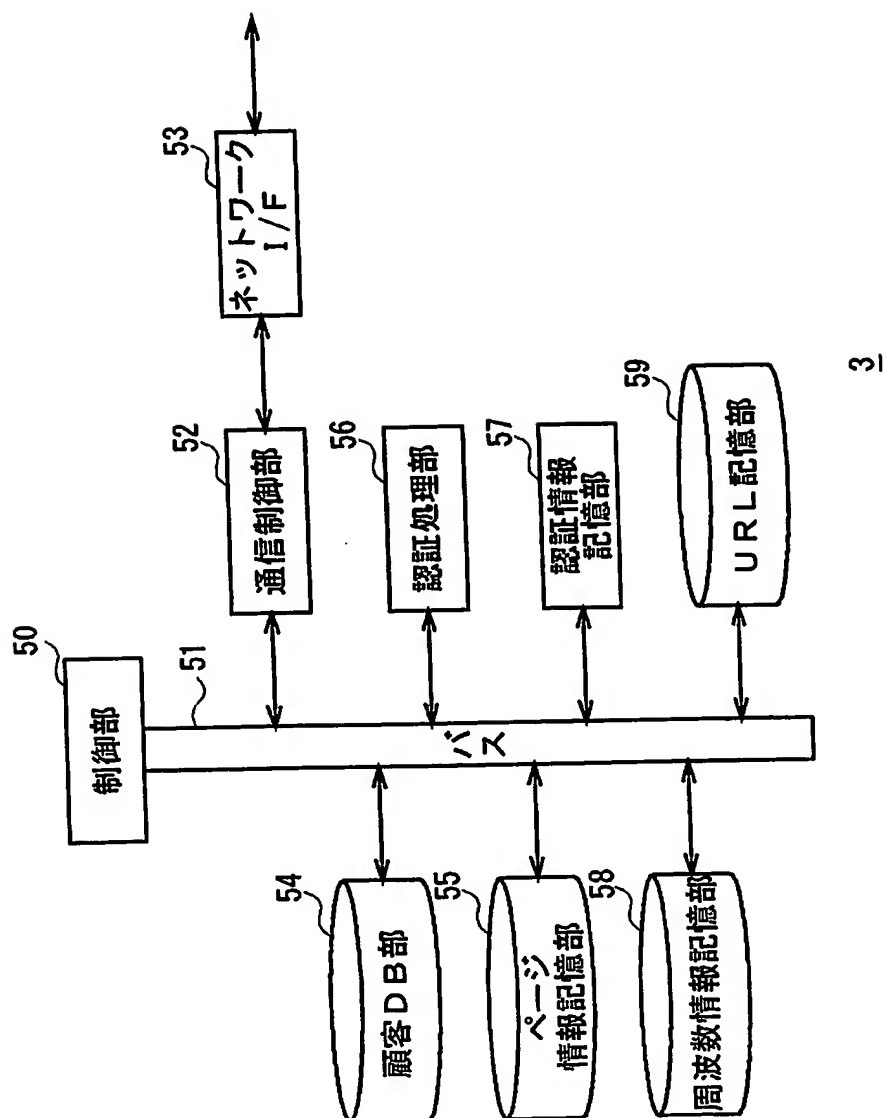


図 4 ポータルサーバの構成

【図 5】

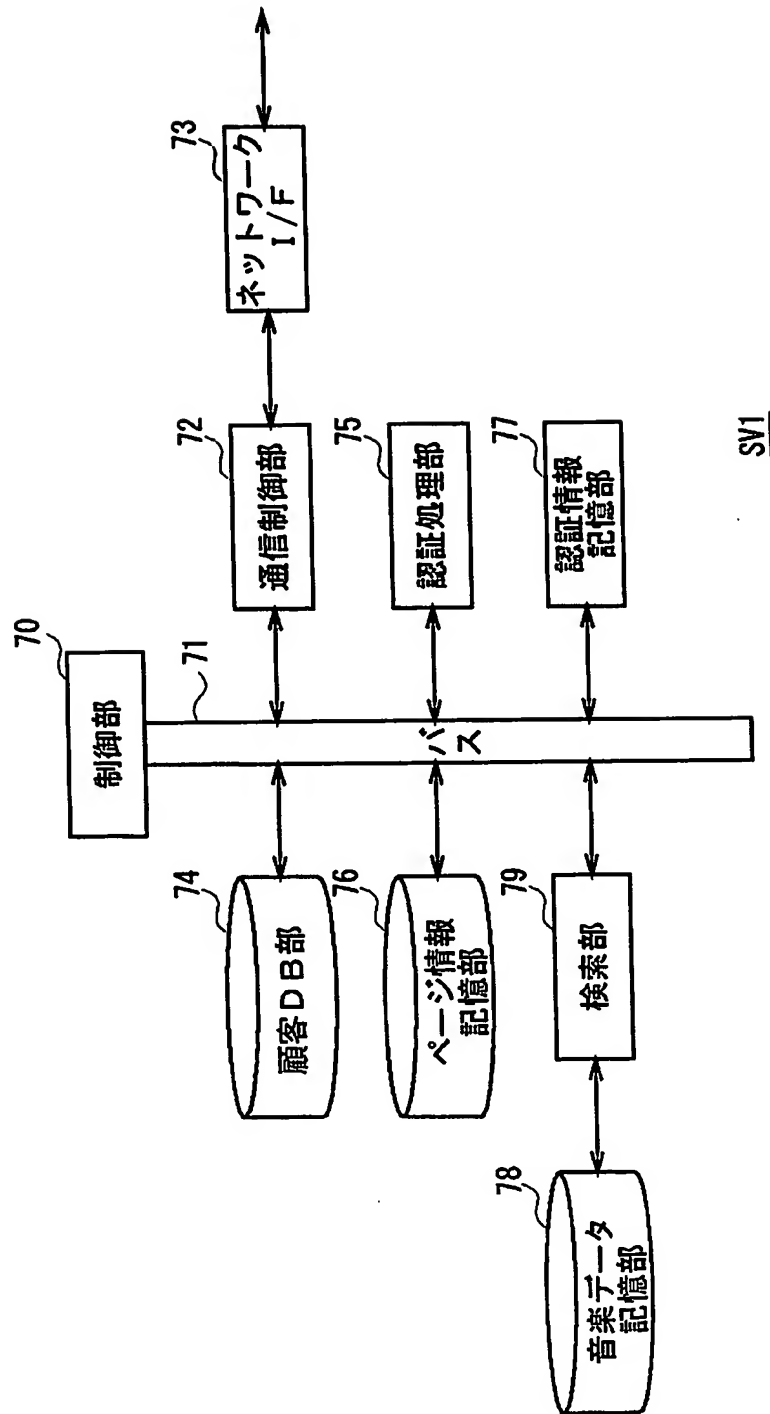
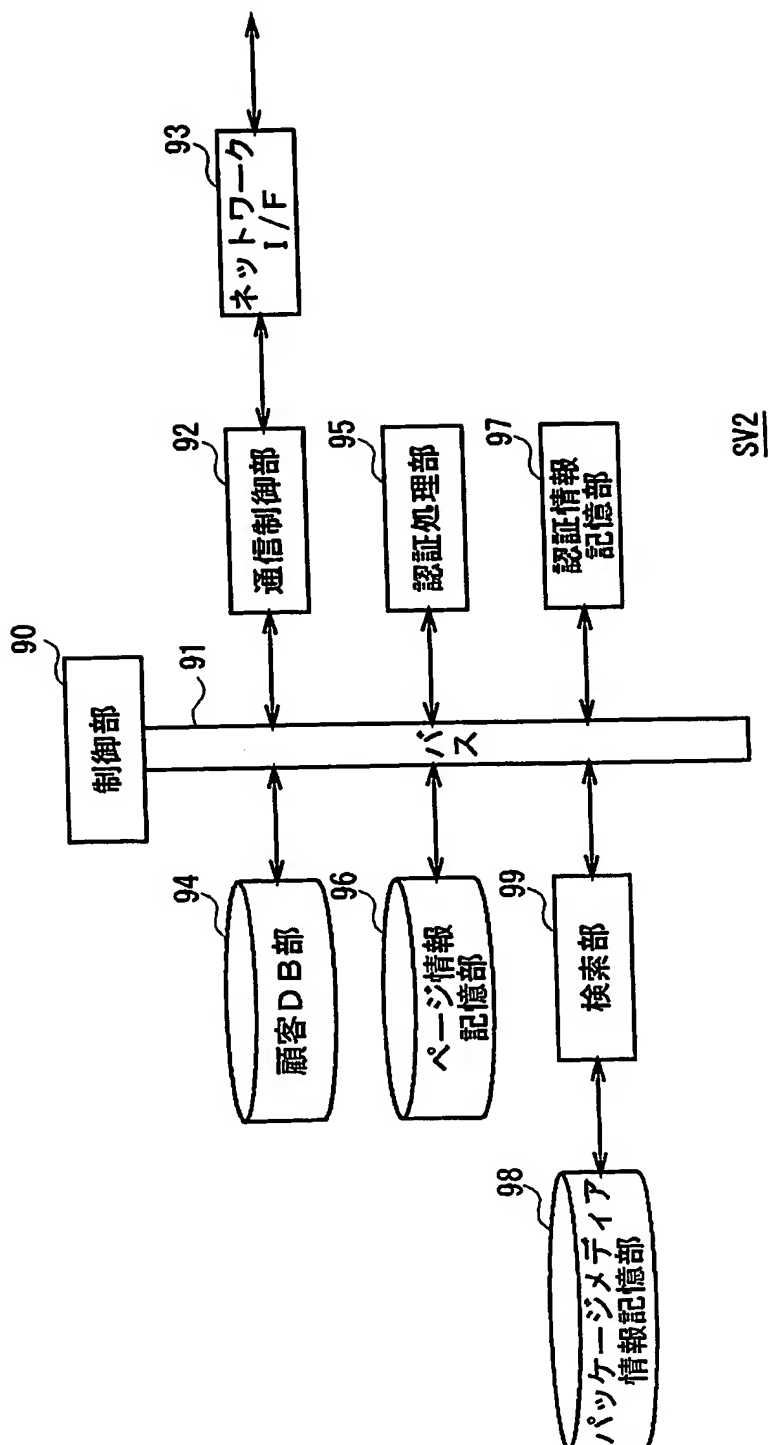


図 5 音楽データ配信サーバの構成



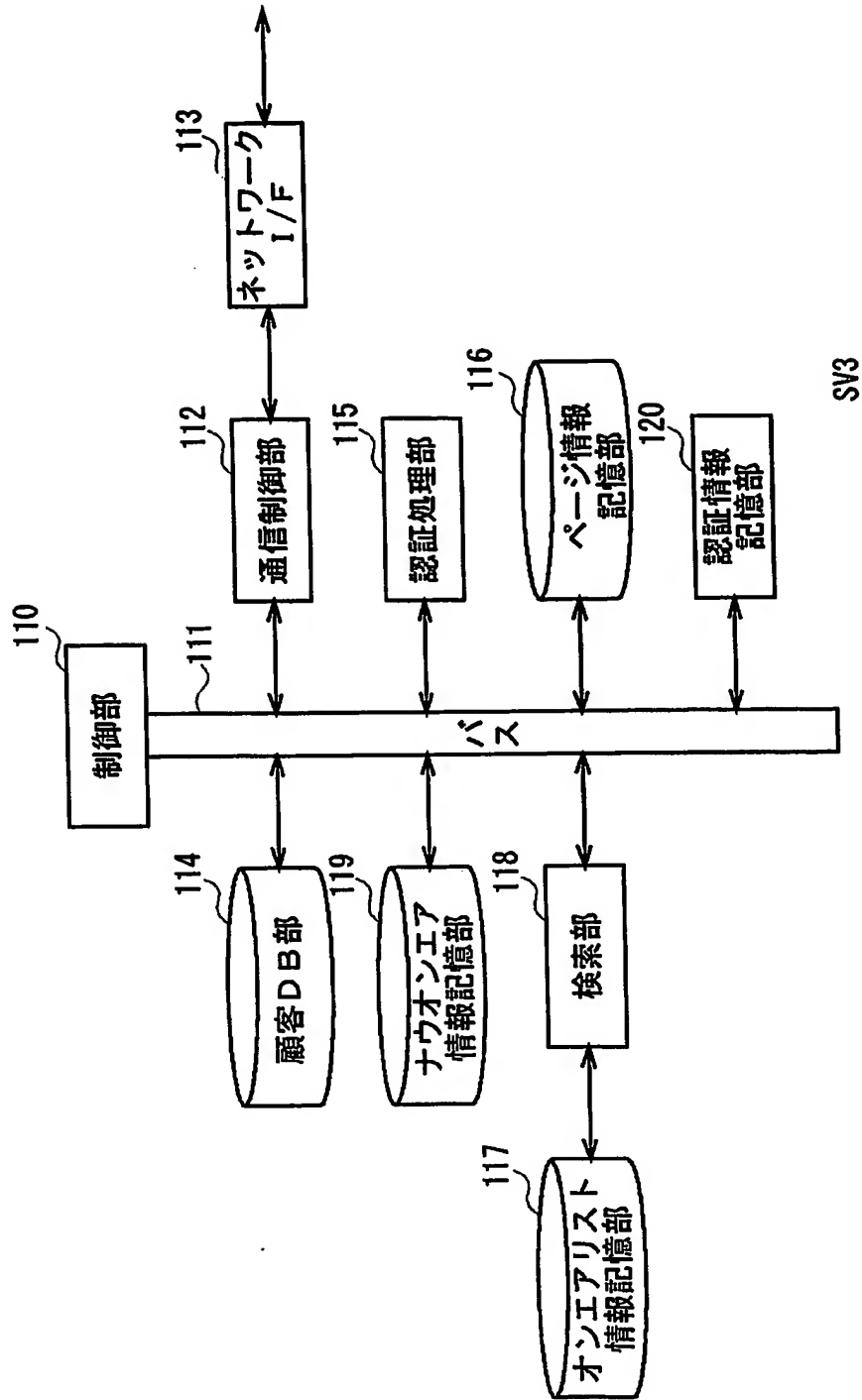
【図 6】



SV2

図 6 物販サーバの構成

【図 7】



SV3

図 7 ラジオ放送情報配信サーバの構成

【図 8】

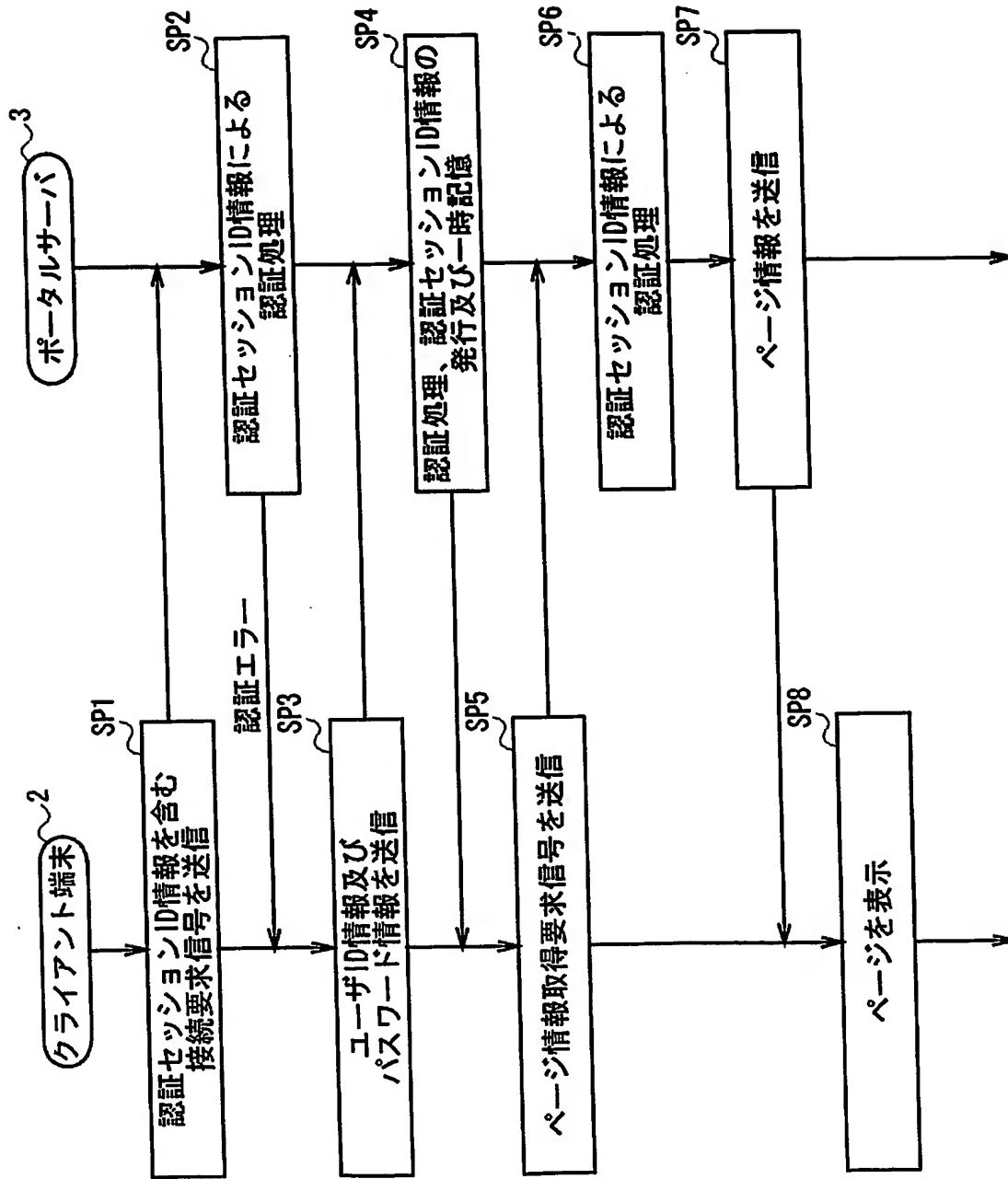
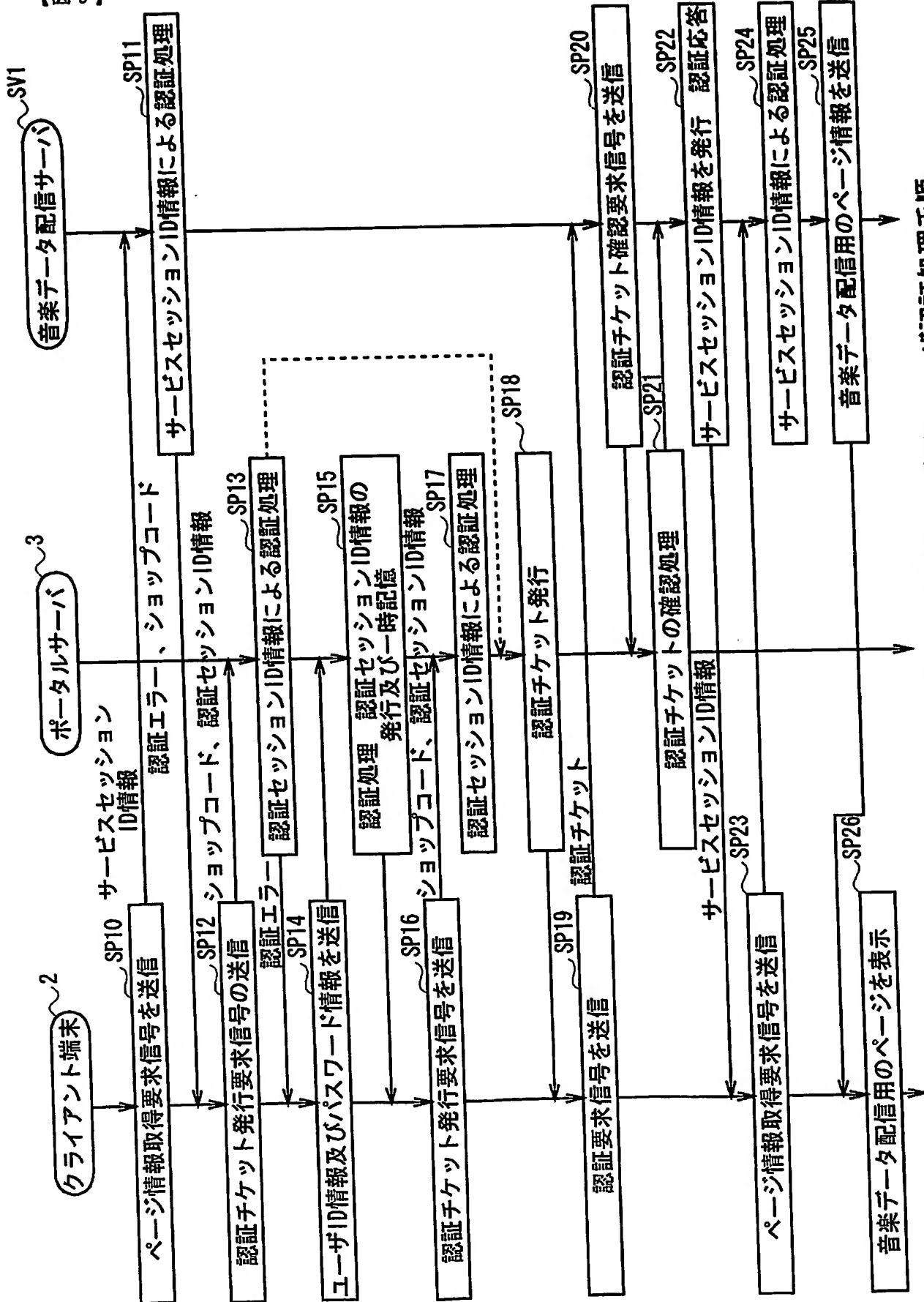


図 8 クライアント端末及びポータルサーバ間のユーザ認証処理手順

【図 9】



【図10】

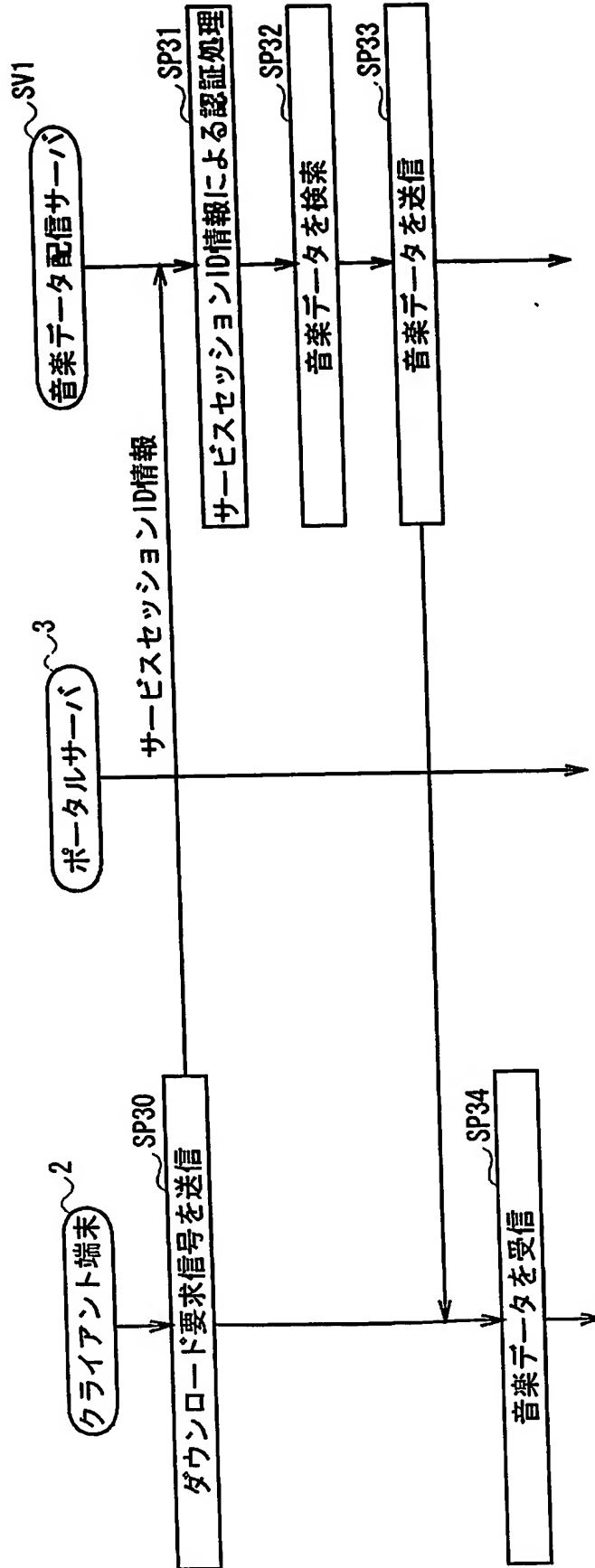


図10 音楽データ配信サービス提供処理手順

【図11】

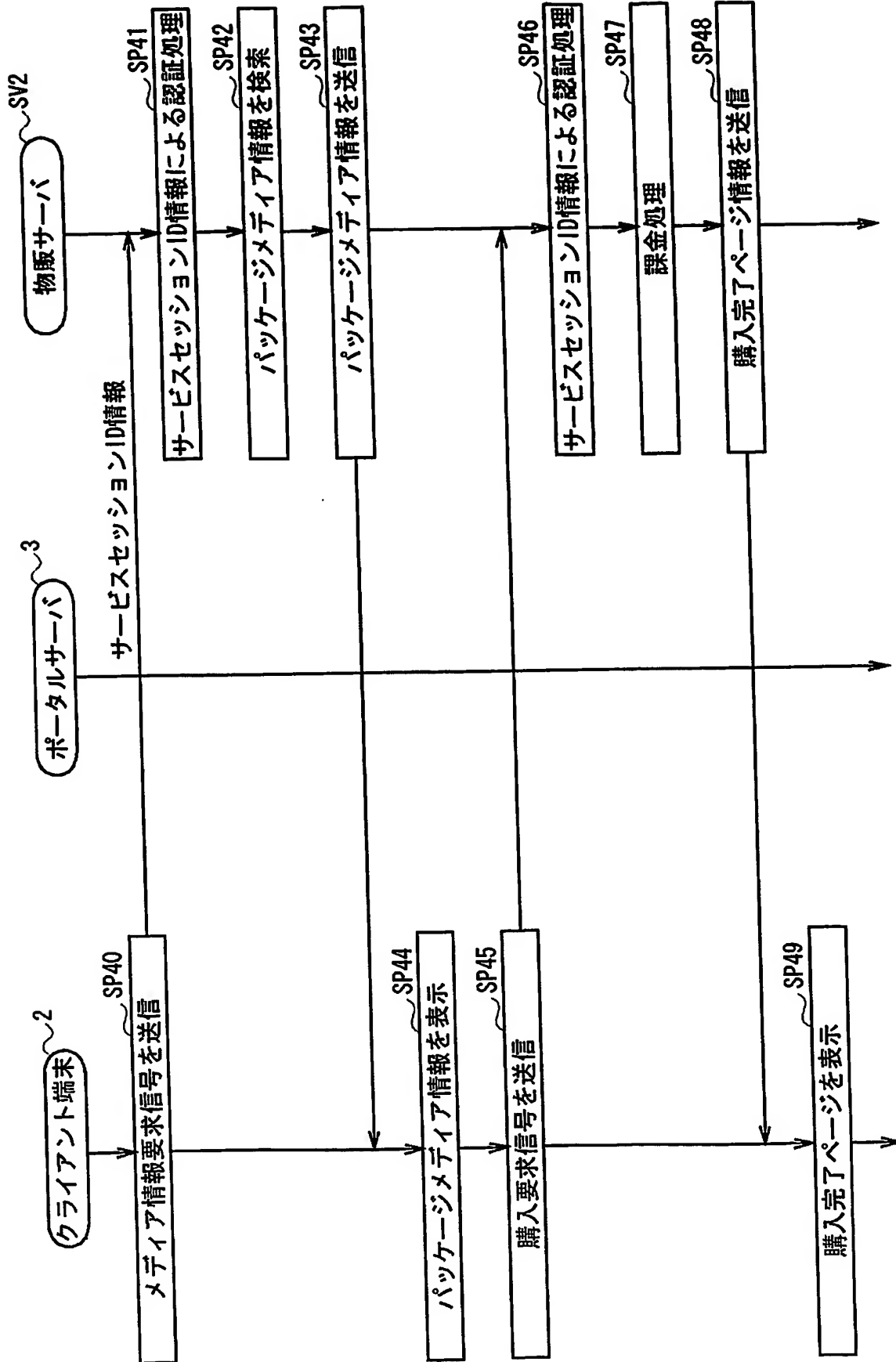


図11 物販サービス提供処理手順

【図 12】

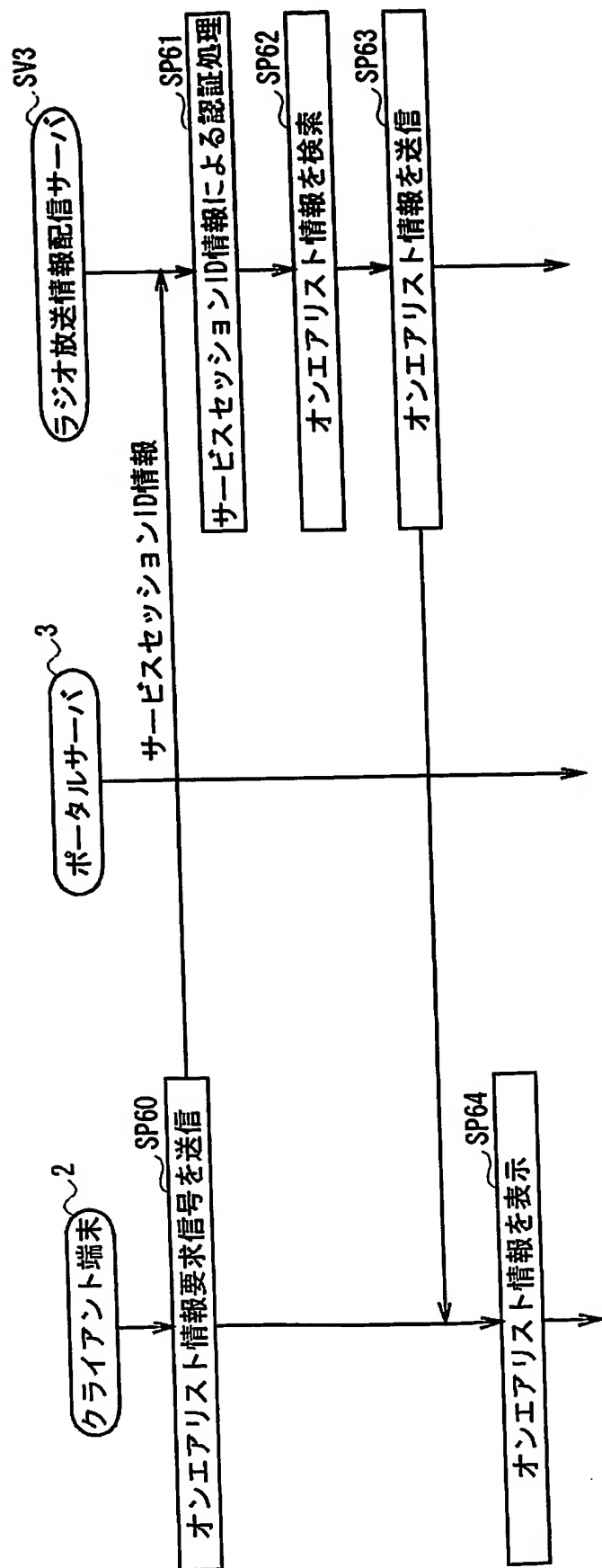
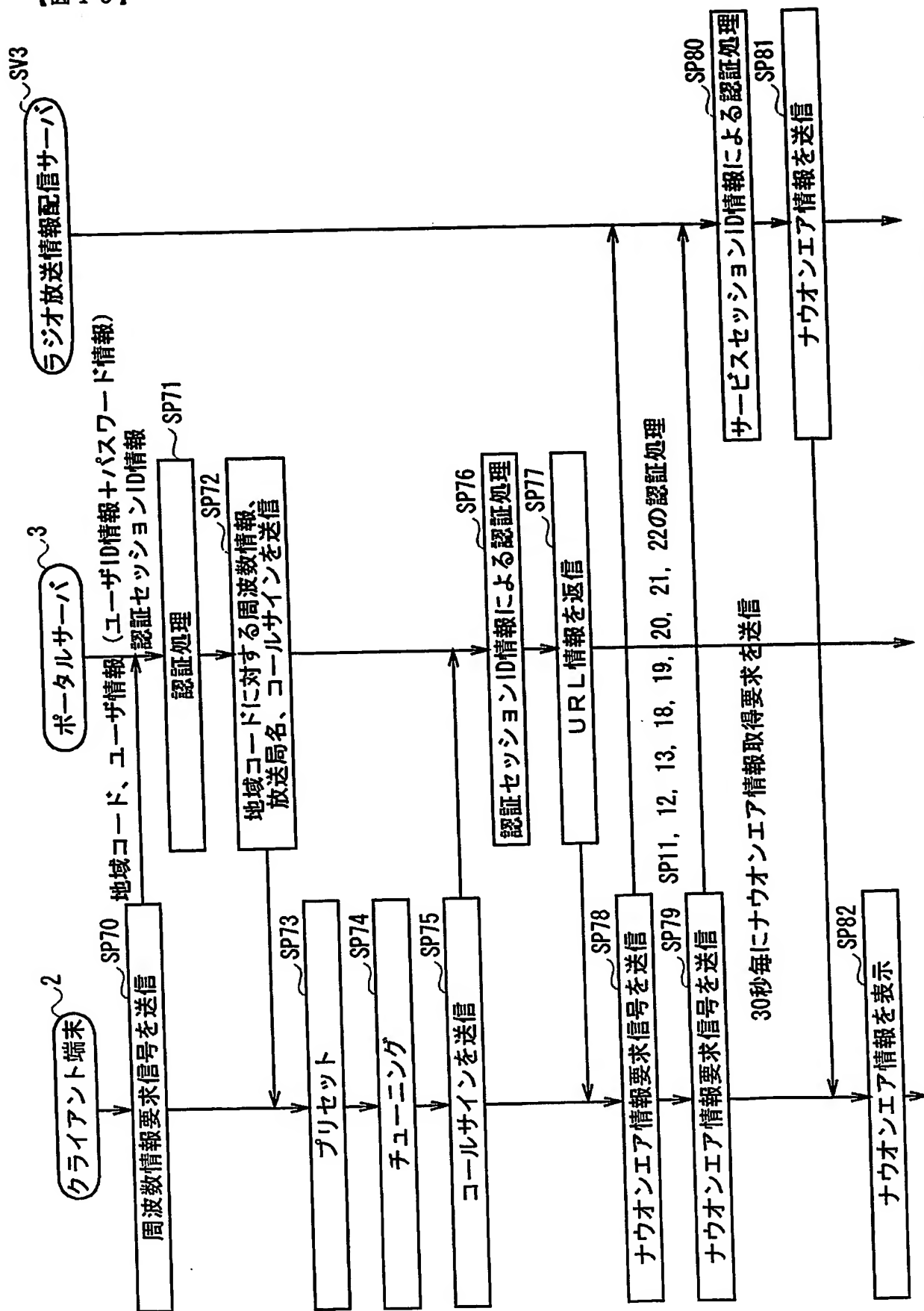


図 12 ラジオ放送情報（オンエアリスト情報）サービス提供処理手順（1）



【図 13】



【図 14】

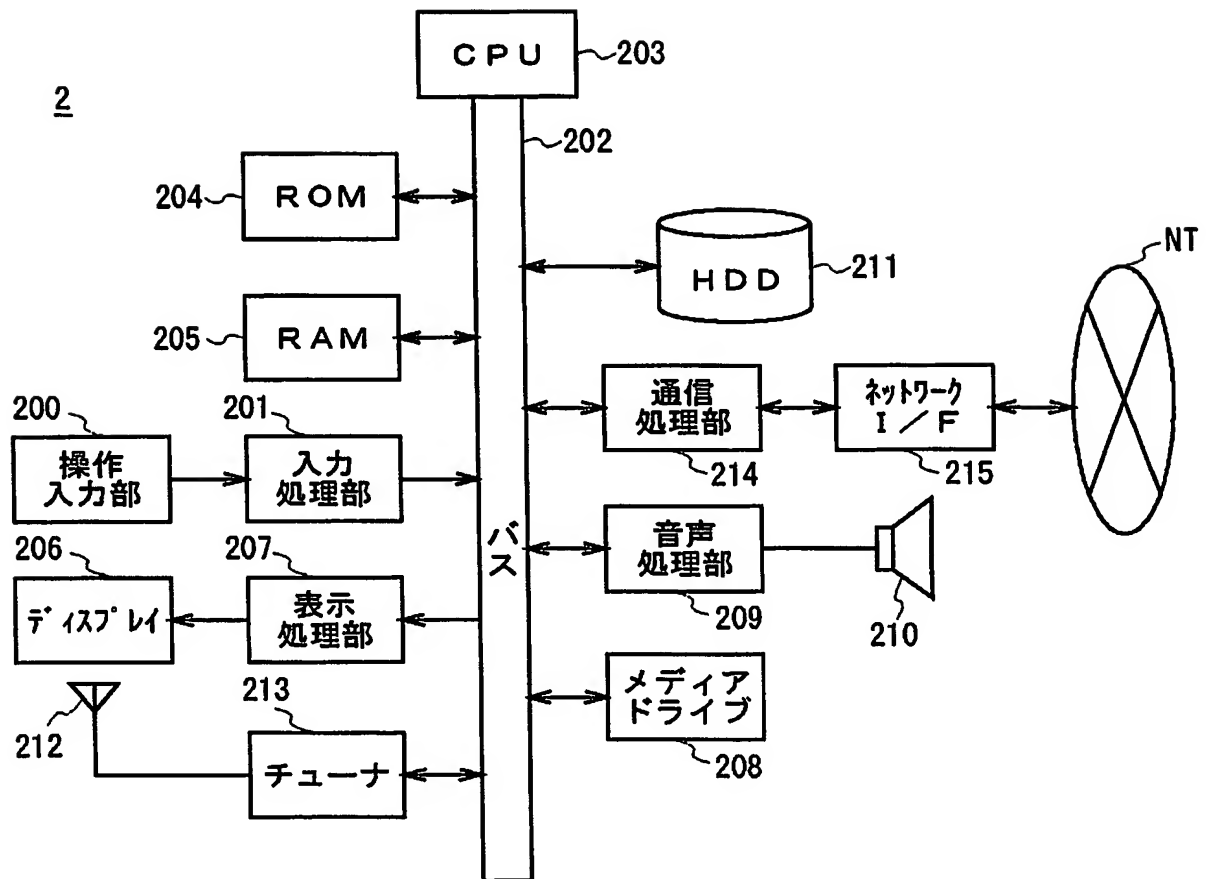


図 14 クライアント端末の回路構成

【図 15】

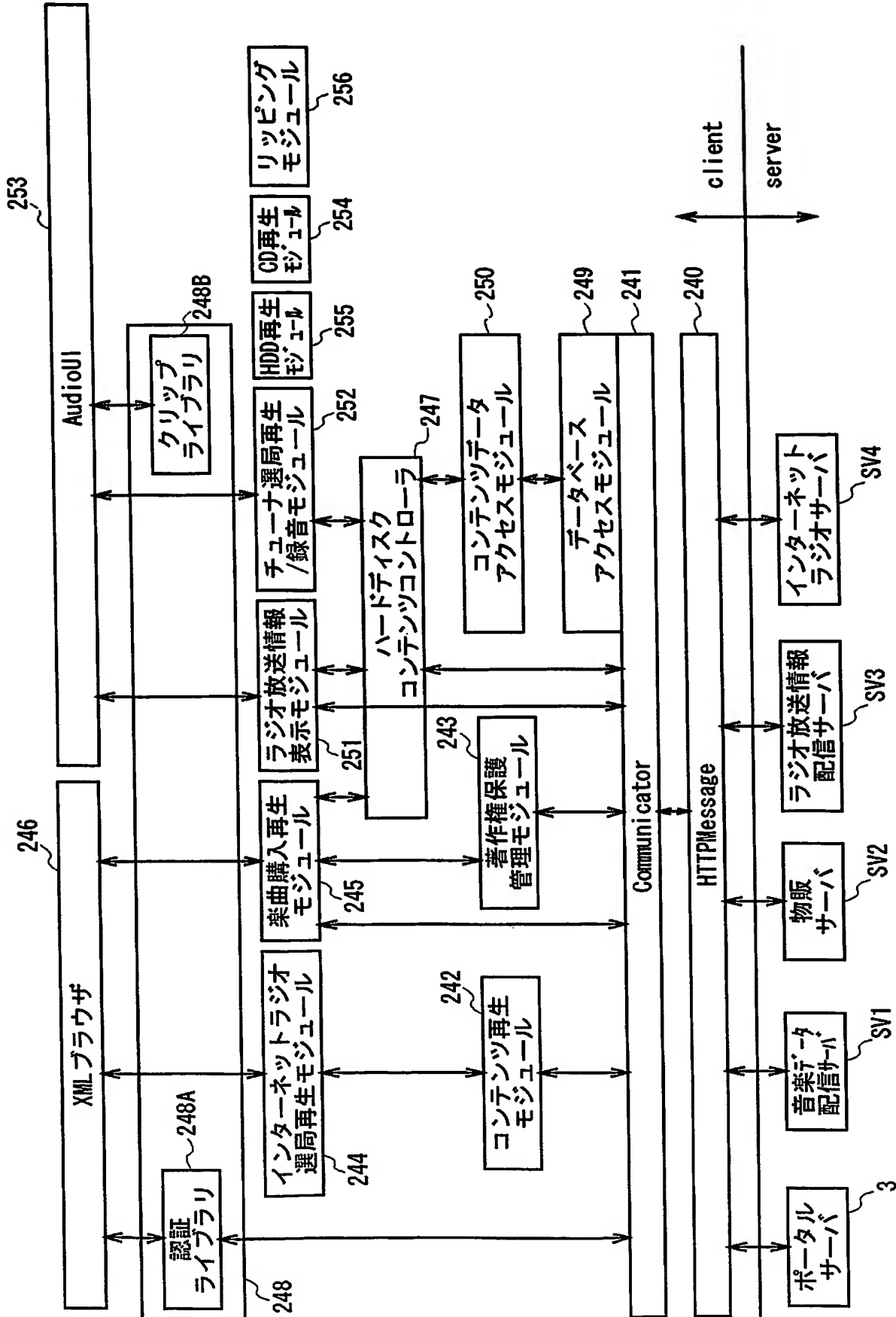


図 15 クライアント端末のプログラムモジュール

【図 16】

3

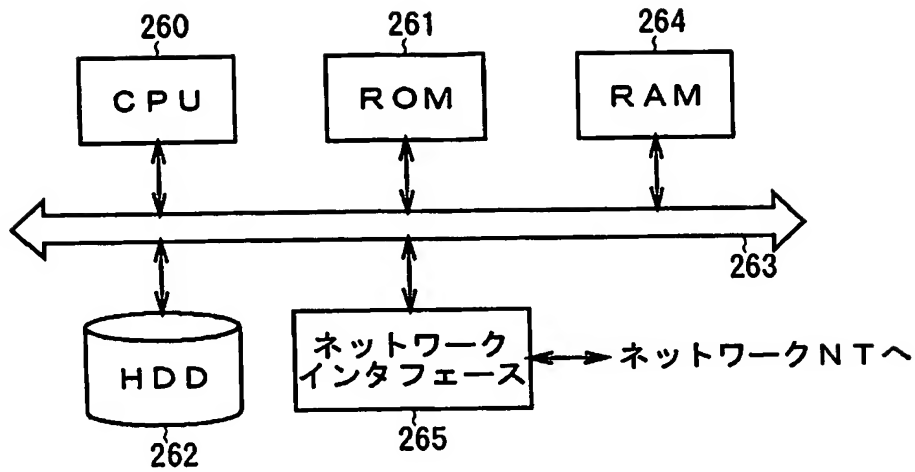


図 16 ポータルサーバの構成

【図 17】

SV1

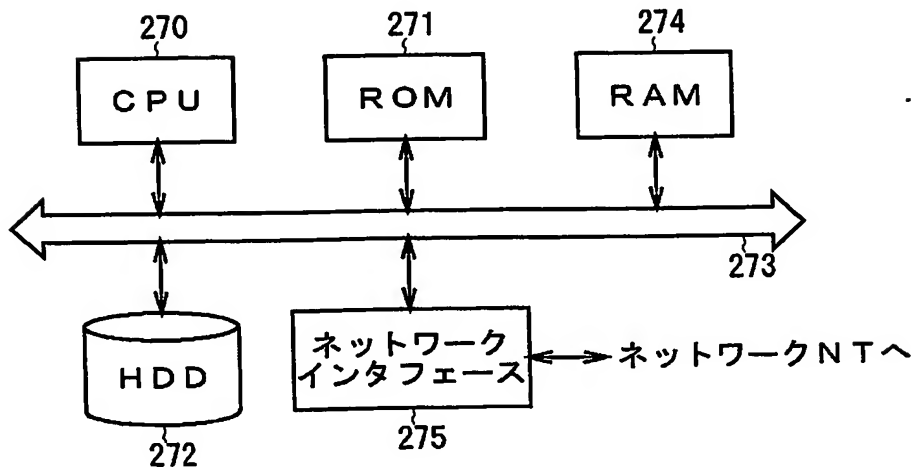


図 17 音楽データ配信サーバの構成

【図 18】

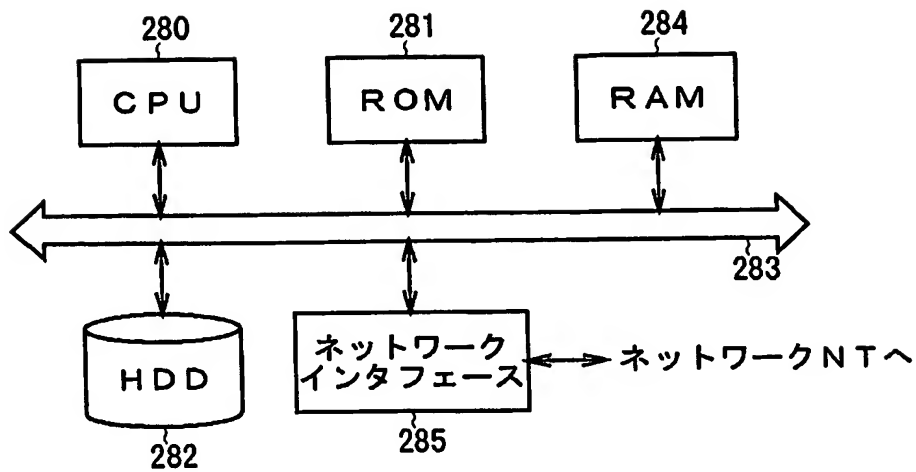
SV2

図 18 物販サーバの構成

【図 19】

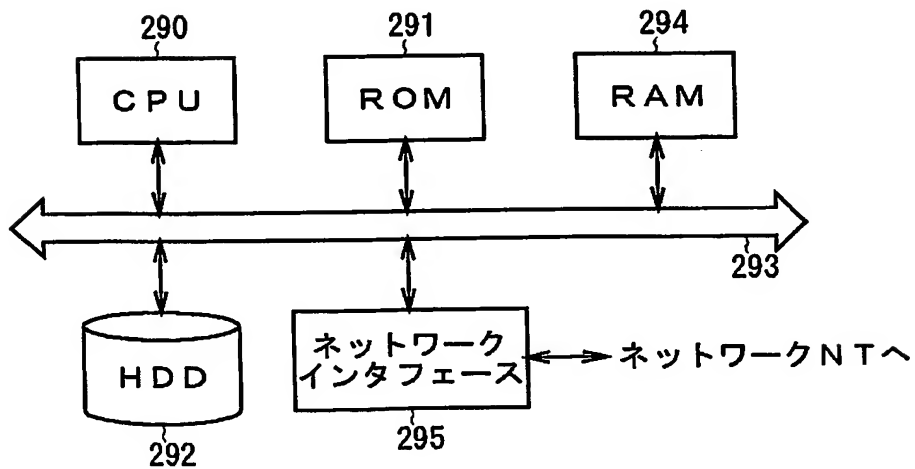
SV3

図 19 ラジオ放送情報配信サーバの構成

【図 20】

TB1 放送中番組テーブル

局名	番組タイトル	出演者 (DJ)	楽曲開始時刻	楽曲タイトル	アーティスト	ジャンル
FM中原	MY MY RADIO	ト・知増本	12/1 20:59	星空の向こうへ	スマシガオ	ポップス

TB2 放送済楽曲テーブル

局名	放送時刻	楽曲タイトル	アーティスト	ジャンル
FM中原	12/1 20:05	DORA DORA DORA	NAX	ロック
FM中原	12/1 20:09	青いトライアングル	DJC	ロック
FM中原	12/1 20:25	薔薇の咲く丘で	Tiger Ash	ロック
FM中原	12/1 20:33	NO.2	秋原和之	ポップス
FM中原	12/1 20:37	TO ME	浜崎あみ	ポップス
FM中原	12/1 20:41	Led Wine '89	GLNetwork	ポップス
FM中原	12/1 20:50	まくら〜合唱	小宮山青太郎	ポップス
FM中原	12/1 20:55	冬の躁鬱	歩く en Cell	ロック

TB3 放送済番組テーブル

局名	放送時間	番組タイトル	出演者 (DJ)
FM中原	12/1 19:00~20:00	WORLD BEAT	ソバット・ニハ・ル
FM中原	12/1 20:00~20:30	Rock On	クリス・ベ・ガバ-
FM中原	12/1 20:30~20:45	SLOW NIGHT	ジ・ジョン・ガ・ラ

図 20 ラジオ放送情報データベースの構成

【図 21】

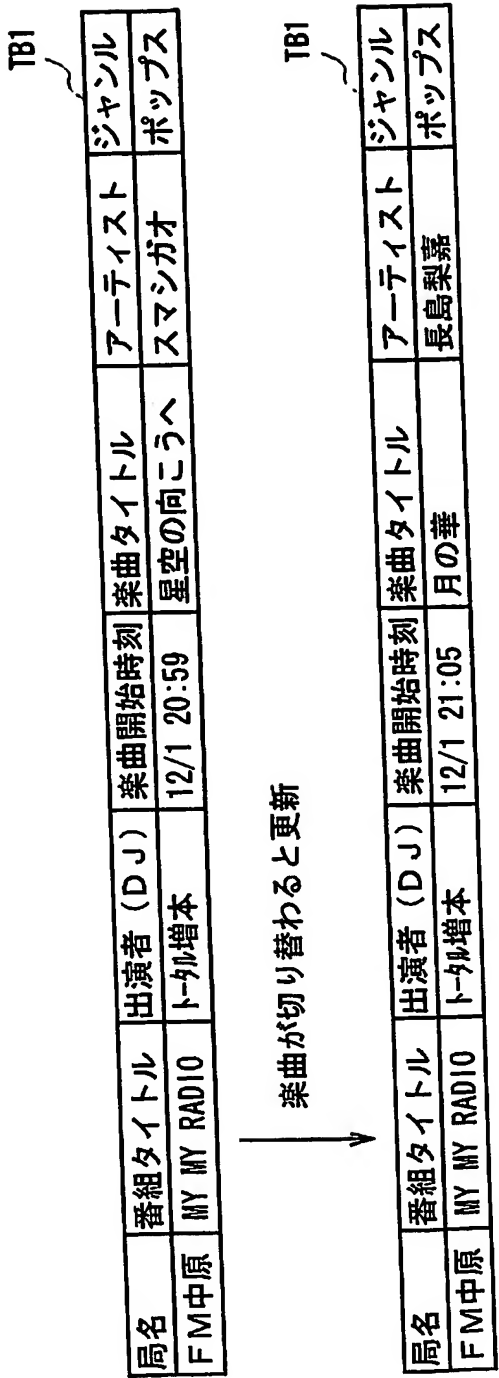


図 21 放送中番組テーブルにおけるナウオンエア情報の更新



【図 2 2】

TB2

局名	放送時刻	楽曲名タイトル	アーティスト	ジャンル
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
FM中原	12/1 20:05	DORA DORA DORA	NAX	ロック
FM中原	12/1 20:09	青いトライアングル	DJC	ロック
FM中原	12/1 20:25	薔薇の咲く丘で	Tiger Ash	ロック
FM中原	12/1 20:33	NO.2	秋原和之	ポップス
FM中原	12/1 20:37	TO ME	浜崎あみ	ポップス
FM中原	12/1 20:41	Led Wine'89	CLNetwork	ポップス
FM中原	12/1 20:50	まくら～合唱	小宮山青太郎	ポップス
FM中原	12/1 20:55	冬の躁鬱	歩く en Cell	ロック
FM中原	12/1 20:59	星空の向こうへ	スマシガオ	ポップス

→ 放送終了してから所定時間経過後追加

図 2 2 放送済楽曲テーブルにおけるオンエアリスト情報の追加

【図 2 3】

TB3

局名	放送時間	番組タイトル	出演者 (DJ)
⋮	⋮	⋮	⋮
FM中原	12/1 19:00～20:00	WORLD BEAT	ソバット・ニンバルス
FM中原	12/1 20:00～20:30	Rock On	クリス・ベッパ
FM中原	12/1 20:30～20:45	SLOW NIGHT	ジョン・カバラ
FM中原	12/1 20:45～21:30	MY MY RADIO	トール増本

→ 放送終了してから所定時間経過後追加

図 2 3 放送済番組テーブルにおけるオンエアリスト情報の追加

【図 24】

局名	放送時間	番組タイトル	出演者 (DJ)	放送時刻	楽曲タイトル	アーティスト	ジャンル
FM中原	12/1 20:00~20:30	Rock On	クリス・パ・ガバ	12/1 20:05	DORA DORA DORA	NAX	ロック
FM中原	12/1 20:00~20:30	Rock On	クリス・パ・ガバ	12/1 20:09	青いトライアングル	DJC	ロック
FM中原	12/1 20:00~20:30	Rock On	クリス・パ・ガバ	12/1 20:25	薔薇の咲く丘で	Tiger Ash	ロック
FM中原	12/1 20:30~20:45	SLOW NIGHT	ジ・ヨシ・ガバ	12/1 20:33	NO. 2	秋原和之	ポップス
FM中原	12/1 20:30~20:45	SLOW NIGHT	ジ・ヨシ・ガバ	12/1 20:37	TO ME	浜崎あみ	ポップス
FM中原	12/1 20:30~20:45	SLOW NIGHT	ジ・ヨシ・ガバ	12/1 20:41	Led Wine '89	CLNetwork	ポップス
FM中原	12/1 20:30~20:45	SLOW NIGHT	ジ・ヨシ・ガバ	12/1 20:45	Led Wine '89	CLNetwork	ポップス

図 24 放送済楽曲テーブルと放送済番組テーブルとの関連付け

【図 25】

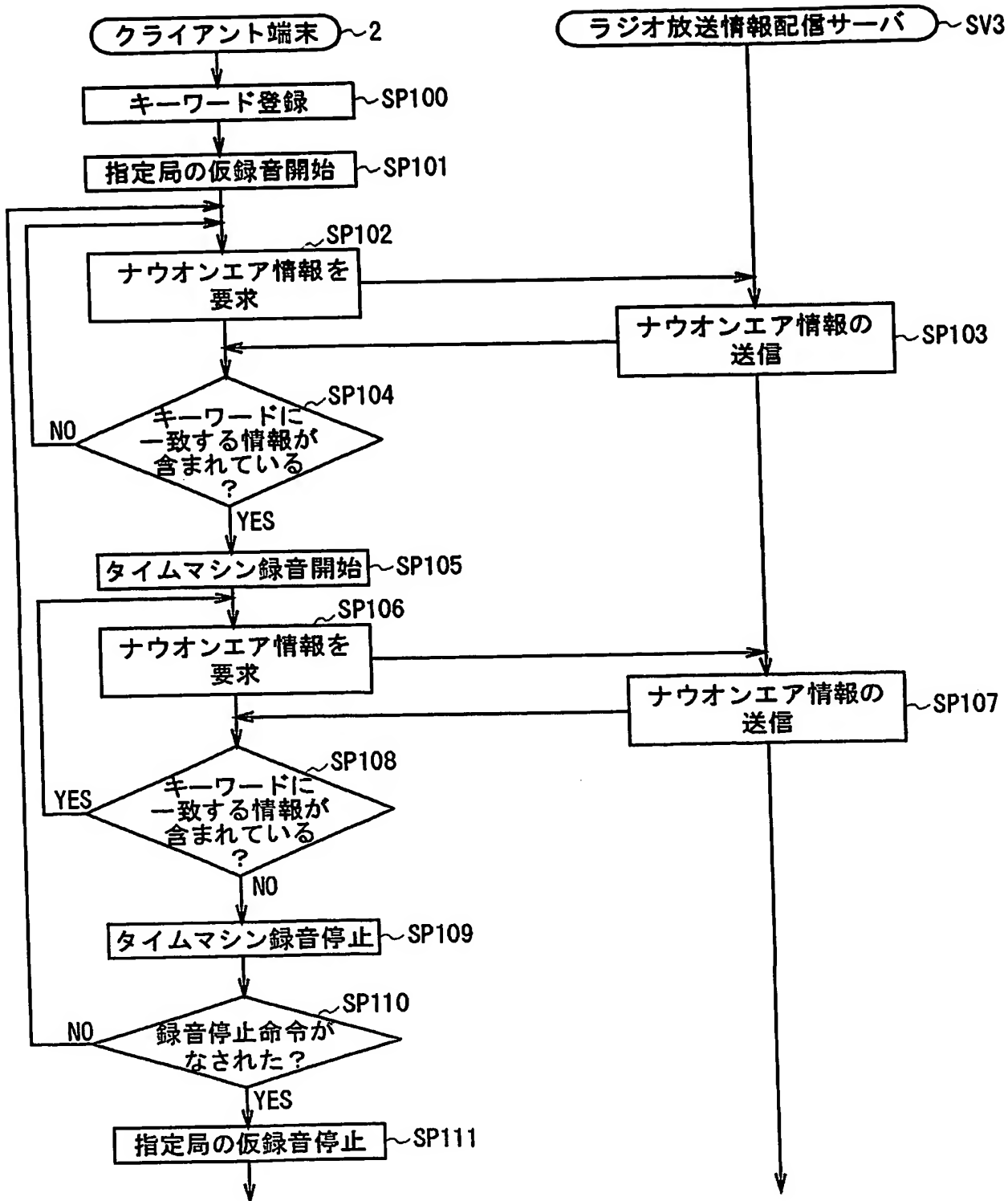


図 25 第 1 の実施の形態におけるキーワード録音処理手順

【図 26】

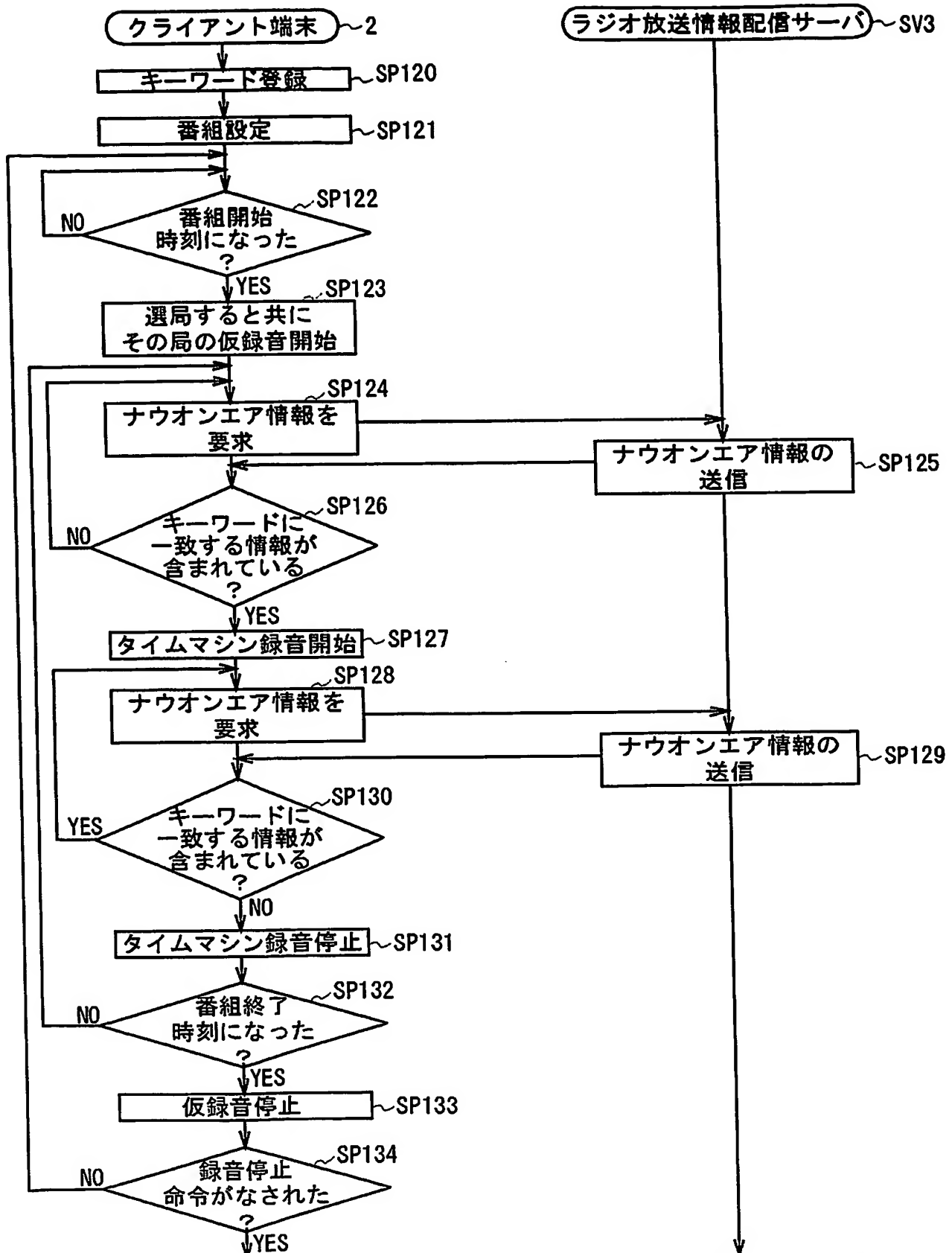


図 26 第 2 の実施の形態におけるキーワード録音処理手順

【图 27】

### 300 番組表画面

	FM中原	FM尾崎	FM NY
2/10 (月)	<input type="checkbox"/> 朝の音 7:00~8:00 <input checked="" type="checkbox"/> WORLD BEAT 19:00~20:00 <input checked="" type="checkbox"/> ROCK ON 20:00~20:30 <input checked="" type="checkbox"/> SLOW NIGHT 20:30~20:45	<input checked="" type="checkbox"/> ポールのカウン トダウン 23:00~24:00	<input type="checkbox"/> GETS! 14:000~14:30
2/11 (火)	<input type="checkbox"/> BOM BOM TOWN 16:00~18:00	<input type="checkbox"/> WAKE UP MORNIG 5:00~8:00	<input checked="" type="checkbox"/> NIGHT FEELING 23:00~24:00
2/12 (水)	<input checked="" type="checkbox"/> COOL MIDNIGHT HOLIDAY 1:00~3:00	<input checked="" type="checkbox"/> DO MY SUNDAY! 15:00~18:00	<input checked="" type="checkbox"/> LET'S MOVE ON 10:00~13:00
...	...	...	...

図 27 番組表画面の構成

【図 28】

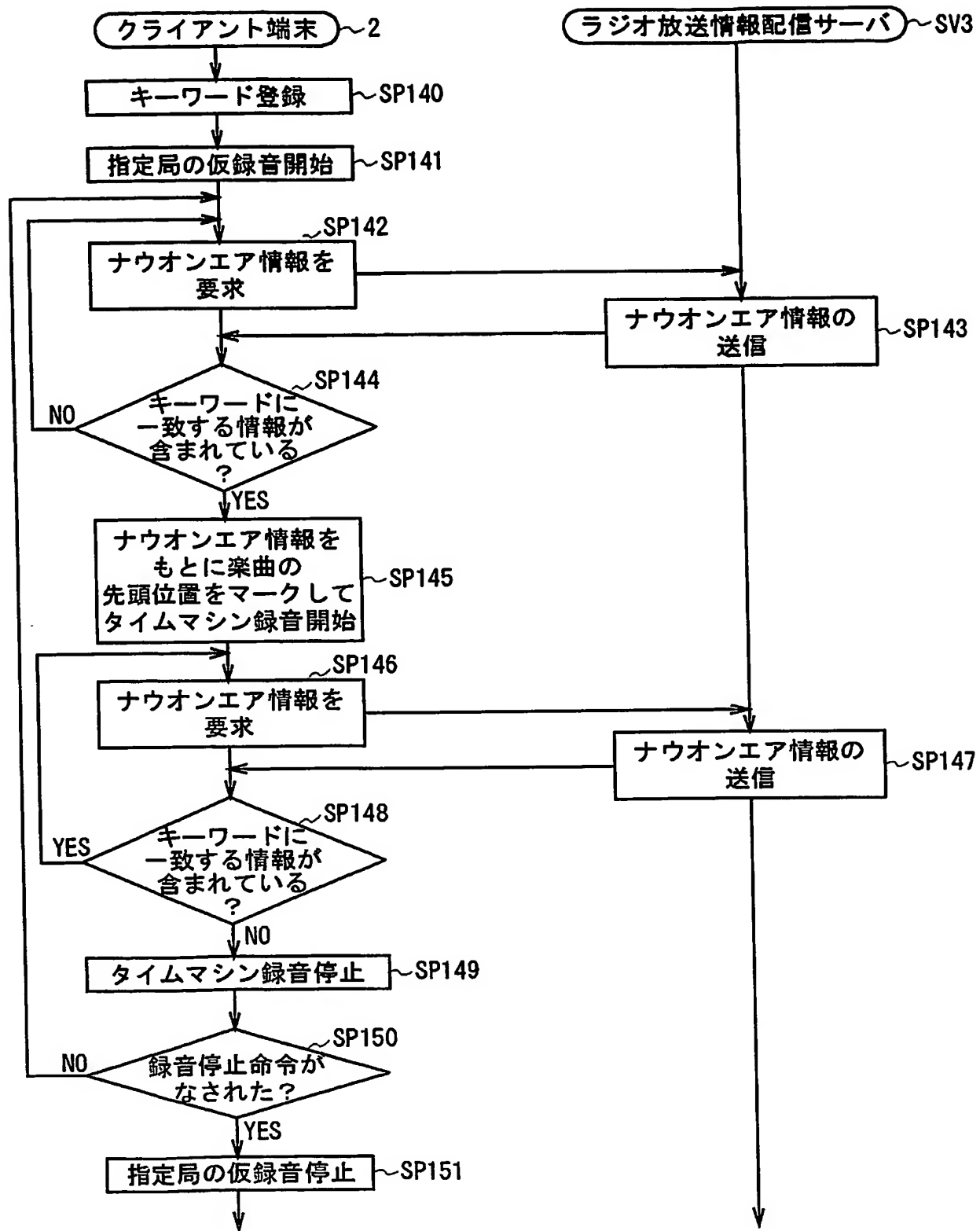


図 28 第 3 の実施の形態におけるキーワード録音処理手順

【図 29】

追加  
↓

局名	番組タイトル	出演者 (DJ)	楽曲開始時刻	楽曲終了時刻	楽曲タイトル	アーティスト	ジャンル
FM中原	MY MY RADIO	トータル増本	12/1 20:59	12/1 21:04	星空の向こうへ	スマシガオ	ポップス

TB1

図 29 第 4 の実施の形態における放送中番組テーブル



【図 30】

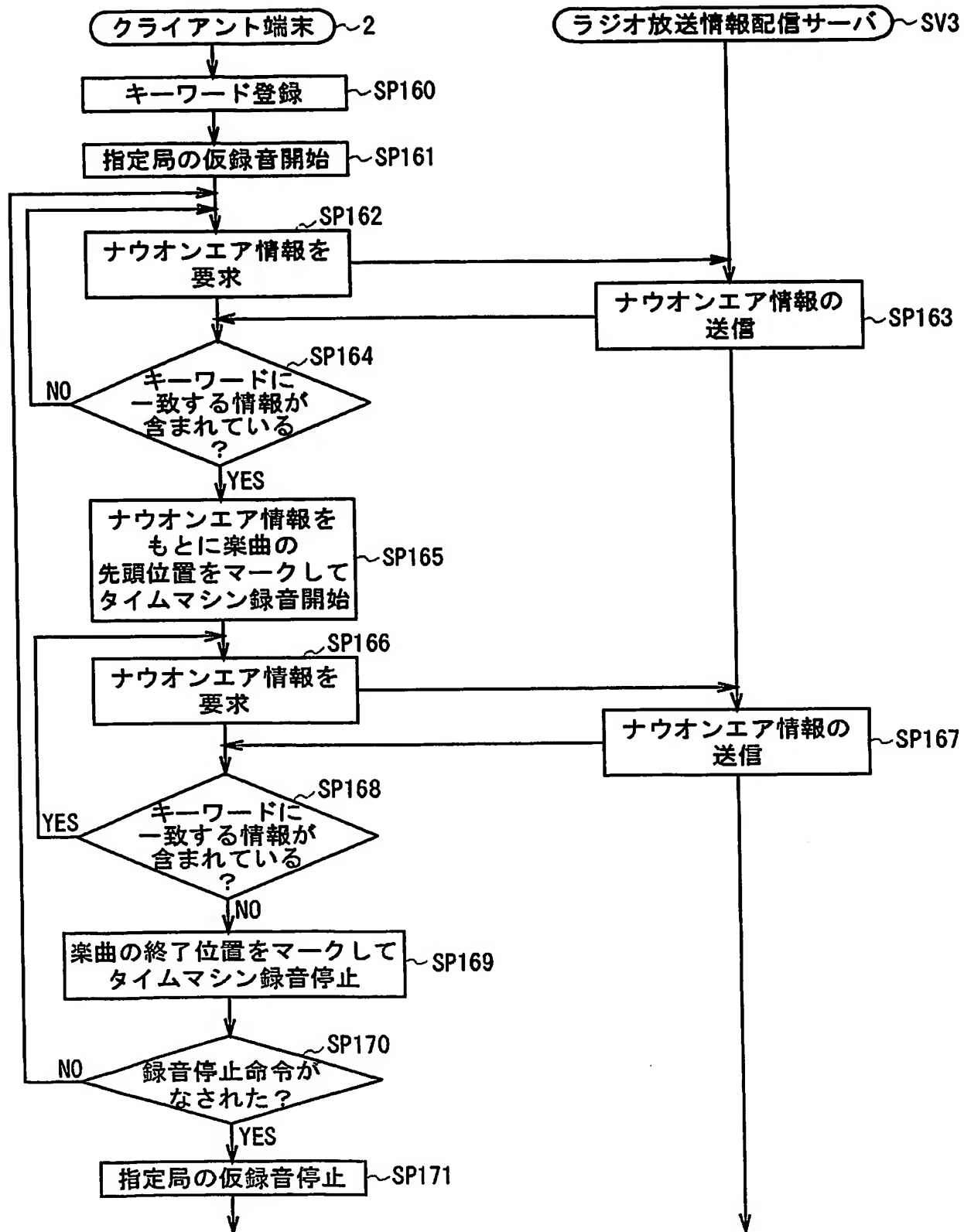


図 30 第 4 の実施の形態におけるキーワード録音処理手順

**【書類名】 要約書****【要約】****【課題】**

放送される番組映像や番組音声のうちユーザが所望する部分の番組映像や番組音声を容易に記録し得る記録装置を提案する。

**【解決手段】**

受信中の放送信号の内容を示すナウオンエア情報を定期的を取得し、このナウオンエア情報からキーワードが検出されると、放送信号を記録していくようにしたことにより、放送信号として受信している番組の番組映像や番組音声、ユーザの所望する番組映像や番組音声である場合に、その番組映像や番組音声を記録することができ、かくして放送される番組映像や番組音声のうちユーザが所望する部分の番組映像や番組音声を容易に記録することができる。

**【選択図】**

図 2 5

特願 2004-149493

出願人履歴情報

識別番号

[000002185]

1. 変更年月日

1990年 8月30日

[変更理由]

新規登録

住所

東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏名

ソニー株式会社

# **Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)**

International application number: PCT/JP05/009585

International filing date: 19 May 2005 (19.05.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP  
Number: 2004-149493  
Filing date: 19 May 2004 (19.05.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 09 June 2005 (09.06.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland  
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse